

沼田市
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
在宅介護実態調査
【結果報告書】

令和 5 年 8 月
沼田市

目 次

I	調査の概要	3
1.	調査の目的	3
2.	調査対象者	3
3.	実施方法	3
4.	回収結果	3
5.	報告書を見る際の留意点	4
II	調査結果 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	9
問1.	あなたのご家族や生活状況について	11
問2.	からだを動かすことについて	17
問3.	食べることについて	23
問4.	毎日の生活について	27
問5.	地域での活動について	34
問6.	たすけあいについて	37
問7.	健康について	45
問8.	認知症にかかる相談窓口の把握について	49
III	リスク分析	53
1.	虚弱傾向	53
2.	運動器機能の低下	55
3.	低栄養傾向	56
4.	口腔機能の低下	57
5.	閉じこもり傾向	58
6.	認知機能の低下	59
7.	うつ傾向	60
8.	転倒リスク	61
9.	IADL（手段的自立度）の低下	62
10.	知的能動性の低下	63
11.	社会的役割の低下	64
12.	生活機能総合評価の低下	65

13. 圏域別リスク該当状況	66
Ⅳ 調査結果 在宅介護実態調査.....	71
A 票 調査対象者様ご本人について、お伺いします	71
B 票 主な介護者の方について、お伺いします	95
Ⅴ 資料編 使用した調査票.....	113

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

沼田市では令和6年度から令和8年度までを計画期間とする「生き生き長寿のまちづくり計画（沼田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）」の策定に向けて、高齢者の生活状況や支援サービスの必要性等を把握するために基礎調査を実施しました。

2. 調査対象者

令和5年5月12日現在、市内在住の要支援・要介護認定者、一般高齢者を対象として、住民基本台帳等より対象者を抽出しました。

調査区分	調査対象者	調査対象者数
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	●65歳以上の要介護認定を受けていない高齢者 ●65歳以上の要支援認定者	2,000人
在宅介護実態調査	●在宅で生活している要支援・要介護認定者	600人

3. 実施方法

- 調査地域：沼田市全域
- 調査形式：アンケート調査
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 調査期間：令和5年6月1日～19日

4. 回収結果

調査区分	配布数	回収数	回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,000件	1,575件	78.8%
在宅介護実態調査	600件	388件	64.7%
合計	2,600件	1,963件	75.5%

5. 報告書を見る際の留意点

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、比率が0.05未満の場合には0.0と表記しています。また、合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表しています。
- グラフは、見やすさを確保するため、構成比3.0%未満の数値は割愛している部分があります。
- クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があり、単純集計の結果と合致するとは限りません。
- 属性区分は以下のようにまとめて集計しています。

属性区分	クロス集計に用いた項目	調査項目(選択肢)	備 考
年 齢	前期高齢者	65～69 歳	※在宅介護実態調査の65 歳未満は前期高齢者からは除外
		70～74 歳	
	後期高齢者	75～79 歳	
		80～84 歳	
		85～89 歳	
		90 歳以上	
世帯構成	1 人暮らし	1 人暮らし	※「その他」は内容が不明なため、集計から除外
	夫婦 2 人暮らし	夫婦 2 人暮らし (配偶者 65 歳以上)	
		夫婦 2 人暮らし (配偶者 64 歳以下)	
	息子・娘との 2 世帯	息子・娘との 2 世帯	
圏 域	北部	沼田中学校区	※保健福祉計画における日常生活圏域として集計
		池田中学校区	
	南部	沼田南中学校区	
		沼田東中学校区	
	西部	沼田西中学校区	
		薄根中学校区	
要介護度 (在宅)	要支援 1・2	要支援 1	
		要支援 2	
	要介護 1・2	要介護 1	
		要介護 2	
	要介護 3 以上	要介護 3	
		要介護 4	
		要介護 5	

■沼田市圏域図



※本図は概略図です

■本市の圏域一覧

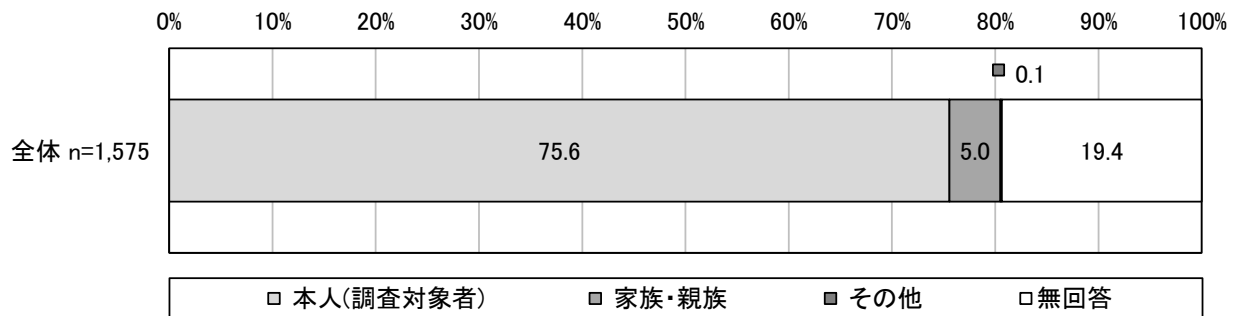
名称	該当地域
沼田北部圏域	●沼田中学校区（柳町・高橋場町・材木町・桜町・上原町・東原新町・西原新町）及び池田中学校区（池田地区）にあたる地域です。
沼田南部圏域	●沼田南中学校区（東倉内町・西倉内町・上之町・馬喰町・中町・坊新田町・下之町・鍛冶町・戸鹿野町及び新町〈鷺石区域は除く〉・沼須町・上沼須町・栄町）及び沼田東中学校区（下久屋町・上久屋町・久屋原町・横塚町）にあたる地域です。
沼田西部圏域	●沼田西中学校区（榛名町・清水町・薄根町・川田地区・戸鹿野町及び新町の鷺石区域）及び薄根中学校区（薄根地区）にあたる地域です。
沼田東部圏域	●白沢中学校区（白沢町）及び利根中学校区・多那中学校区（利根町）にあたる地域です。

Ⅱ 調査結果 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

Ⅱ 調査結果 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

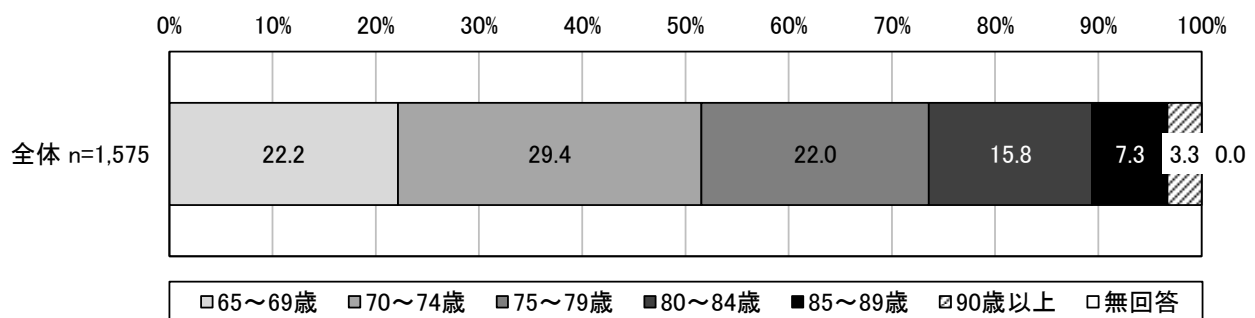
調査票を記入されたのはどなたですか。（1つのみ）

「本人（調査対象者）」が 75.6%で最も高く、次いで「家族・親族」が 5.0%である。



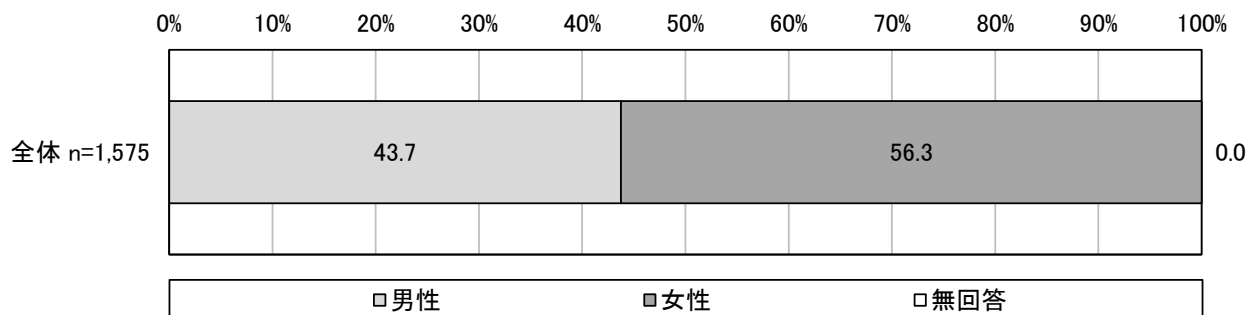
年齢階級

「70～74 歳」が 29.4%で最も高く、次いで「65～69 歳」が 22.2%、「75～79 歳」が 22.0%である。



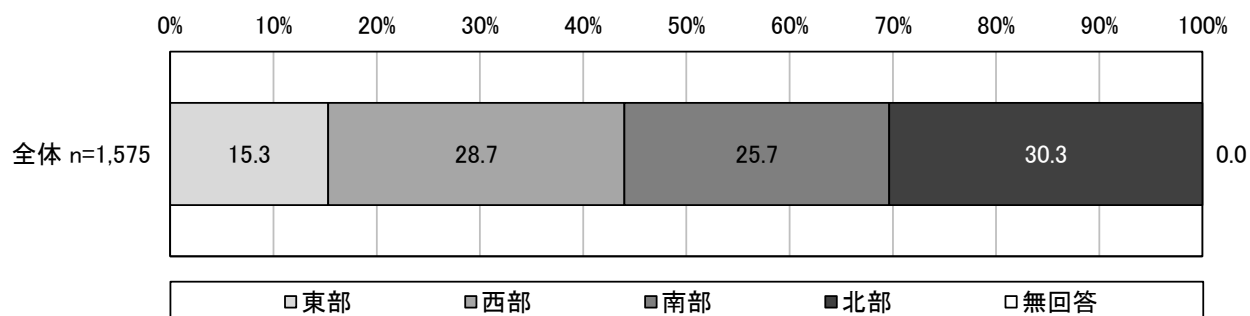
性別

「男性」が 43.7%、「女性」が 56.3%である。



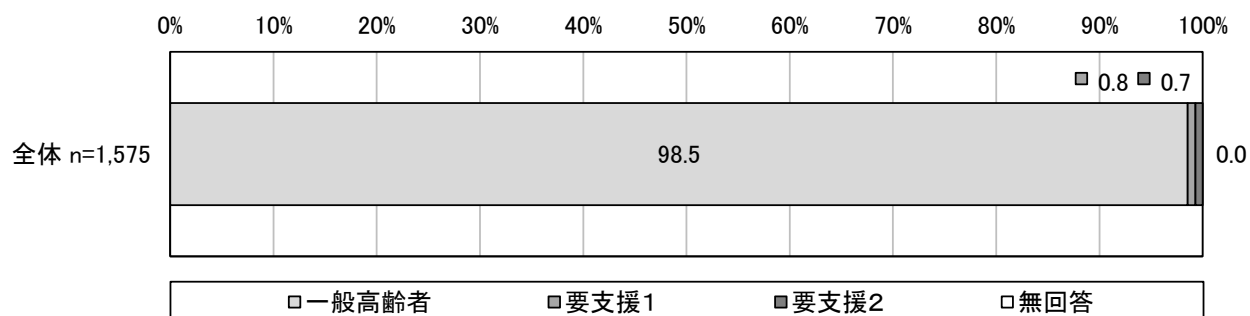
日常生活圏域

「東部」が15.3%、「西部」が28.7%、「南部」が25.7%、「北部」が30.3%である。



要介護認定

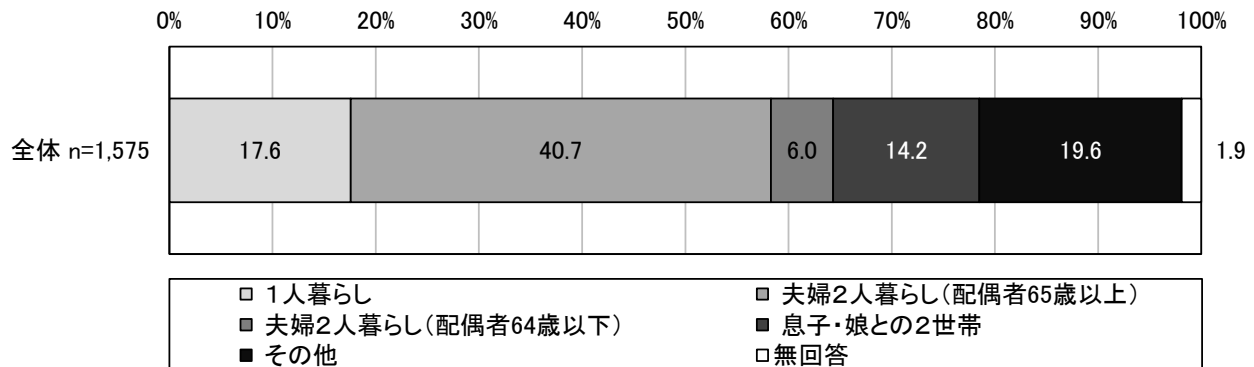
「一般高齢者」が98.5%、「要支援1」が0.8%、「要支援2」が0.7%である。



問 1. あなたのご家族や生活状況について

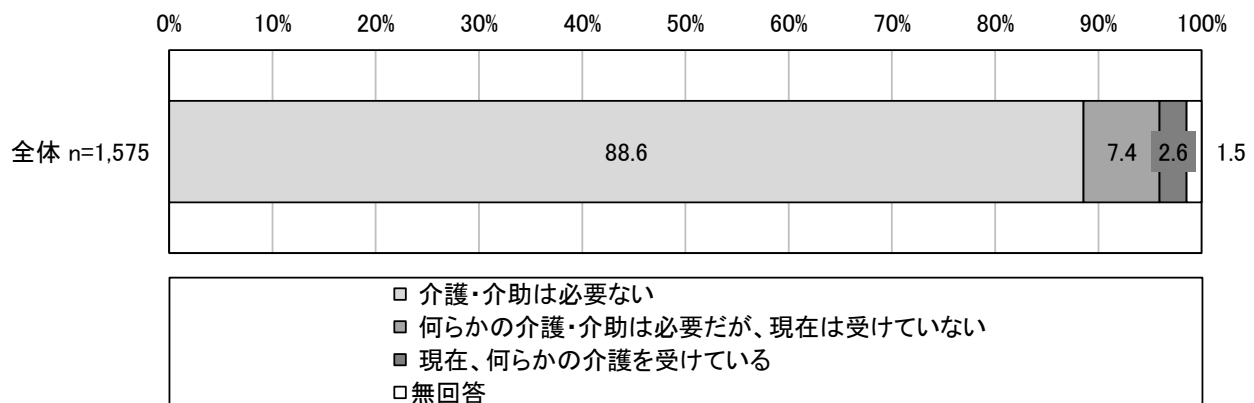
Q1. 世帯構成を教えてください（1つのみ）

「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 40.7%で最も高く、次いで「1 人暮らし」が 17.6%、「息子・娘との 2 世帯」が 14.2%である。



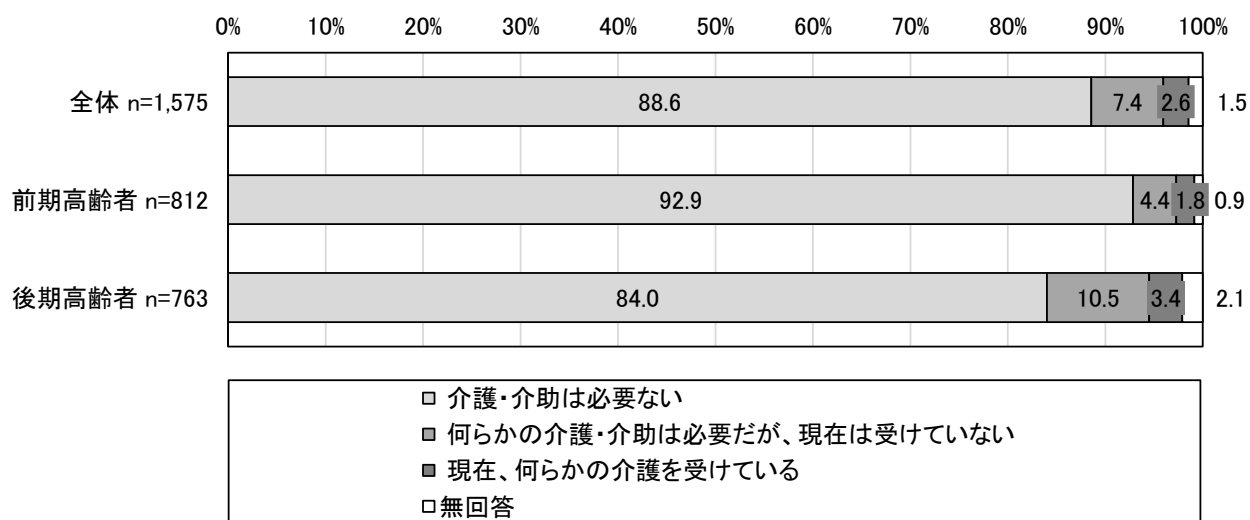
Q2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つのみ）

「介護・介助は必要ない」が 88.6%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 7.4%、「現在、何らかの介護を受けている」が 2.6%である。



Ⅱ 調査結果 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

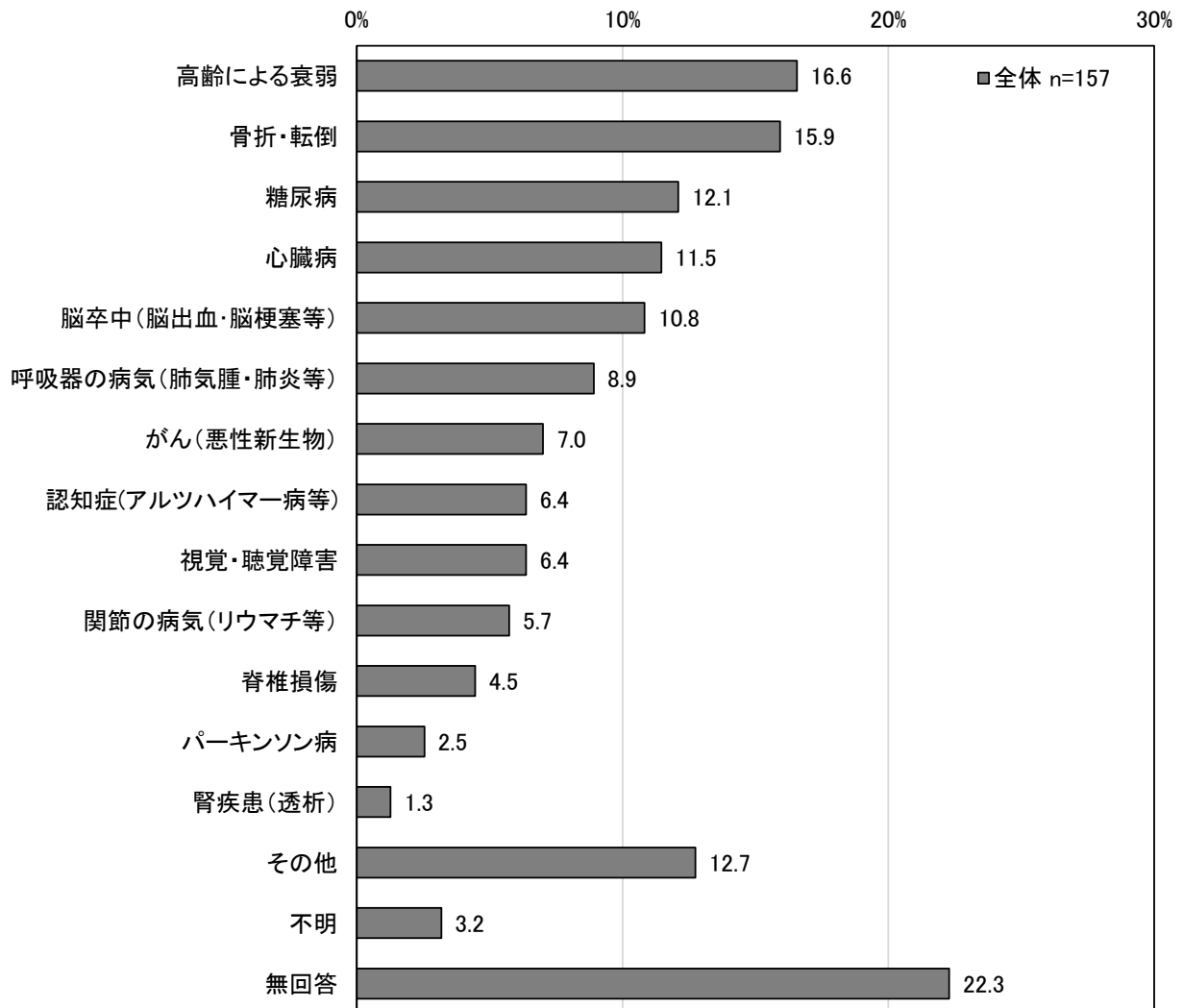
年齢別に見ると、「前期高齢者」の6.2%は『介護が必要』（「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」+「現在、何らかの介護を受けている」）である。一方、「後期高齢者」では、『介護が必要』は13.9%となっている。「後期高齢者」のほうが、『介護が必要』は7.7ポイント高くなっている。



【Q2において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

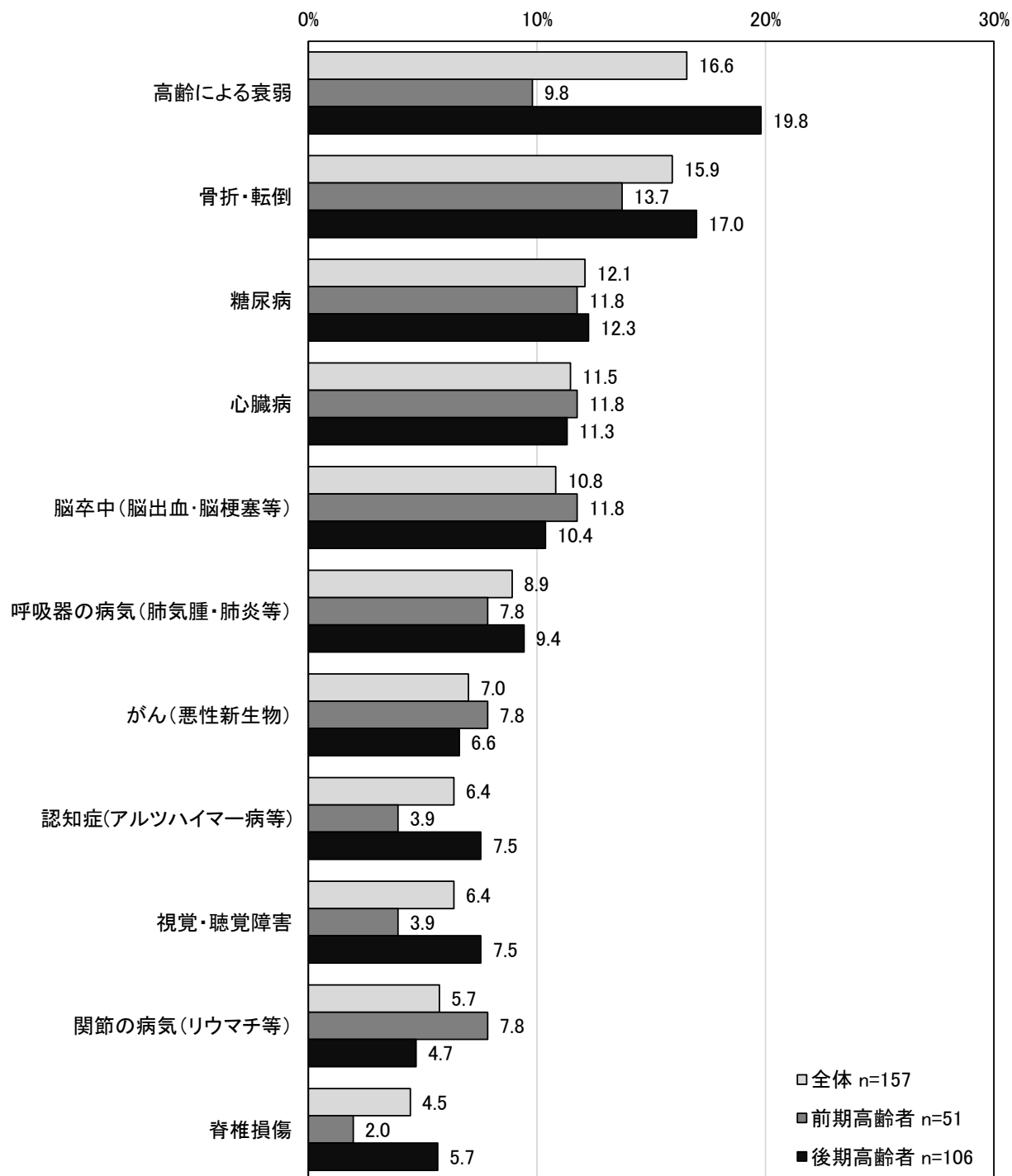
①. 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

「高齢による衰弱」が16.6%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が15.9%、「糖尿病」が12.1%である。



Ⅱ 調査結果 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

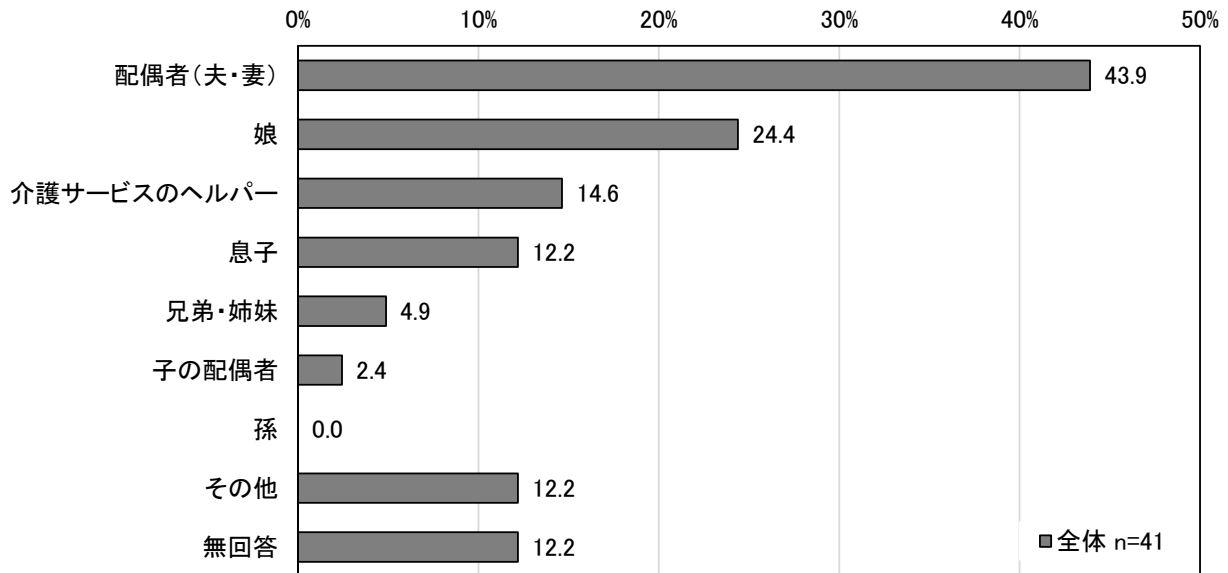
年齢別に見ると、「前期高齢者」では、「骨折・転倒」が13.7%で最も高く、次いで「糖尿病」「心臓病」「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」がともに11.8%、「高齢による衰弱」が9.8%、「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）」「がん（悪性新生物）」「関節の病気（リウマチ等）」がともに7.8%で、「後期高齢者」では、「高齢による衰弱」が19.8%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が17.0%、「糖尿病」が12.3%と、介護・介助が必要な原因が若干異なることがわかる。



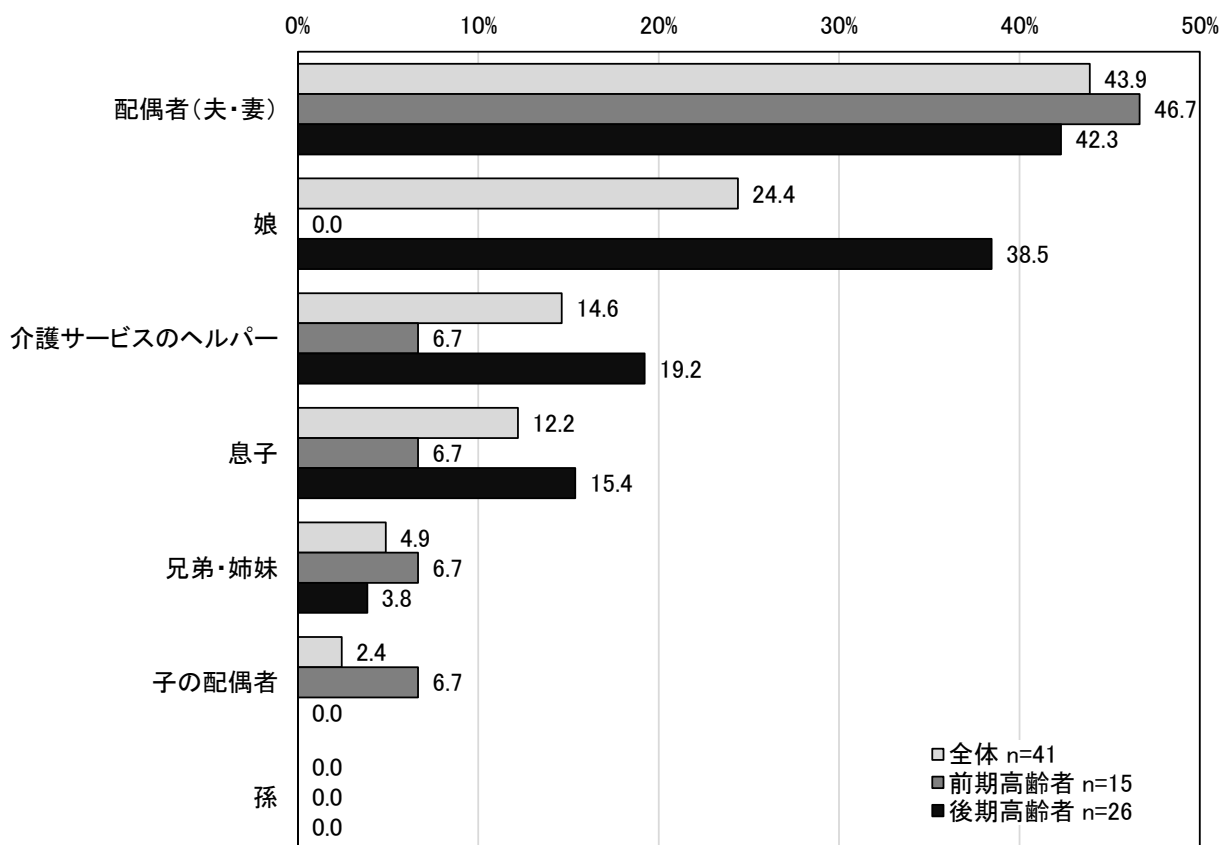
【Q2において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

②. 主にどなたの介護・介助を受けていますか（いくつでも）

「配偶者（夫・妻）」が43.9%で最も高く、次いで「娘」が24.4%、「介護サービスのヘルパー」が14.6%である。

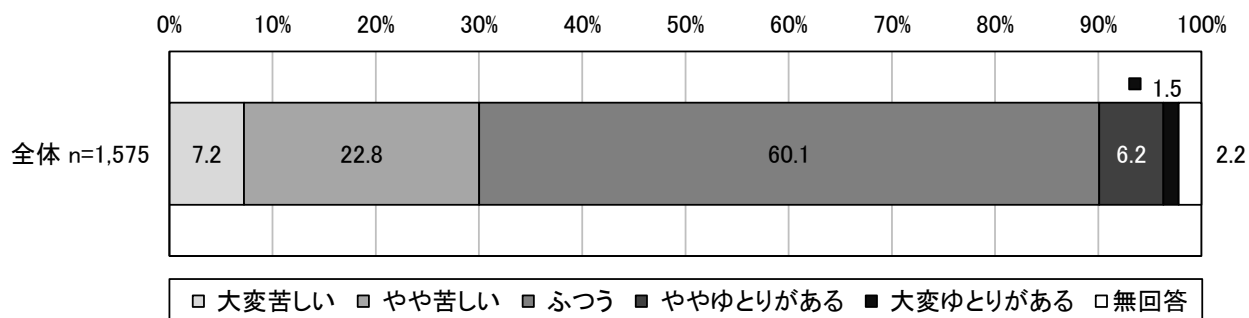


年齢別に見ると、「前期高齢者」では、「配偶者（夫・妻）」が46.7%で最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」「息子」「兄弟・姉妹」「子の配属者」がともに6.7%である。「後期高齢者」では、「配偶者（夫・妻）」が42.3%で最も高く、次いで「娘」が38.5%、「介護サービスのヘルパー」が19.2%である。

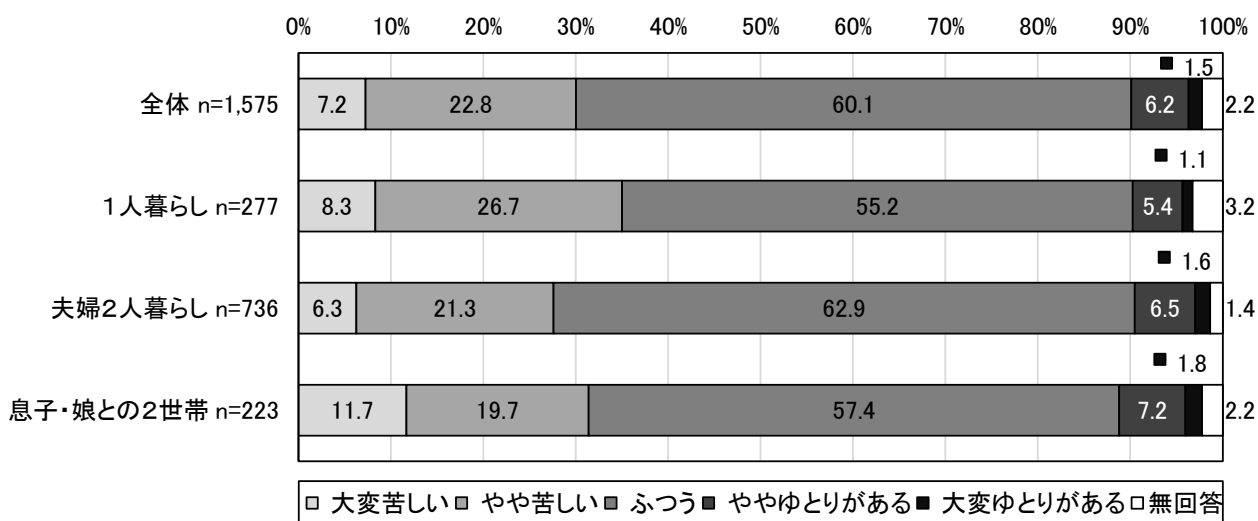


Q3. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つのみ）

「ふつう」が60.1%で最も高く、次いで「やや苦しい」が22.8%、「大変苦しい」が7.2%である。

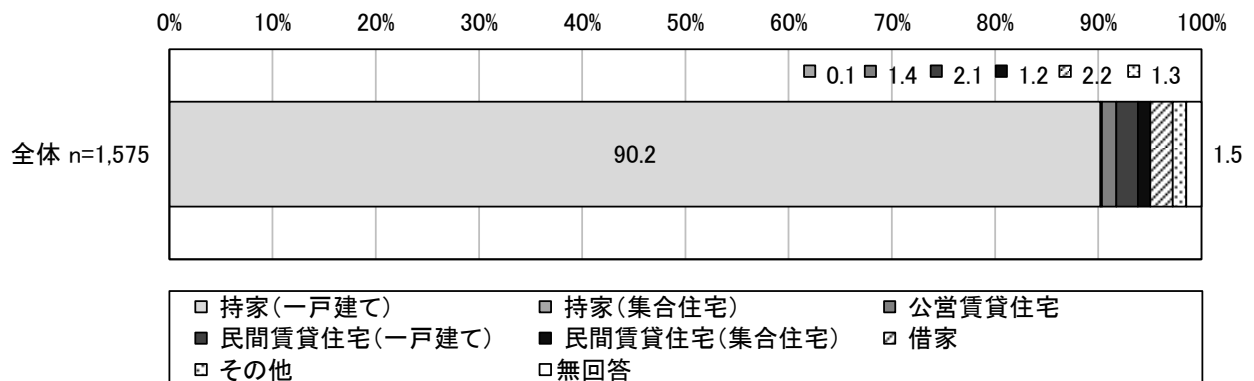


世帯構成別に見ると、「1人暮らし」では、『苦しい』（「大変苦しい」+「やや苦しい」）が35.0%である。一方、「夫婦2人暮らし」では、『苦しい』が27.6%、「息子・娘との2世帯」では、31.4%となっている。「1人暮らし」で、『苦しい』と回答している割合が最も高くなっている。



Q4. 現在のお住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（1つのみ）

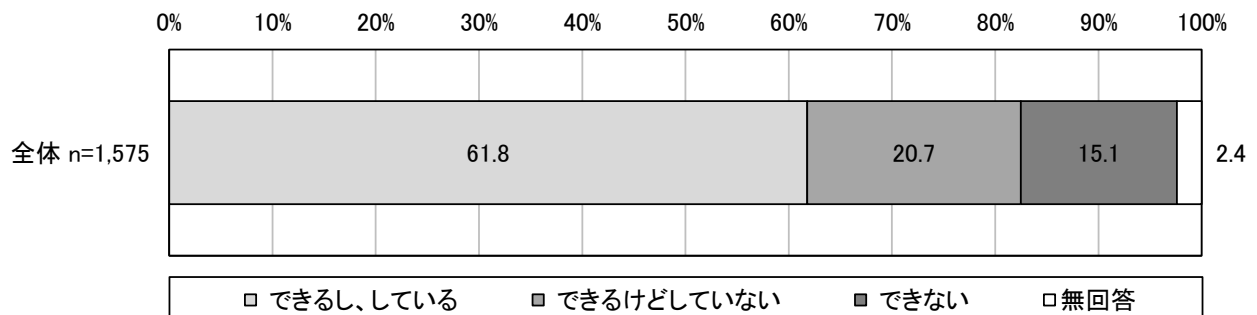
「持家（一戸建て）」が90.2%で最も高く、次いで「借家」が2.2%、「民間賃貸住宅（一戸建て）」が2.1%である。



問2. からだを動かすことについて

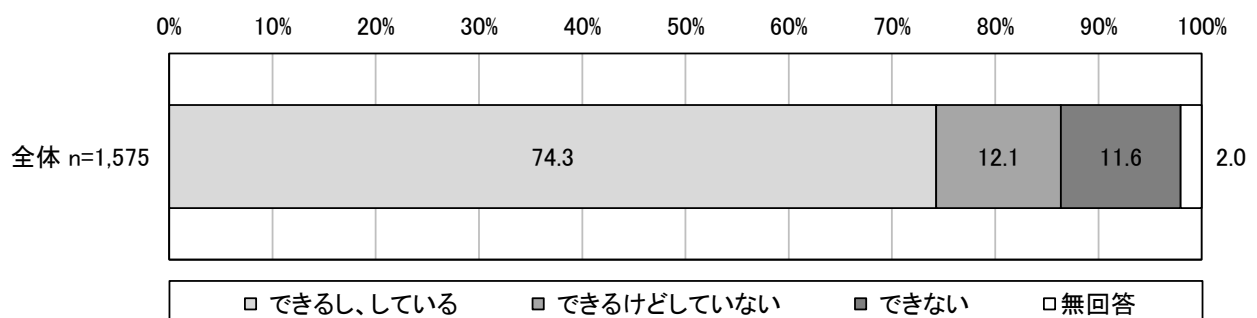
Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（1つのみ）

「できるし、している」が61.8%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が20.7%、「できない」が15.1%である。



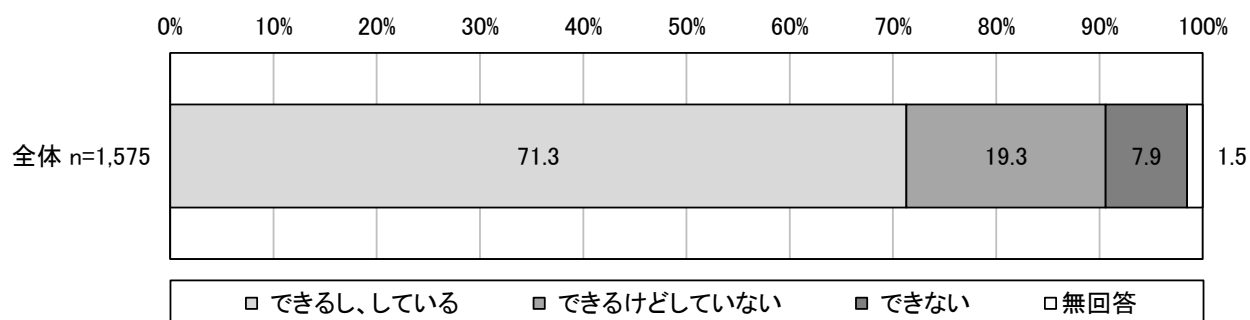
Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つのみ）

「できるし、している」が74.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.1%、「できない」が11.6%である。



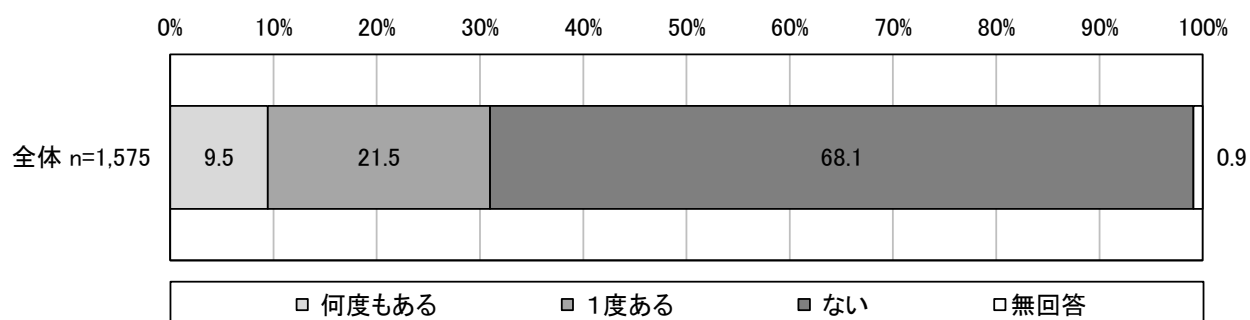
Q3. 15分位続けて歩いていますか（1つのみ）

「できるし、している」が71.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が19.3%、「できない」が7.9%である。



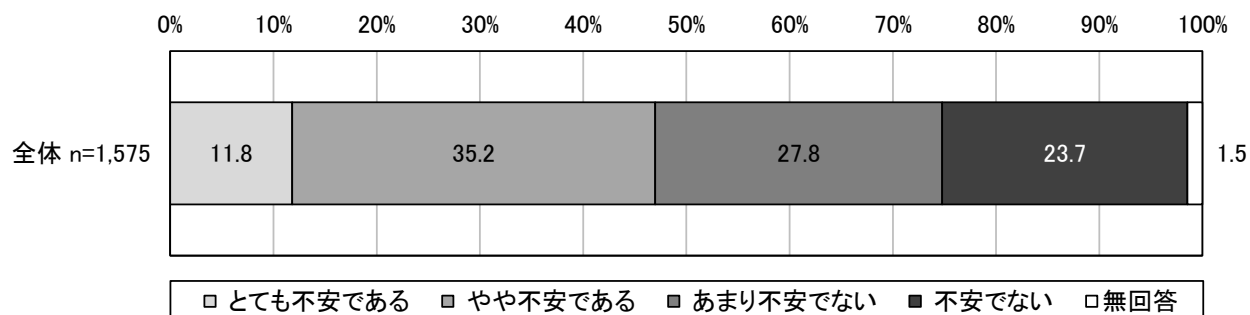
Q4. 過去1年間に転んだ経験がありますか（1つのみ）

「ない」が68.1%で最も高く、次いで「1度ある」が21.5%、「何度もある」が9.5%である。



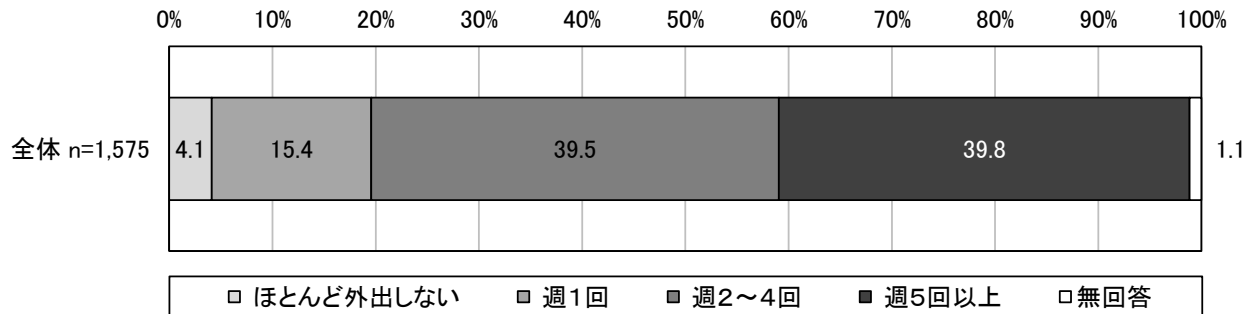
Q5. 転倒に対する不安は大きいですか（1つのみ）

「やや不安である」が35.2%で最も高く、次いで「あまり不安でない」が27.8%、「不安でない」が23.7%である。



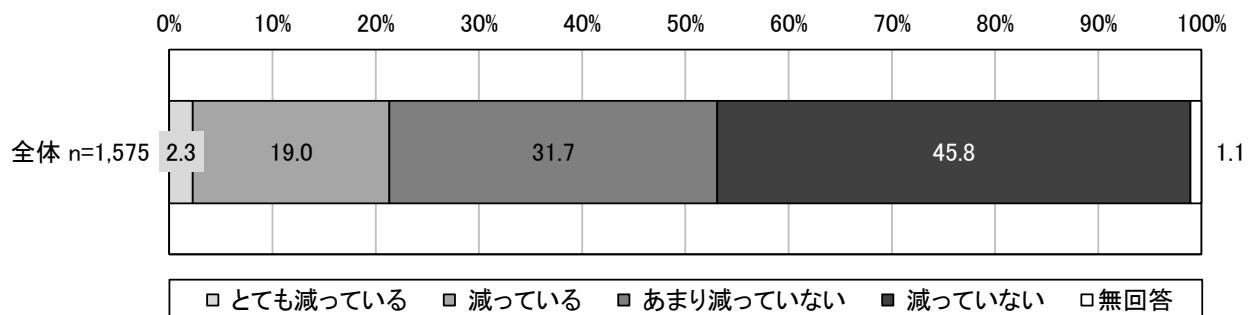
Q6. 週に1回以上は外出していますか（1つのみ）

「週5回以上」が39.8%で最も高く、次いで「週2～4回」が39.5%、「週1回」が15.4%である。



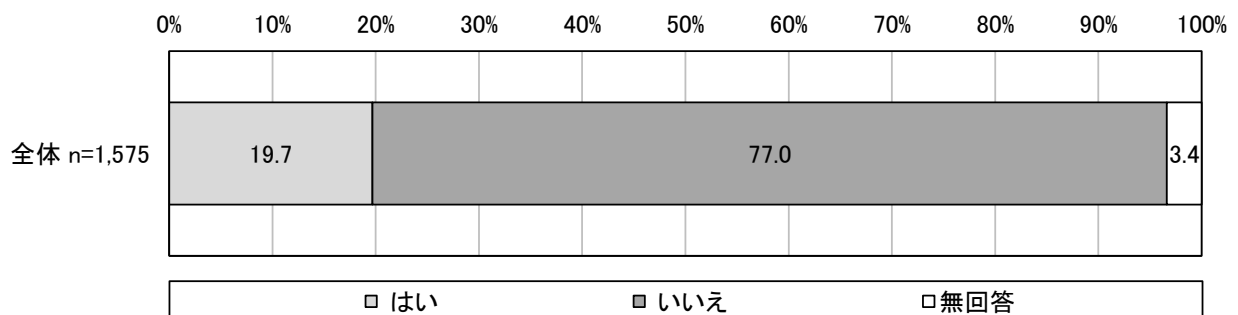
Q7. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（1つのみ）

「減っていない」が45.8%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が31.7%、「減っている」が19.0%である。



Q8. 外出を控えていますか（1つのみ）

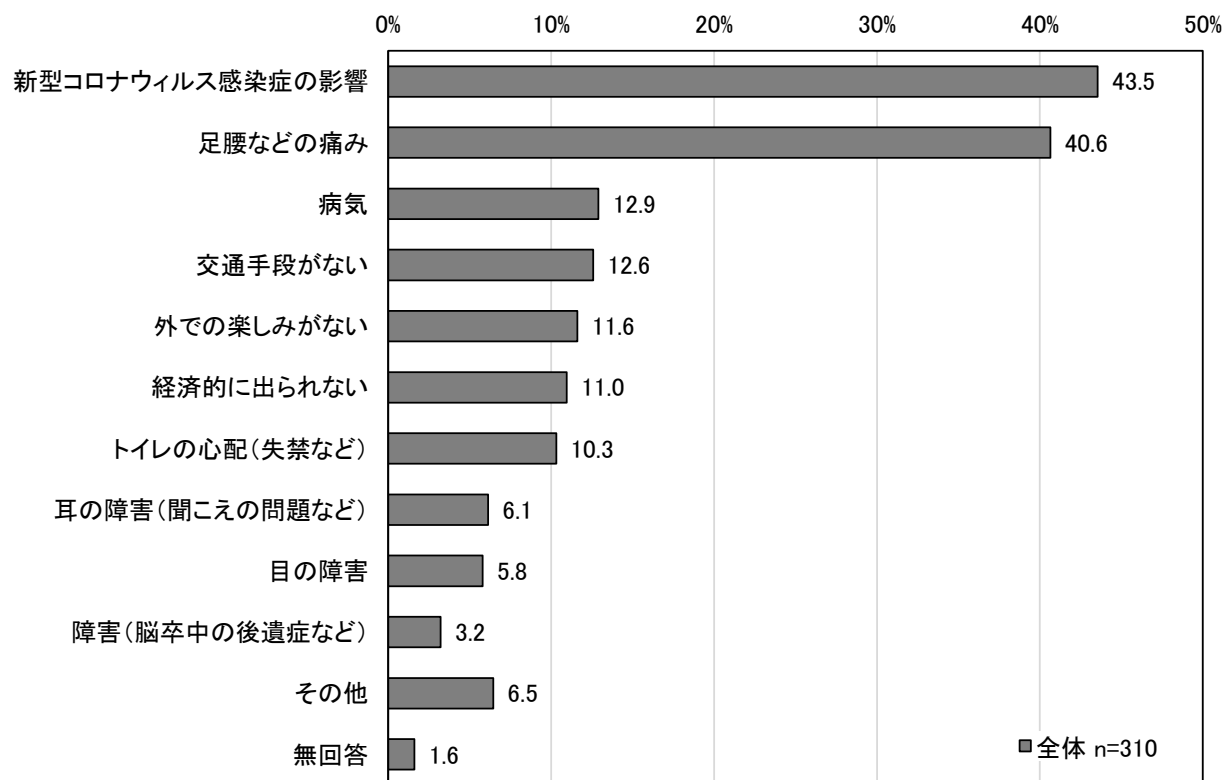
「はい」が19.7%、「いいえ」が77.0%である。



【Q8において「はい」（外出を控えている）の方のみ】

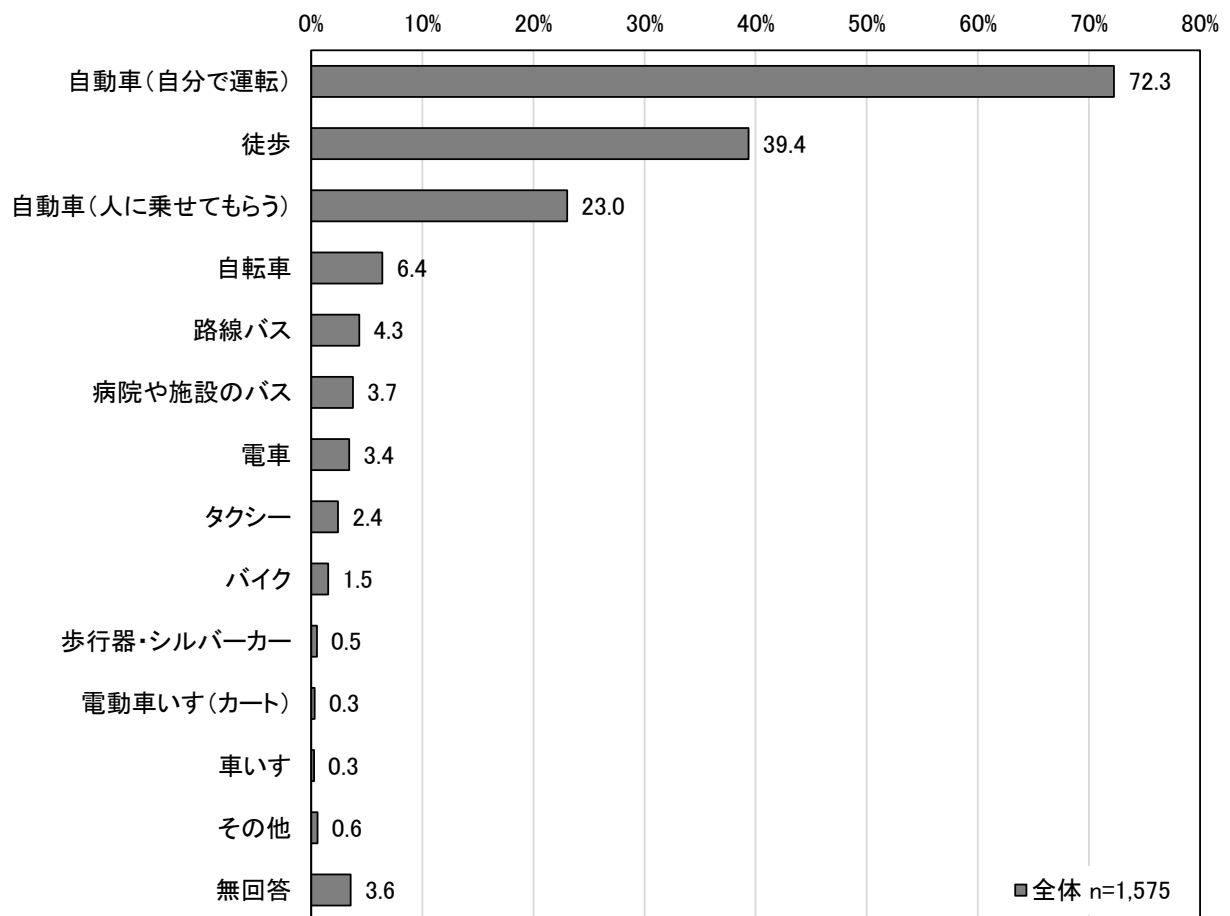
①. 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

「新型コロナウイルス感染症の影響」が43.5%で最も高く、次いで「足腰などの痛み」が40.6%、「病気」が12.9%である。



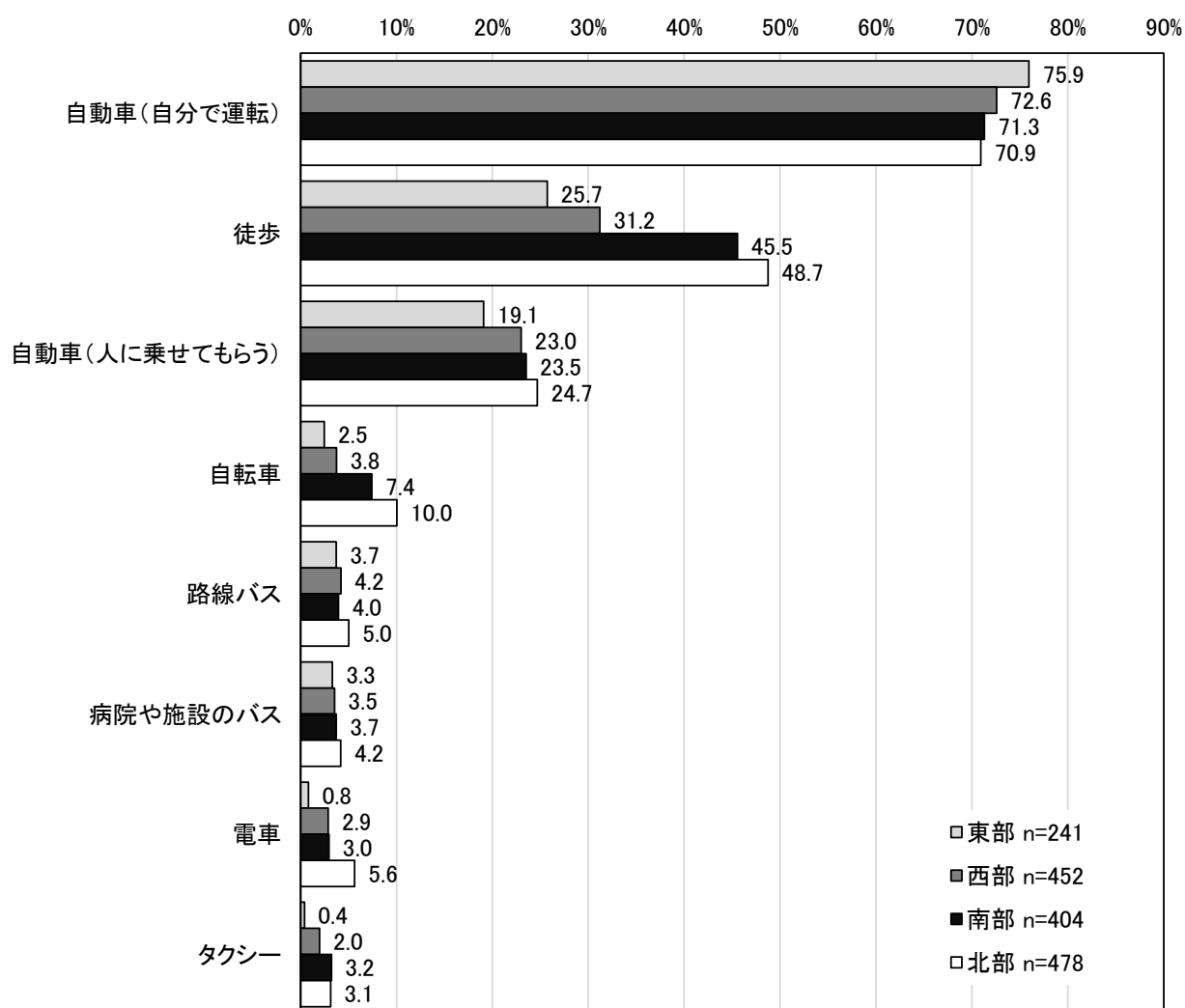
Q9. 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

「自動車（自分で運転）」が72.3%で最も高く、次いで「徒歩」が39.4%、「自動車（人に乗せてもらう）」が23.0%である。



Ⅱ 調査結果 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

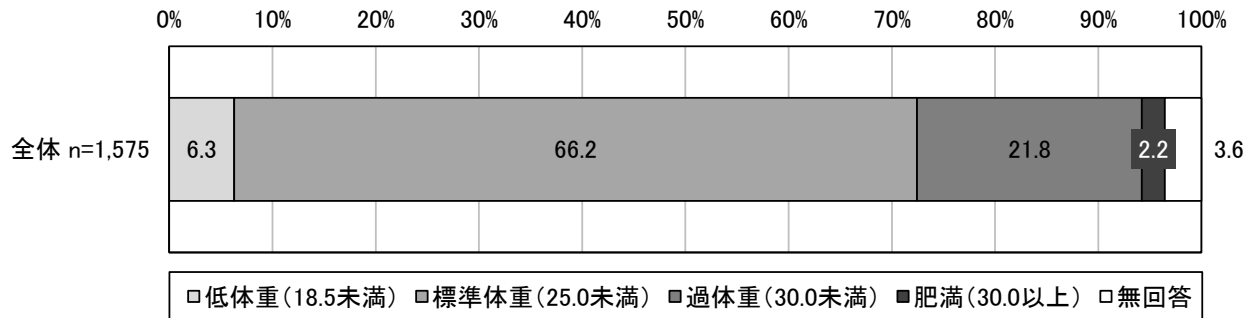
圏域別に見ると、「自動車(自分で運転)」が全ての圏域で7割以上と最も高くなっている。「南部」「北部」では、「徒歩」の割合が高い傾向が見られる。



問3. 食べるについて

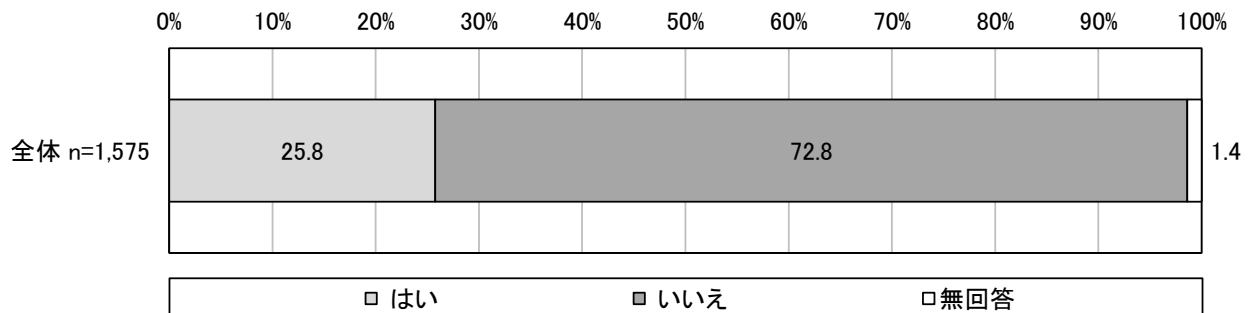
Q1. 身長・体重を教えてください

BMIを算出した結果、「標準体重（25.0未満）」が66.2%で最も高く、次いで「過体重（30.0未満）」が21.8%、「低体重（18.5未満）」が6.3%である。



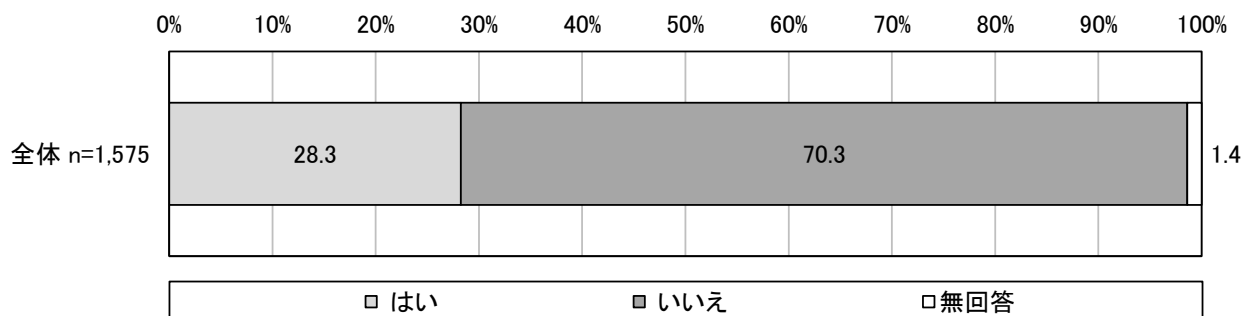
Q2. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（1つのみ）

「はい」が25.8%、「いいえ」が72.8%である。



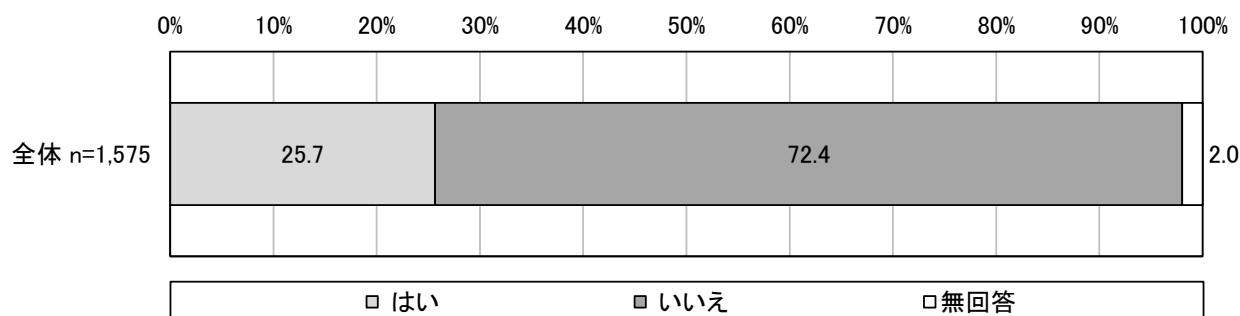
Q3. お茶や汁物等でむせることがありますか（1つのみ）

「はい」が28.3%、「いいえ」が70.3%である。



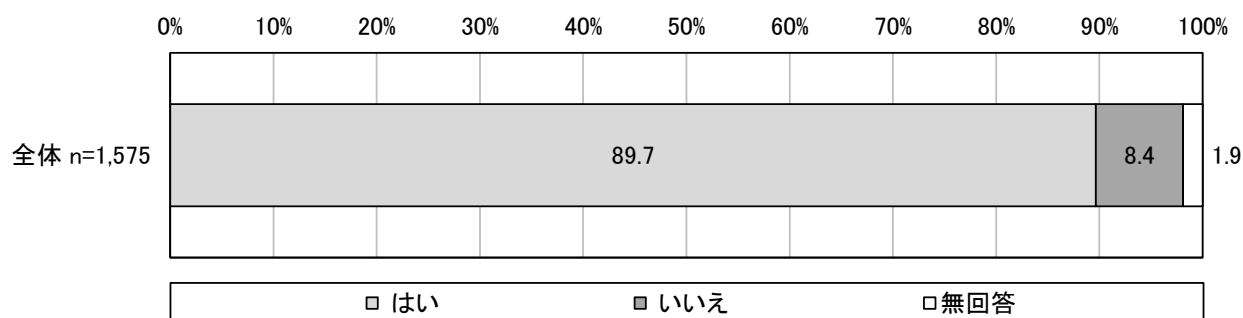
Q4. 口の渇きが気になりますか（1つのみ）

「はい」が25.7%、「いいえ」が72.4%である。



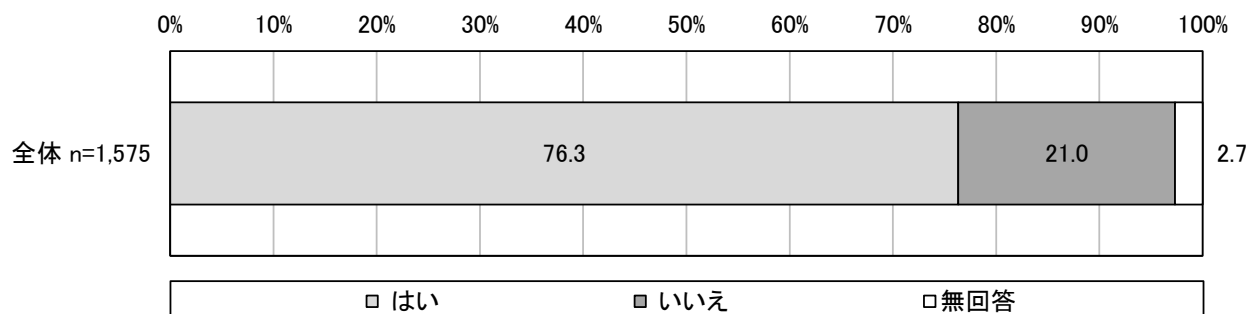
Q5. 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（1つのみ）

「はい」が89.7%、「いいえ」が8.4%である。



Q6. 噛み合わせは良いですか（1つのみ）

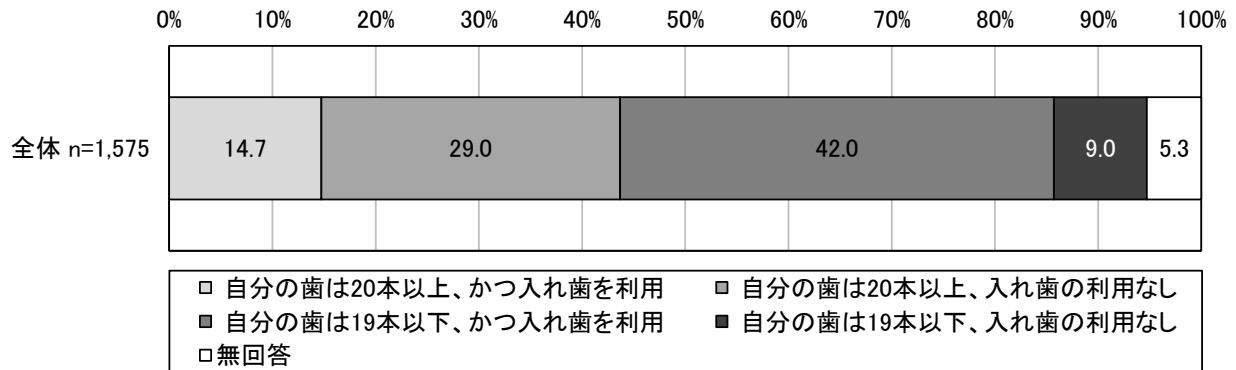
「はい」が76.3%、「いいえ」が21.0%である。



Q7. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(1つのみ)

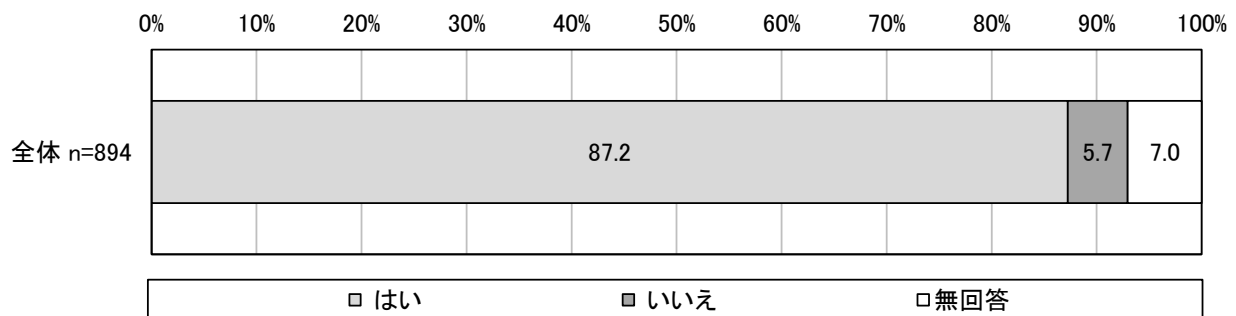
「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が42.0%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が29.0%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が14.7%である。



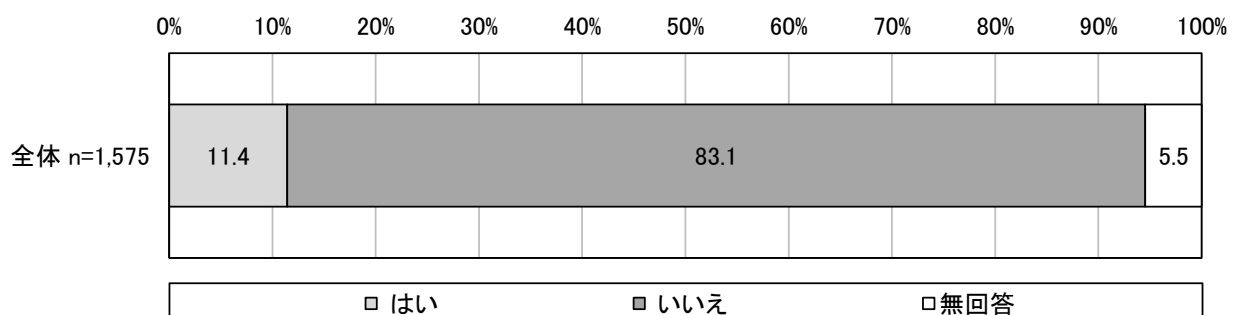
【Q7において「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

①. 毎日入れ歯の手入れをしていますか(1つのみ)

「はい」が87.2%、「いいえ」が5.7%である。

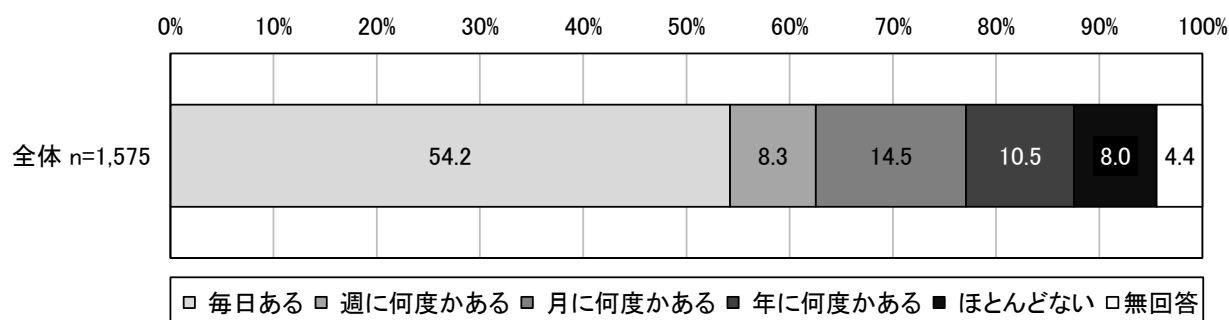
**Q8. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか(1つのみ)**

「はい」が11.4%、「いいえ」が83.1%である。

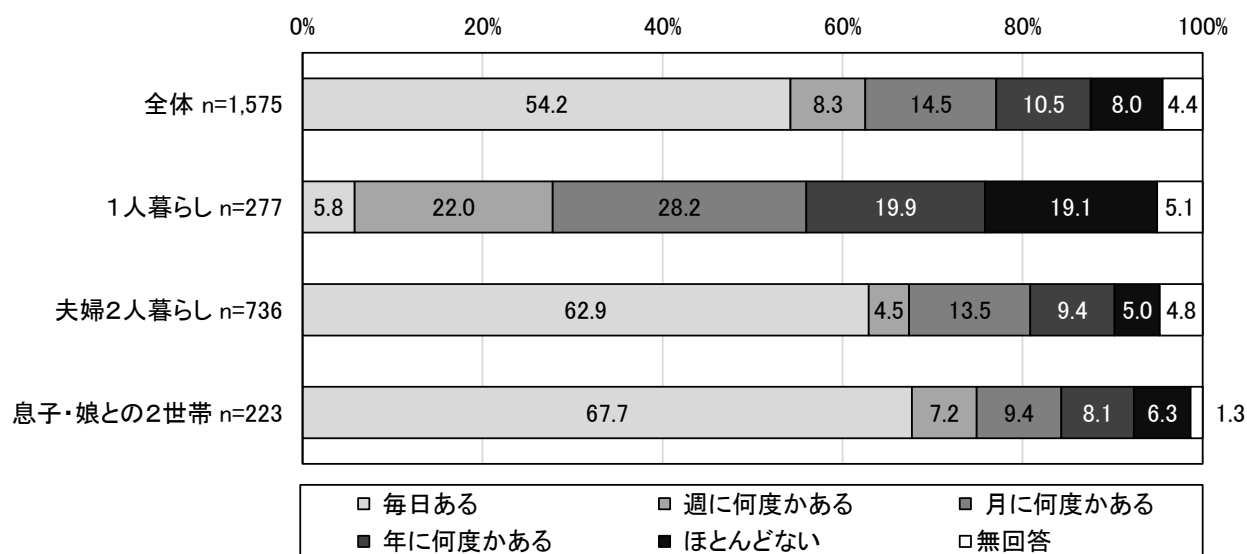


Q9. どなたかと食事をとにもする機会がありますか（1つのみ）

「毎日ある」が54.2%で最も高く、次いで「月に何度かある」が14.5%、「年に何度かある」が10.5%である。



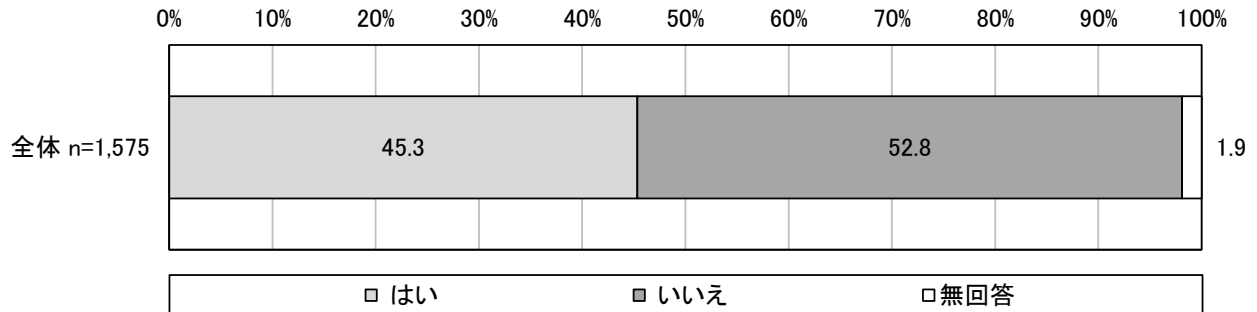
世帯構成別に見ると、「1人暮らし」では、『ほとんど機会がない』（「年に何度かある」+「ほとんどない」）が39.0%である。一方、「夫婦2人暮らし」「息子・娘との2世帯」ともに、『ほとんど機会がない』が14.4%となっている。「1人暮らし」で、『ほとんど機会がない』と回答している割合が最も高くなっている。



問4. 毎日の生活について

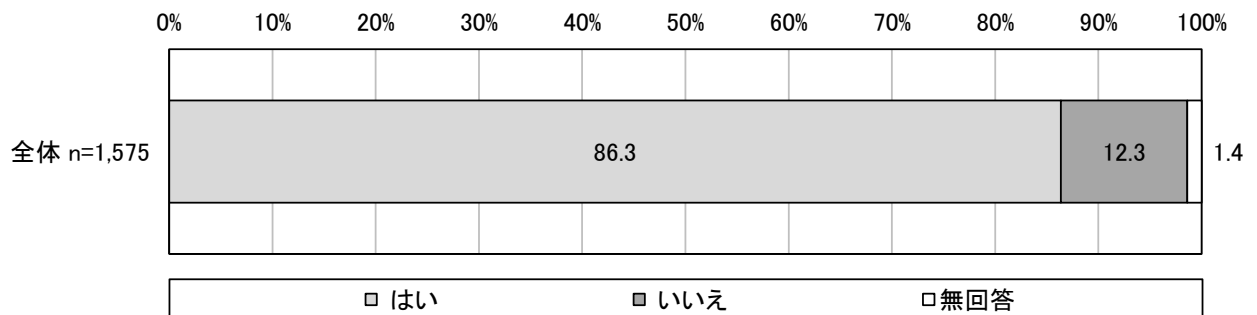
Q1. 物忘れが多いと感じますか（1つのみ）

「はい」が45.3%、「いいえ」が52.8%である。



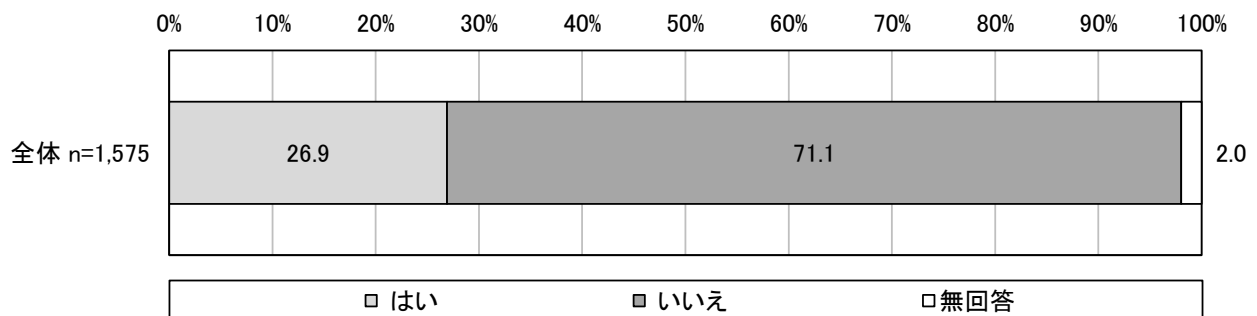
Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（1つのみ）

「はい」が86.3%、「いいえ」が12.3%である。



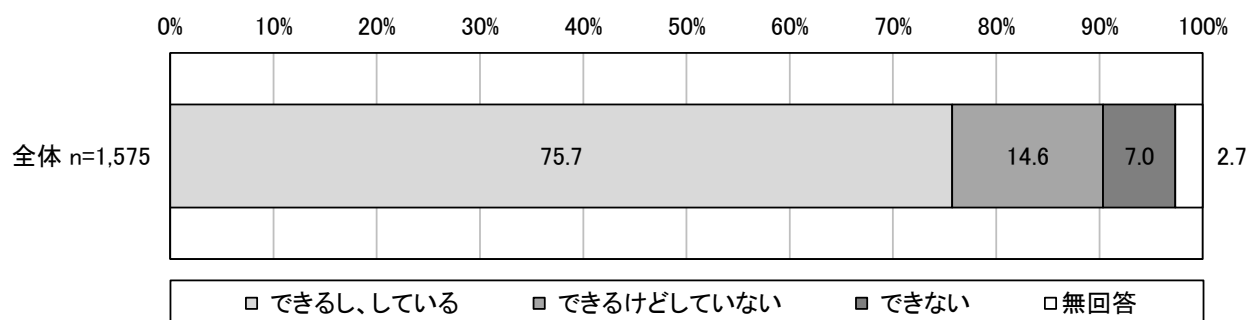
Q3. 今日が何月何日かわからないときがありますか（1つのみ）

「はい」が26.9%、「いいえ」が71.1%である。



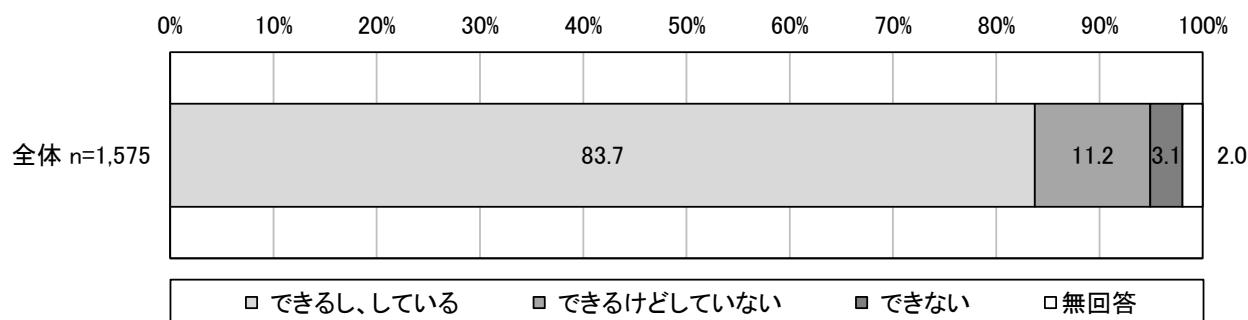
Q4. バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（1つのみ）

「できるし、している」が75.7%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.6%、「できない」が7.0%である。



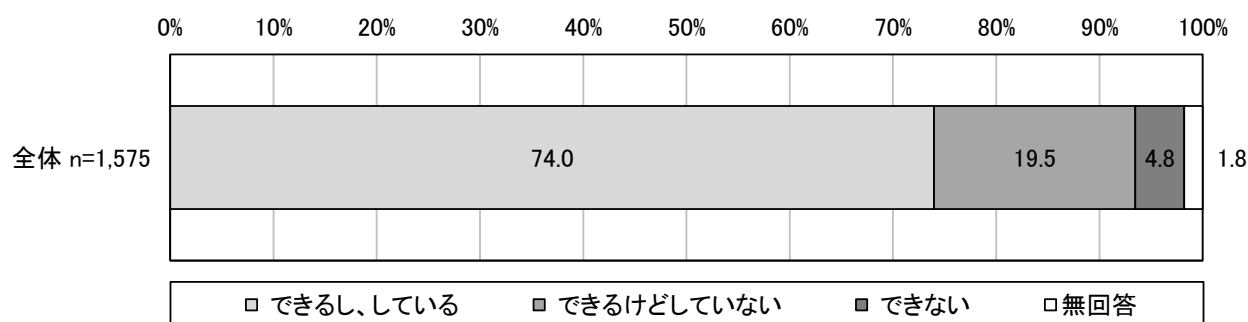
Q5. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか（1つのみ）

「できるし、している」が83.7%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.2%、「できない」が3.1%である。



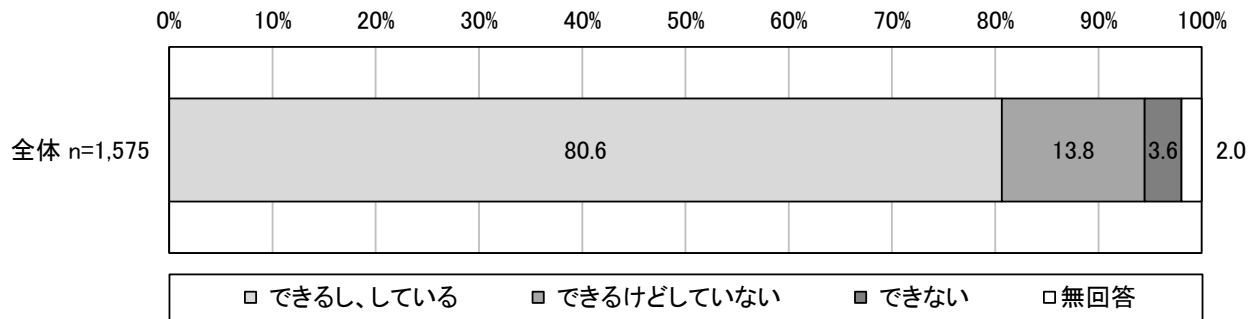
Q6. 自分で食事の用意をしていますか（1つのみ）

「できるし、している」が74.0%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が19.5%、「できない」が4.8%である。



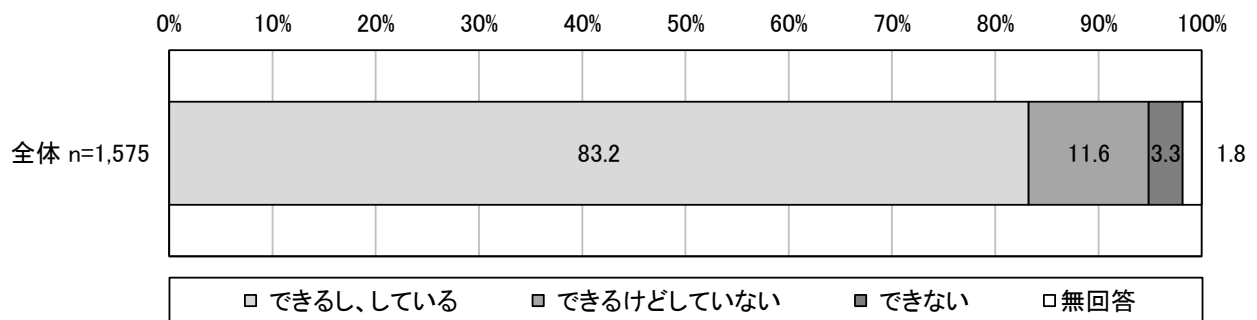
Q7. 自分で請求書の支払いをしていますか（1つのみ）

「できるし、している」が80.6%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.8%、「できない」が3.6%である。



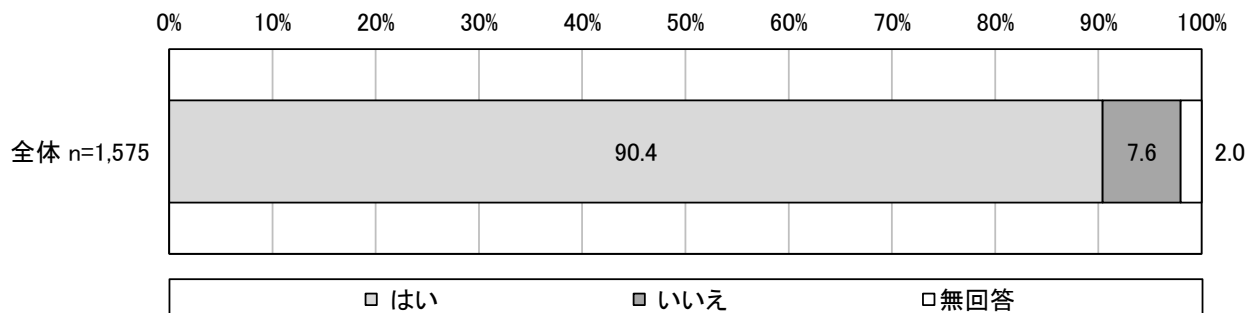
Q8. 自分で預貯金の出し入れをしていますか（1つのみ）

「できるし、している」が83.2%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.6%、「できない」が3.3%である。



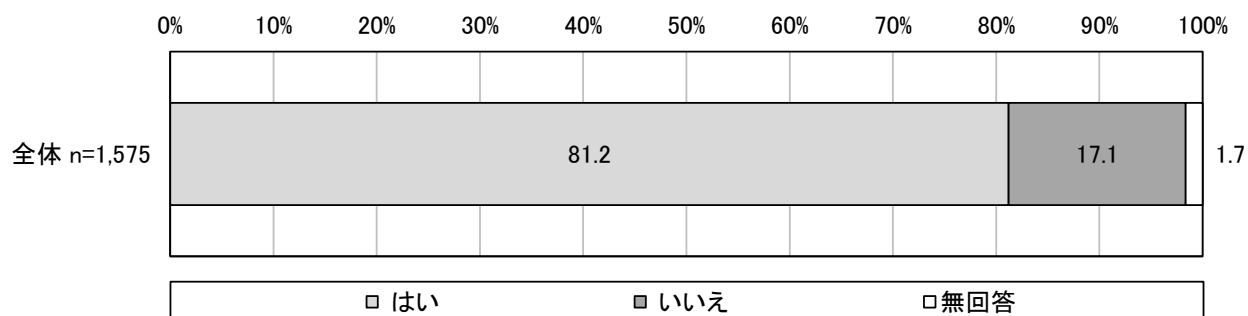
Q9. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（1つのみ）

「はい」が90.4%、「いいえ」が7.6%である。



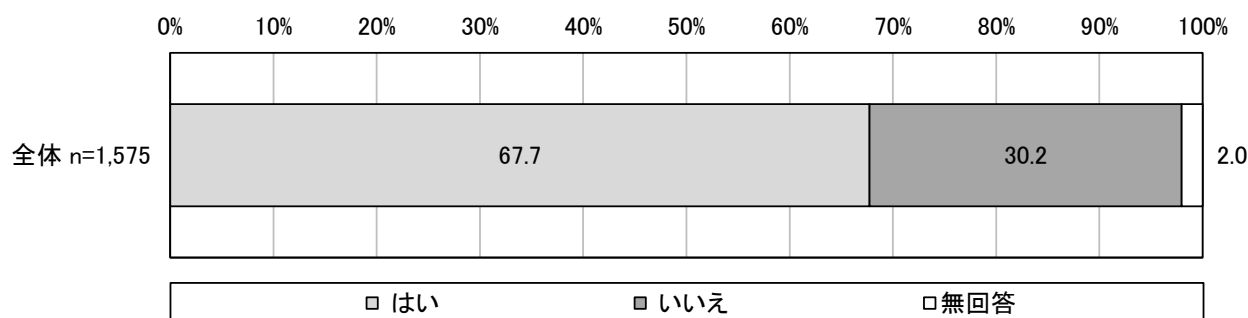
Q10. 新聞を読んでいますか（1つのみ）

「はい」が81.2%、「いいえ」が17.1%である。



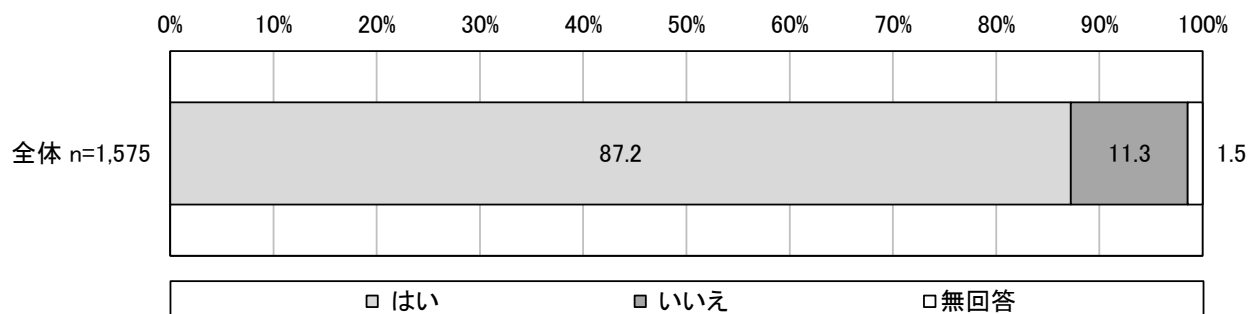
Q11. 本や雑誌を読んでいますか（1つのみ）

「はい」が67.7%、「いいえ」が30.2%である。



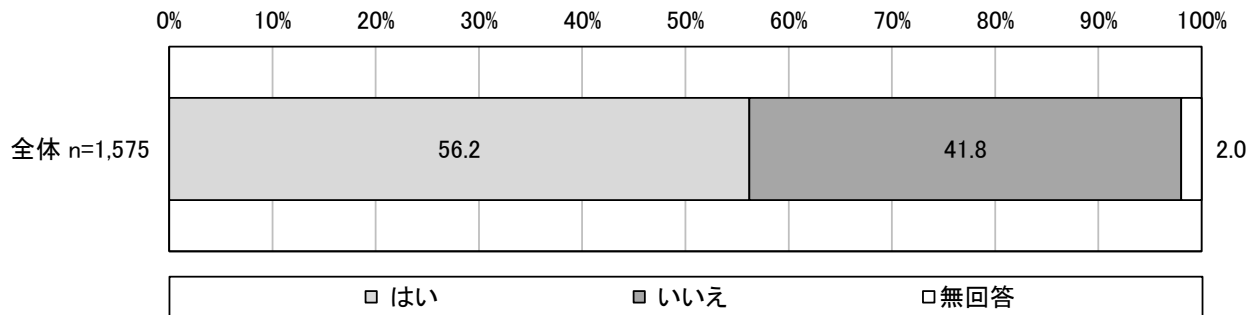
Q12. 健康についての記事や番組に関心がありますか（1つのみ）

「はい」が87.2%、「いいえ」が11.3%である。



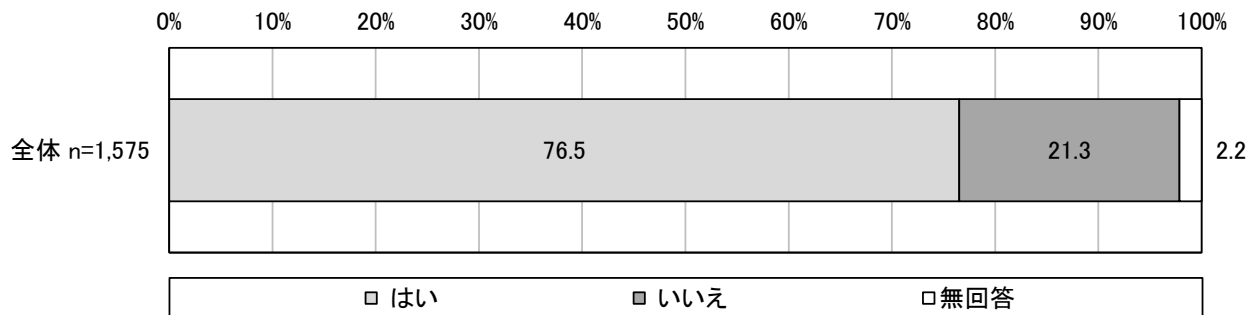
Q13. 友人の家を訪ねていますか（1つのみ）

「はい」が56.2%、「いいえ」が41.8%である。



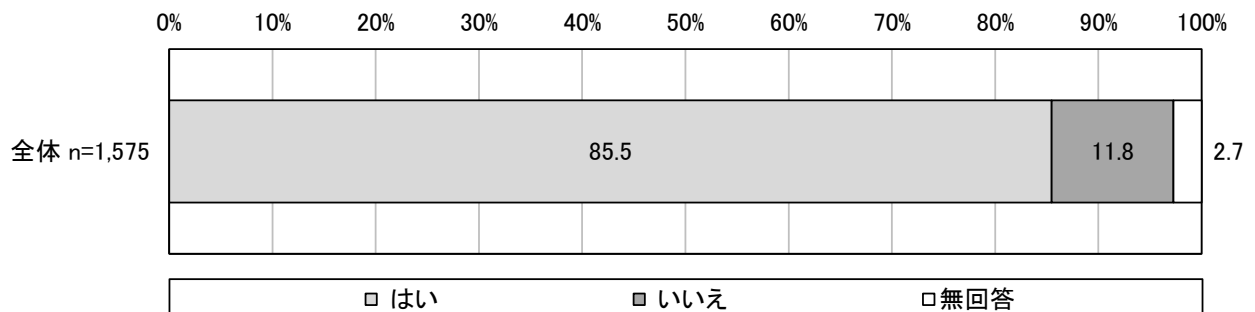
Q14. 家族や友人の相談にのっていますか（1つのみ）

「はい」が76.5%、「いいえ」が21.3%である。



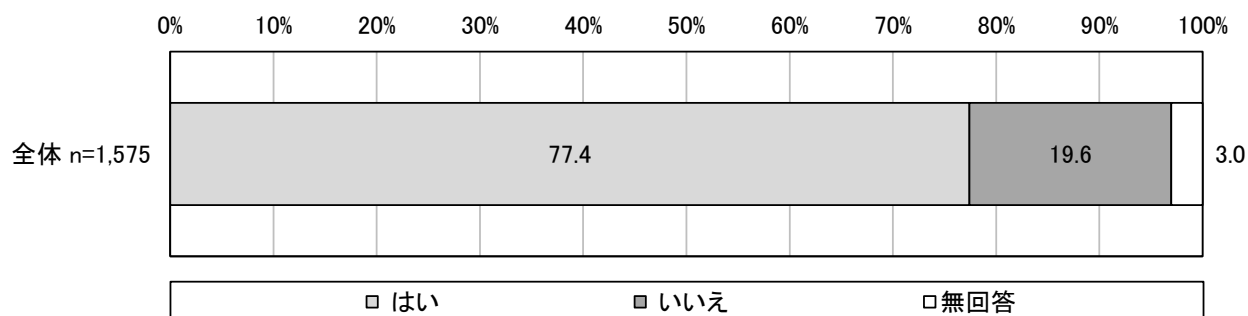
Q15. 病人を見舞うことができますか（1つのみ）

「はい」が85.5%、「いいえ」が11.8%である。



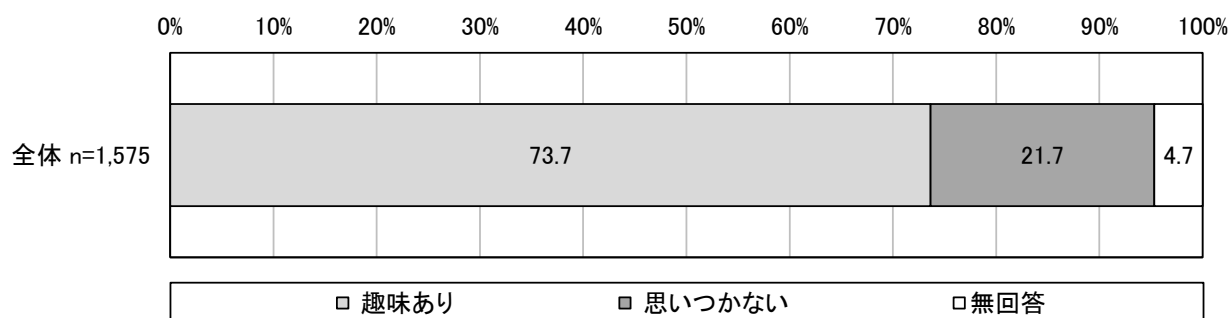
Q16. 若い人に自分から話しかけることがありますか（1つのみ）

「はい」が77.4%、「いいえ」が19.6%である。



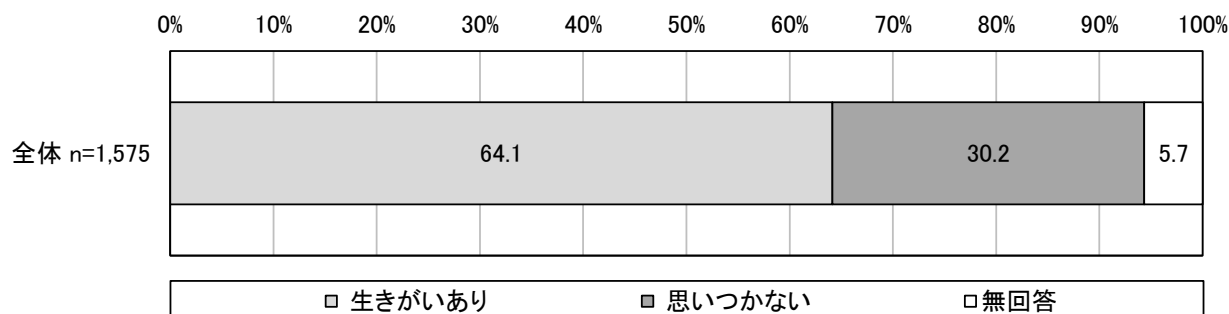
Q17. 趣味はありますか（1つのみ）

「趣味あり」が73.7%、「思いつかない」が21.7%である。

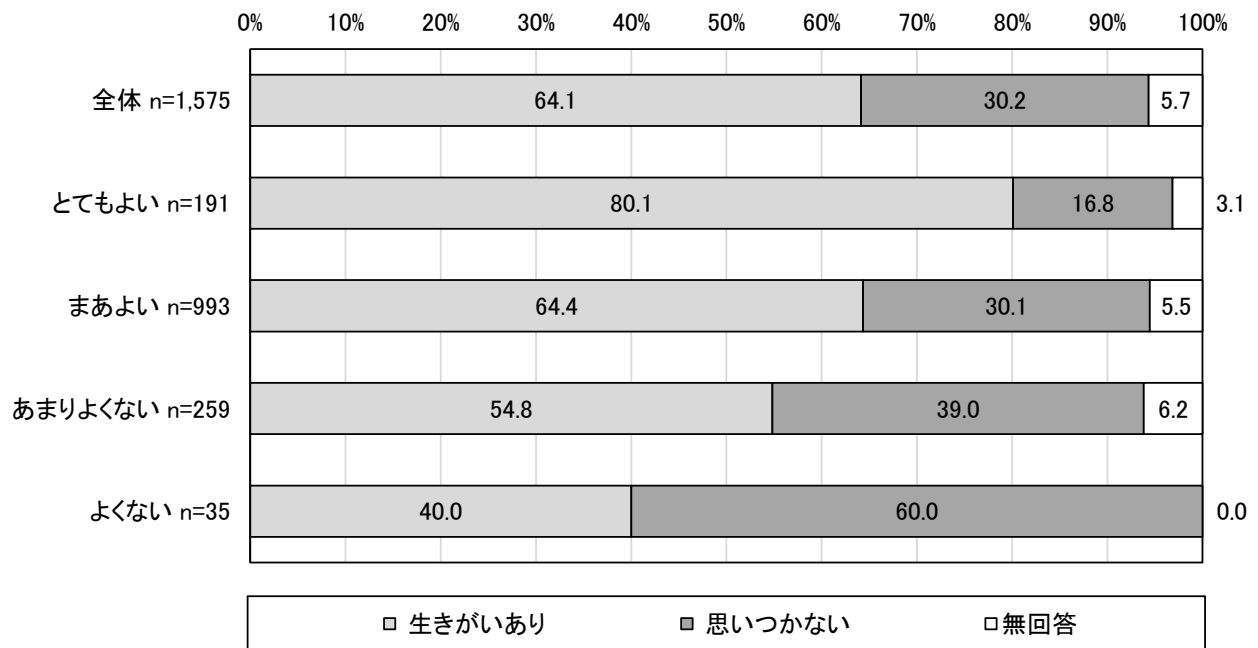


Q18. 生きがいがありますか（1つのみ）

「生きがいあり」が64.1%、「思いつかない」が30.2%である。



生きがいについて、問7ーQ1「健康状態」の回答別に見ると、「生きがいあり」は「とてもよい」が80.1%、「まあよい」が64.4%となっており、健康状態が良いと回答した人ほど、「生きがいあり」の割合が高くなる傾向が見られる。

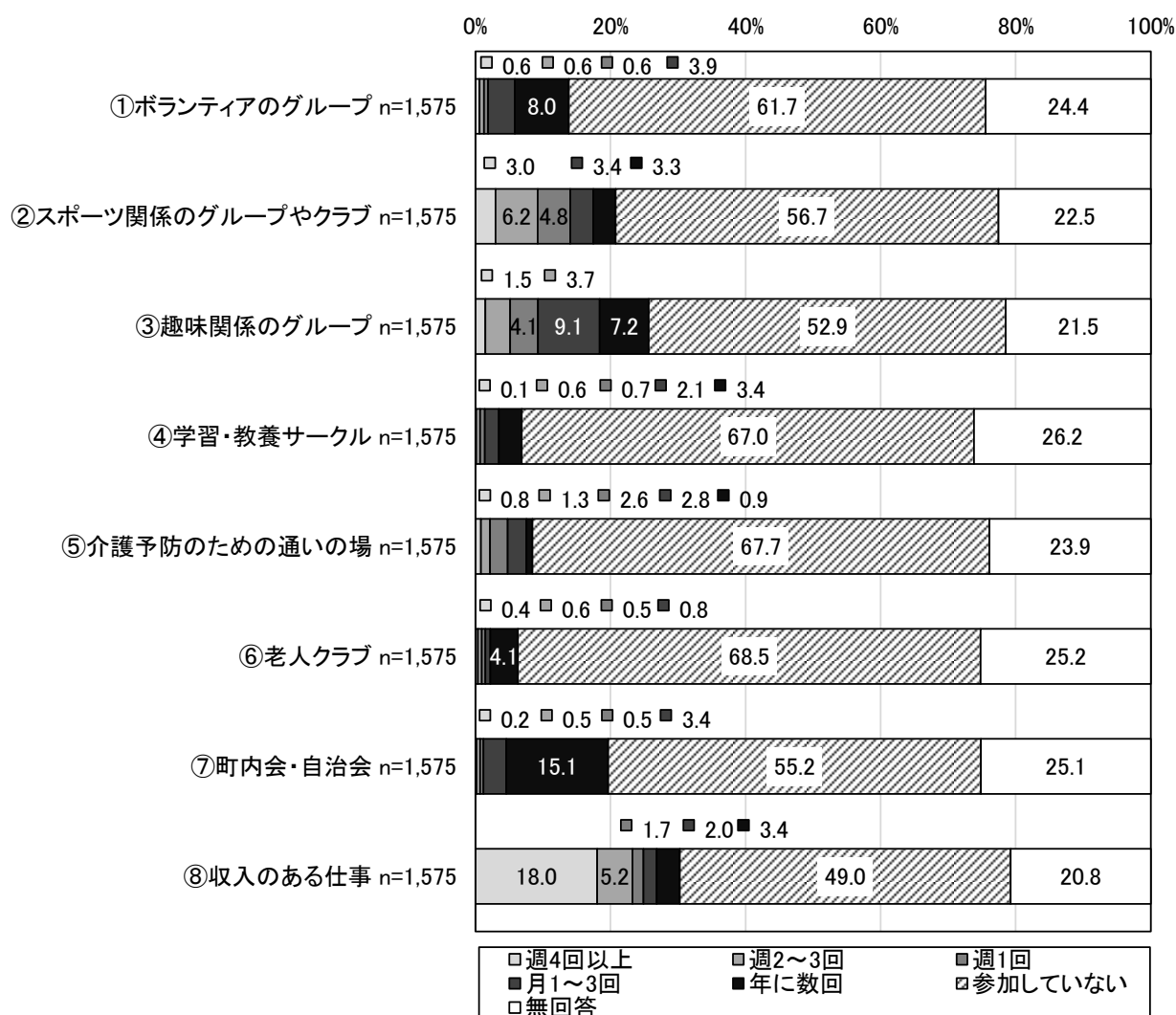


問5. 地域での活動について

Q1. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

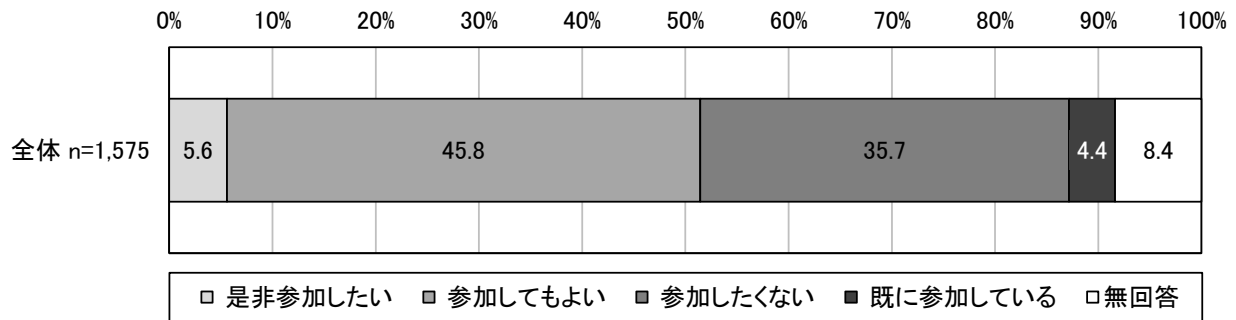
※①から⑧それぞれに回答してください（それぞれに1つのみ）

『月1回以上参加』（「週4回以上」+「週2～3回」+「週1回」+「月1～3回」）は「⑧収入のある仕事」が26.9%で最も高く、次いで「③趣味関係のグループ」が18.4%、「②スポーツ関係のグループやクラブ」が17.4%である。

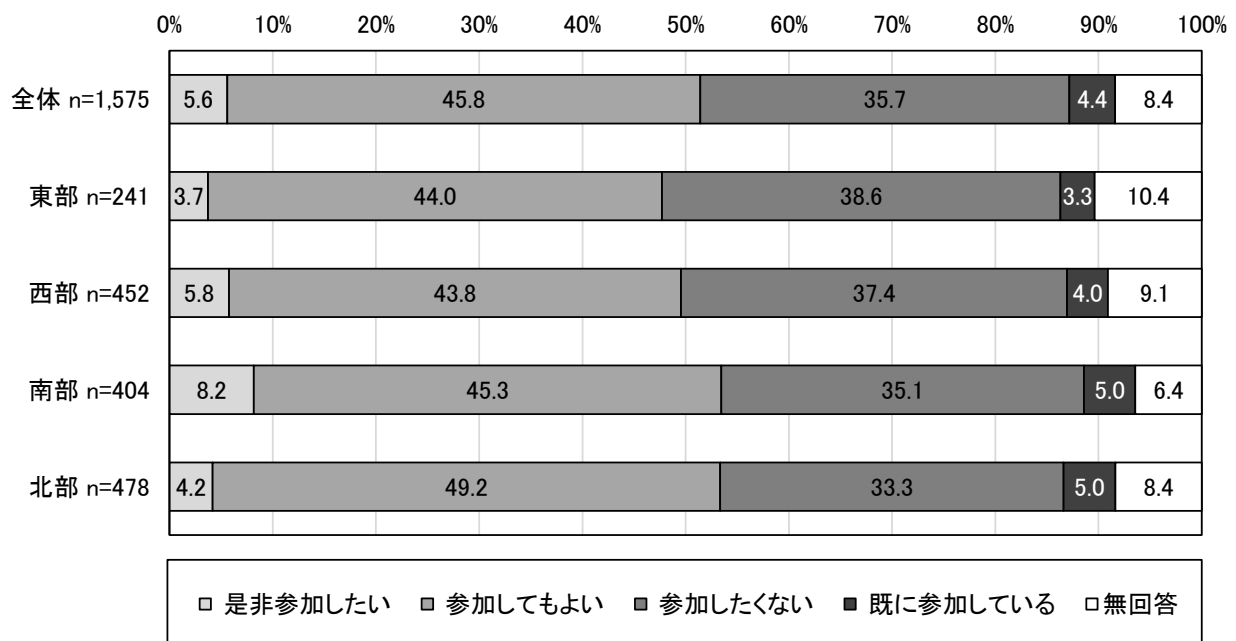


Q2. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか
(1つのみ)

「参加してもよい」が45.8%で最も高く、次いで「参加したくない」が35.7%、「是非参加したい」が5.6%である。

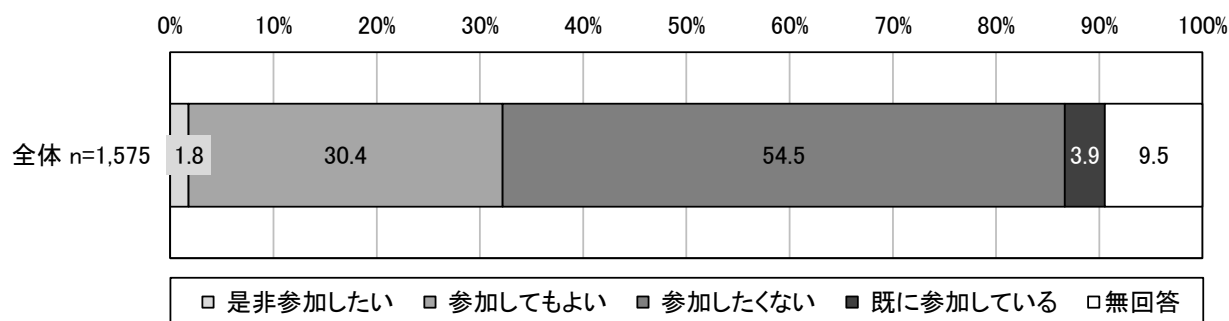


圏域別に見ると、「是非参加したい」「参加してもよい」など参加に対して肯定的な回答は、「南部」「北部」で高くなっている。「既に参加している」においても、「南部」「北部」で高い傾向が見られる。

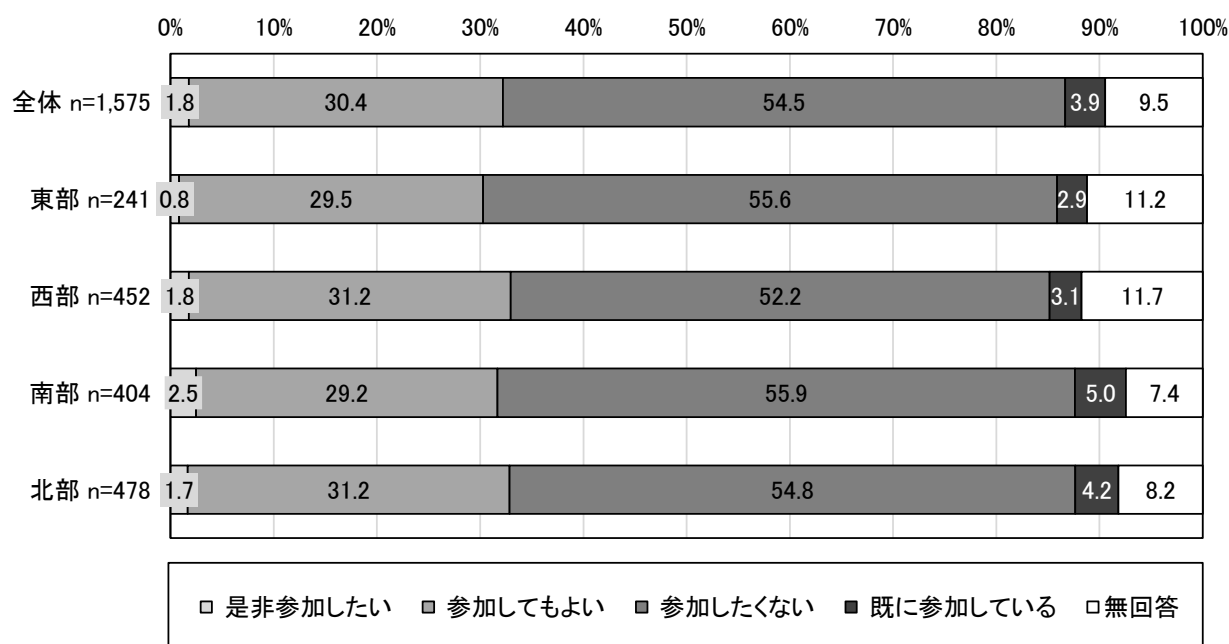


Q3. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つのみ）

「参加したくない」が54.5%で最も高く、次いで「参加してもよい」が30.4%、「既に参加している」が3.9%である。



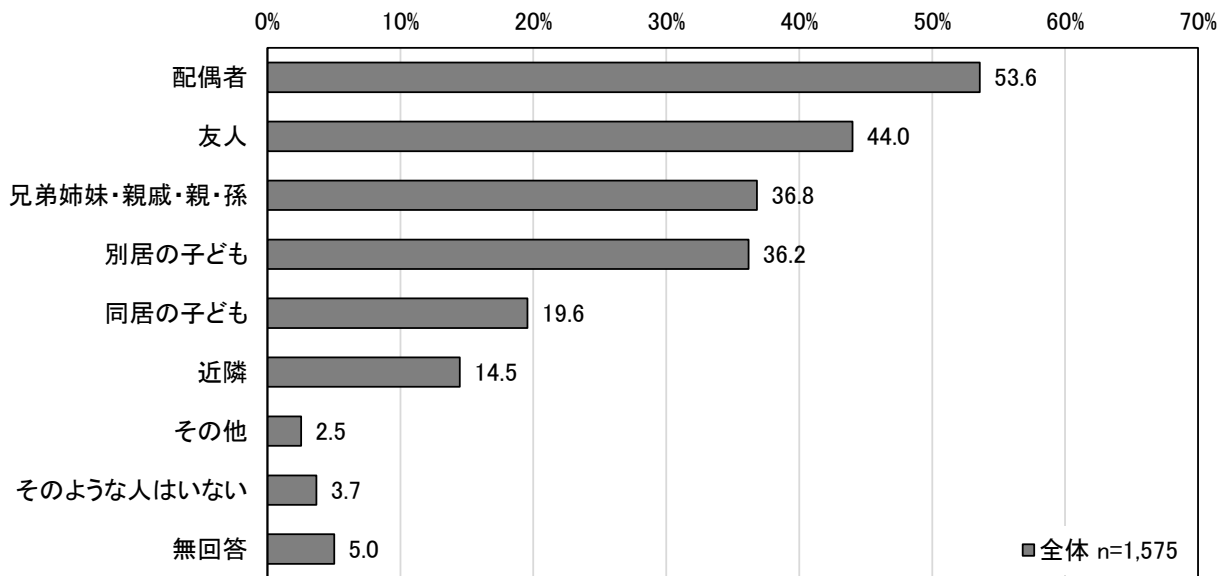
圏域別に見ると、「是非参加したい」「参加してもよい」など参加に対して肯定的な回答は、「西部」「北部」で高くなっている。「既に参加している」においては、「南部」「北部」で高い傾向が見られる。



問6. たすけあいについて

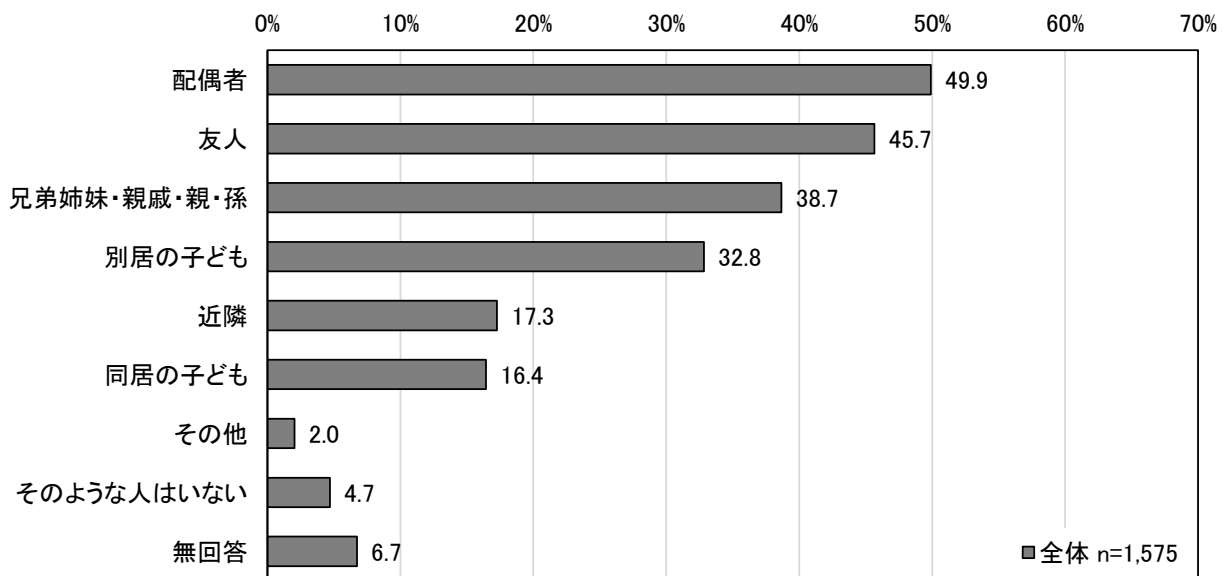
Q1. あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

「配偶者」が53.6%で最も高く、次いで「友人」が44.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が36.8%である。



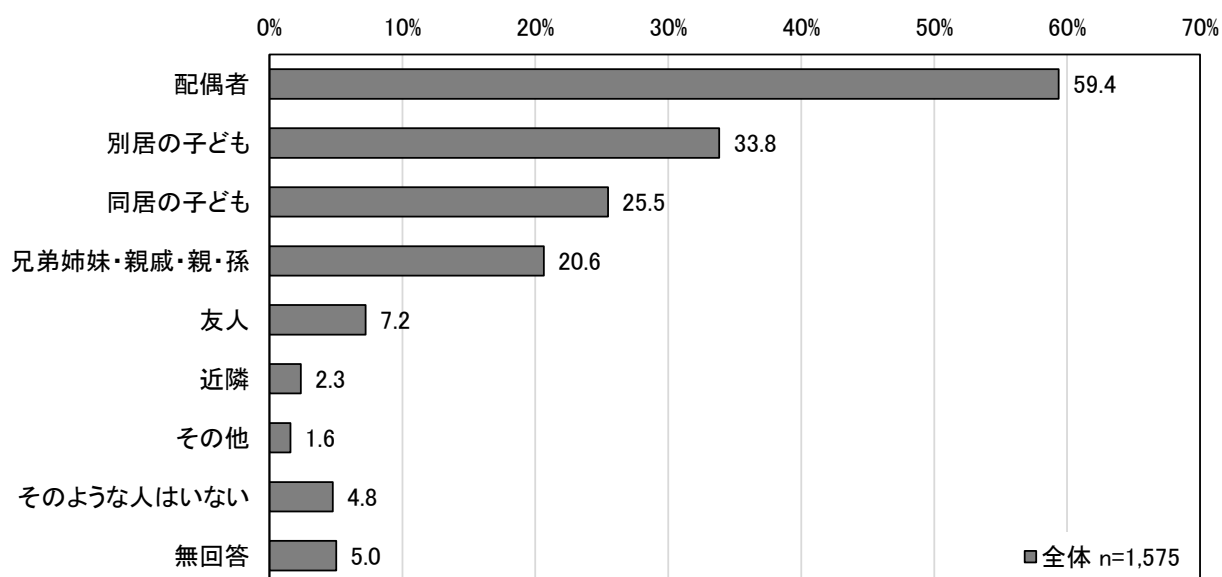
Q2. 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

「配偶者」が49.9%で最も高く、次いで「友人」が45.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が38.7%である。



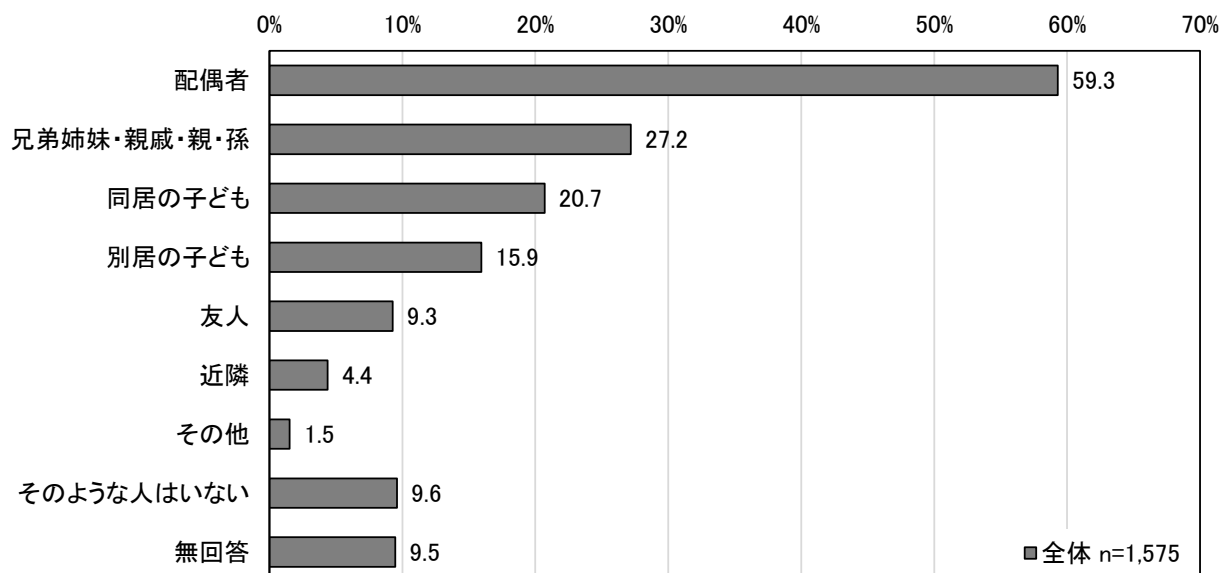
Q3. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

「配偶者」が59.4%で最も高く、次いで「別居の子ども」が33.8%、「同居の子ども」が25.5%である。



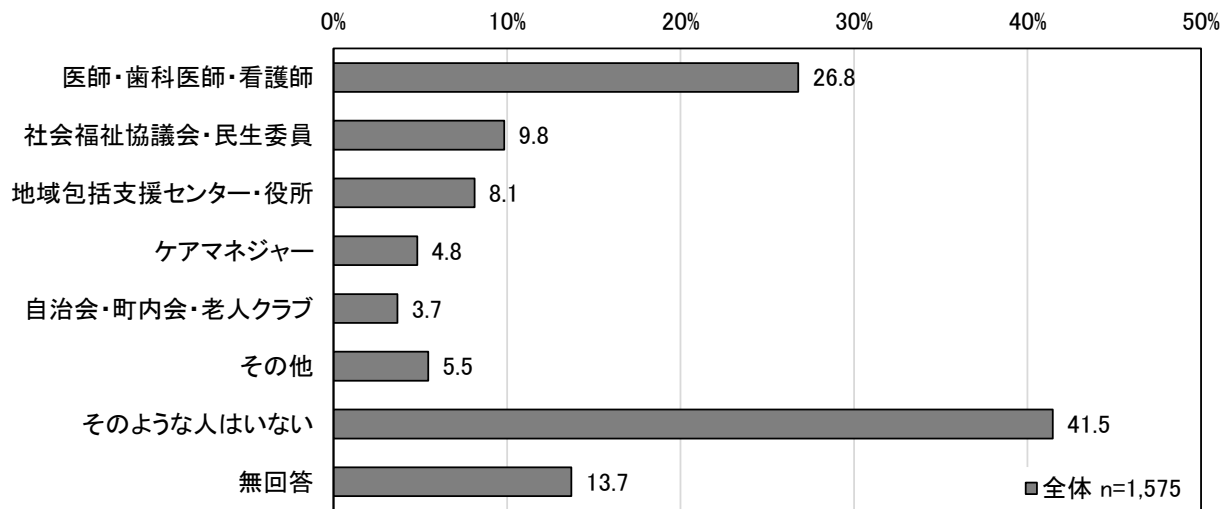
Q4. 反対に、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

「配偶者」が59.3%で最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が27.2%、「同居の子ども」が20.7%である。



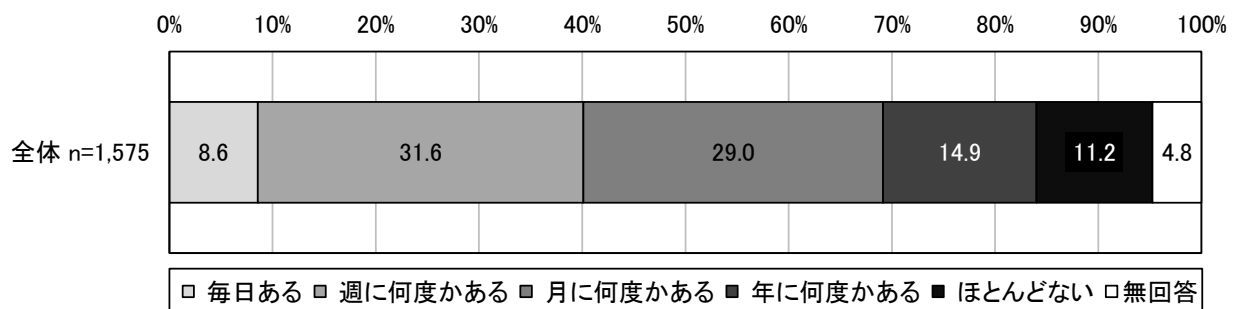
Q5. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

「そのような人はいない」が41.5%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が26.8%、「社会福祉協議会・民生委員」が9.8%である。



Q6. 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つのみ）

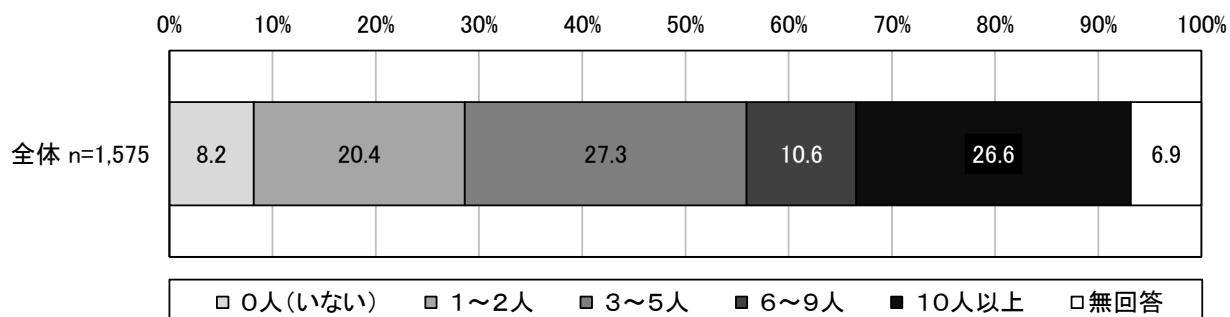
「週に何度かある」が31.6%で最も高く、次いで「月に何度かある」が29.0%、「年に何度かある」が14.9%である。



Q7. この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか

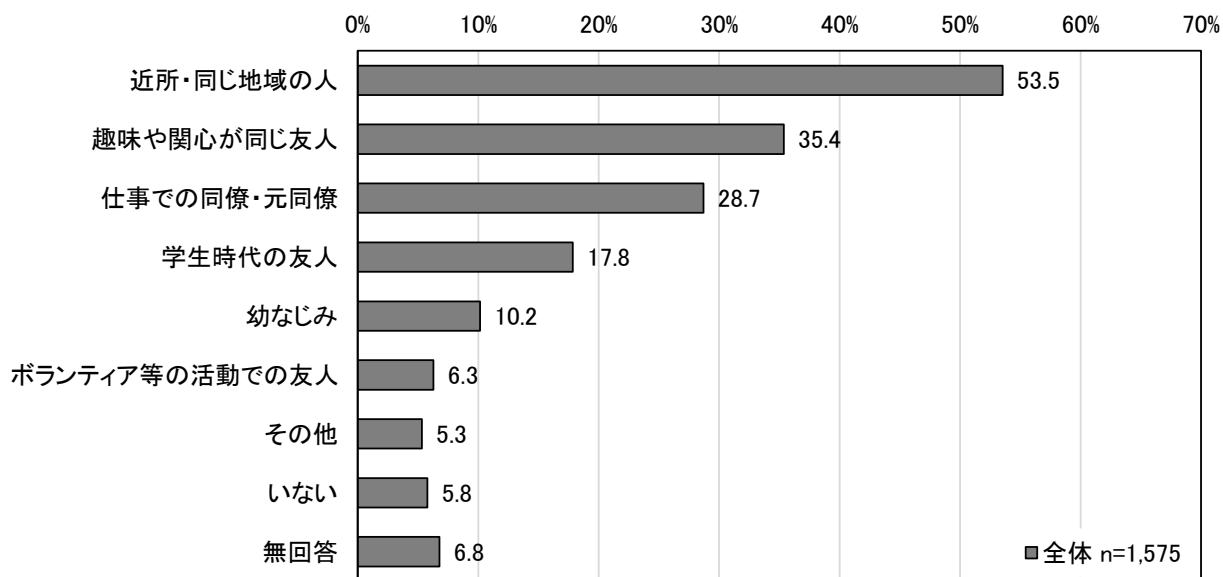
同じ人には何度会っても1人と数えることとします（1つのみ）

「3～5人」が27.3%で最も高く、次いで「10人以上」が26.6%、「1～2人」が20.4%である。一方、「0人（いない）」は、8.2%となっている。



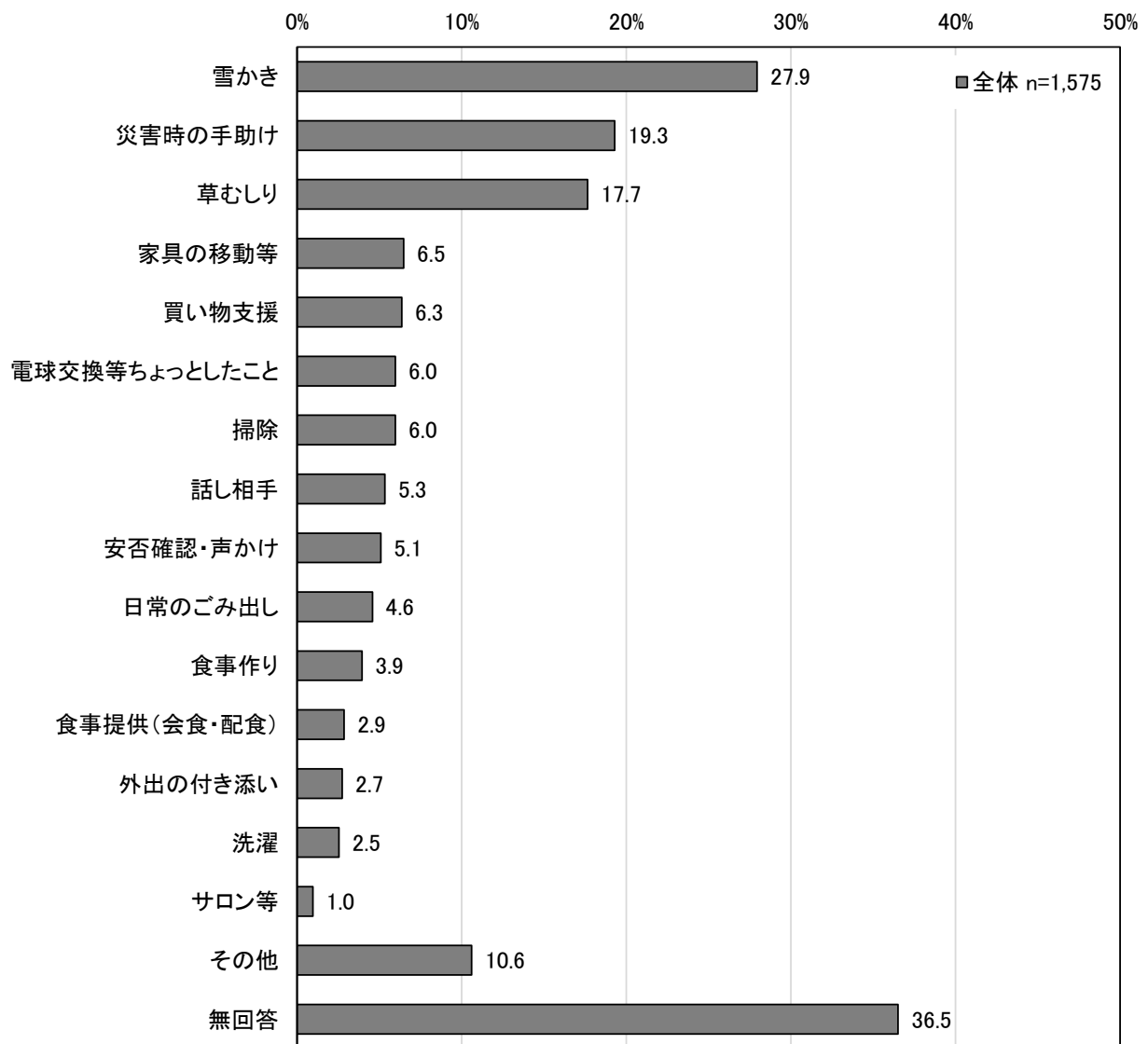
Q8. よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

「近所・同じ地域の人」が53.5%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が35.4%、「仕事での同僚・元同僚」が28.7%である。



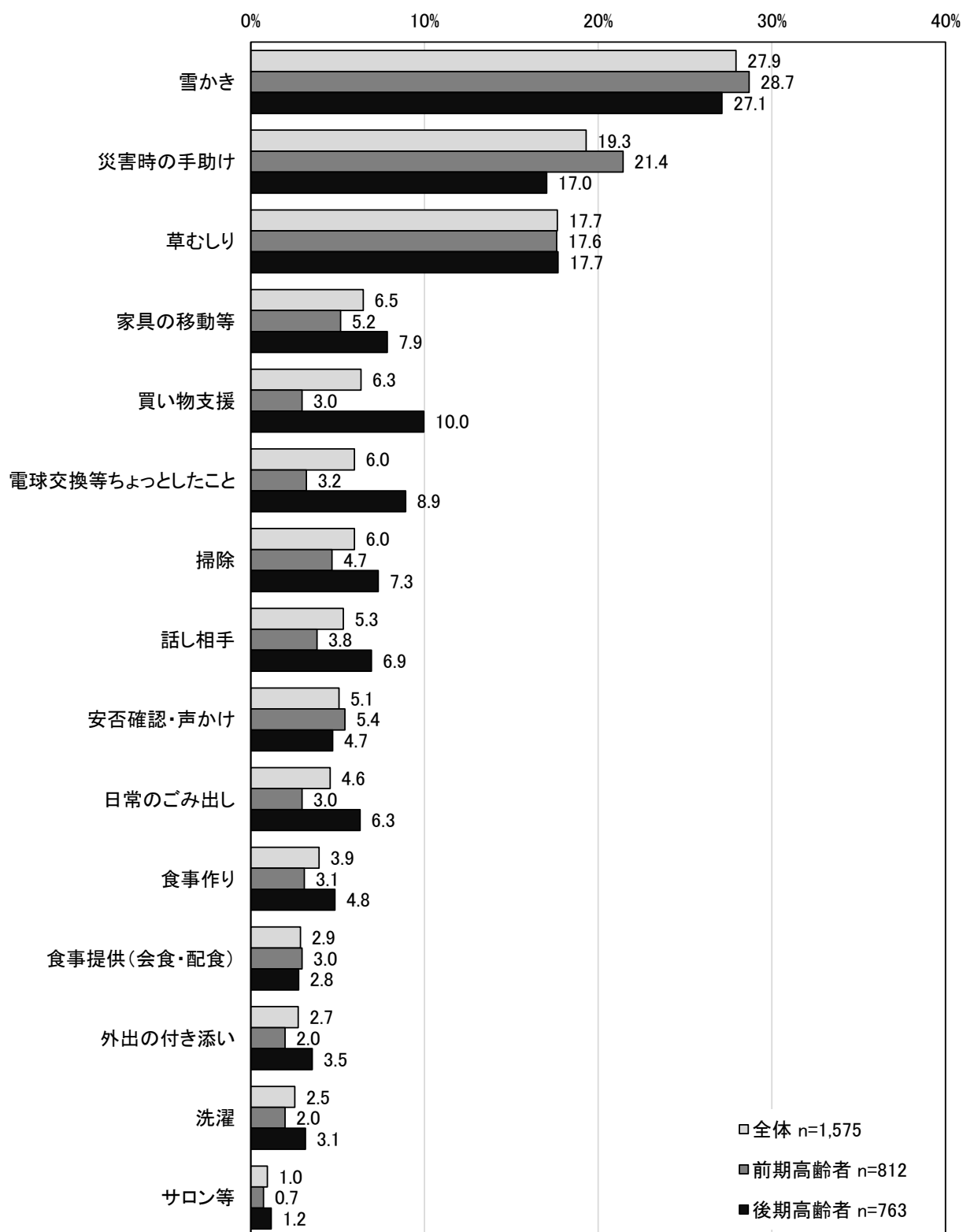
Q9. 生活の困りごとやあると助かる支援等がありますか（いくつでも）

「雪かき」が27.9%で最も高く、次いで「災害時の手助け」が19.3%、「草むしり」が17.7%である。



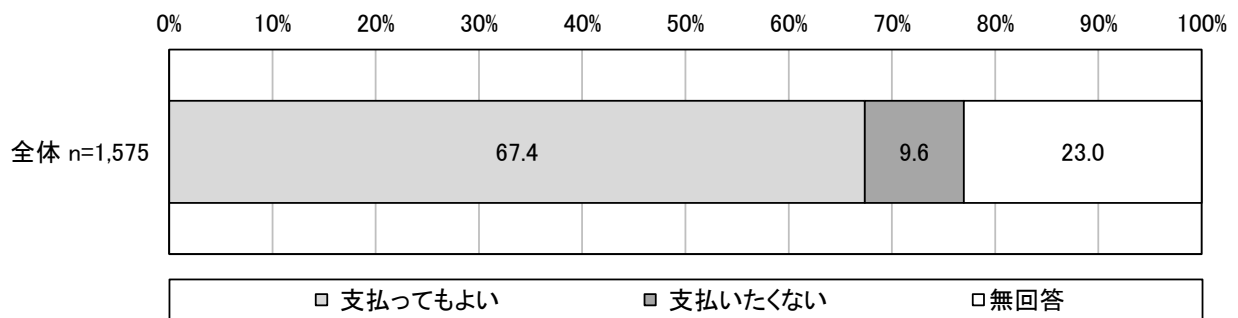
Ⅱ 調査結果 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

年齢別に見ると、「雪かき」「災害時の手助け」「安否確認・声かけ」「食事提供（会食・配食）」を除いて、どの項目でも「後期高齢者」の割合が高い傾向が見られる。



Q10. 手伝いをしてもらう時の支払いについて（1つのみ）

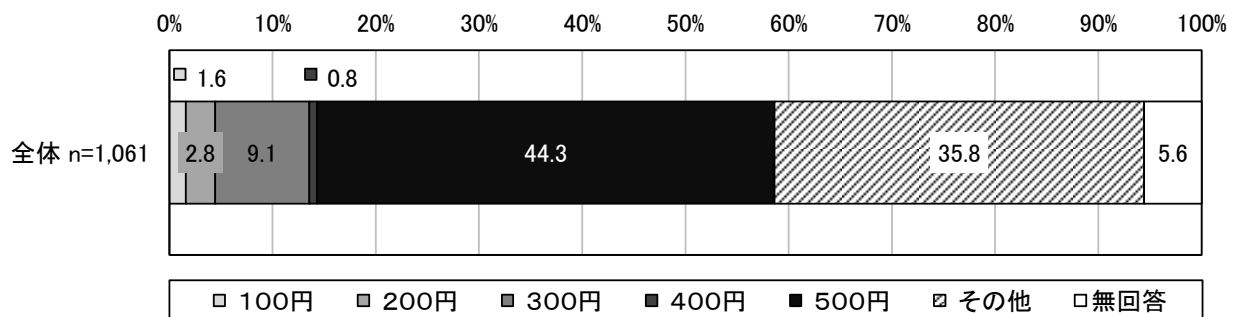
「支払ってもよい」が67.4%、「支払いたくない」が9.6%である。



【Q10において「支払ってもよい」の方のみ】

①. 支払ってもよい場合の金額はどのくらいですか（1つのみ）

「500 円」が44.3%で最も高く、次いで「300 円」が9.1%、「200 円」が2.8%である。また、「その他」の割合が35.8%と高くなっている。

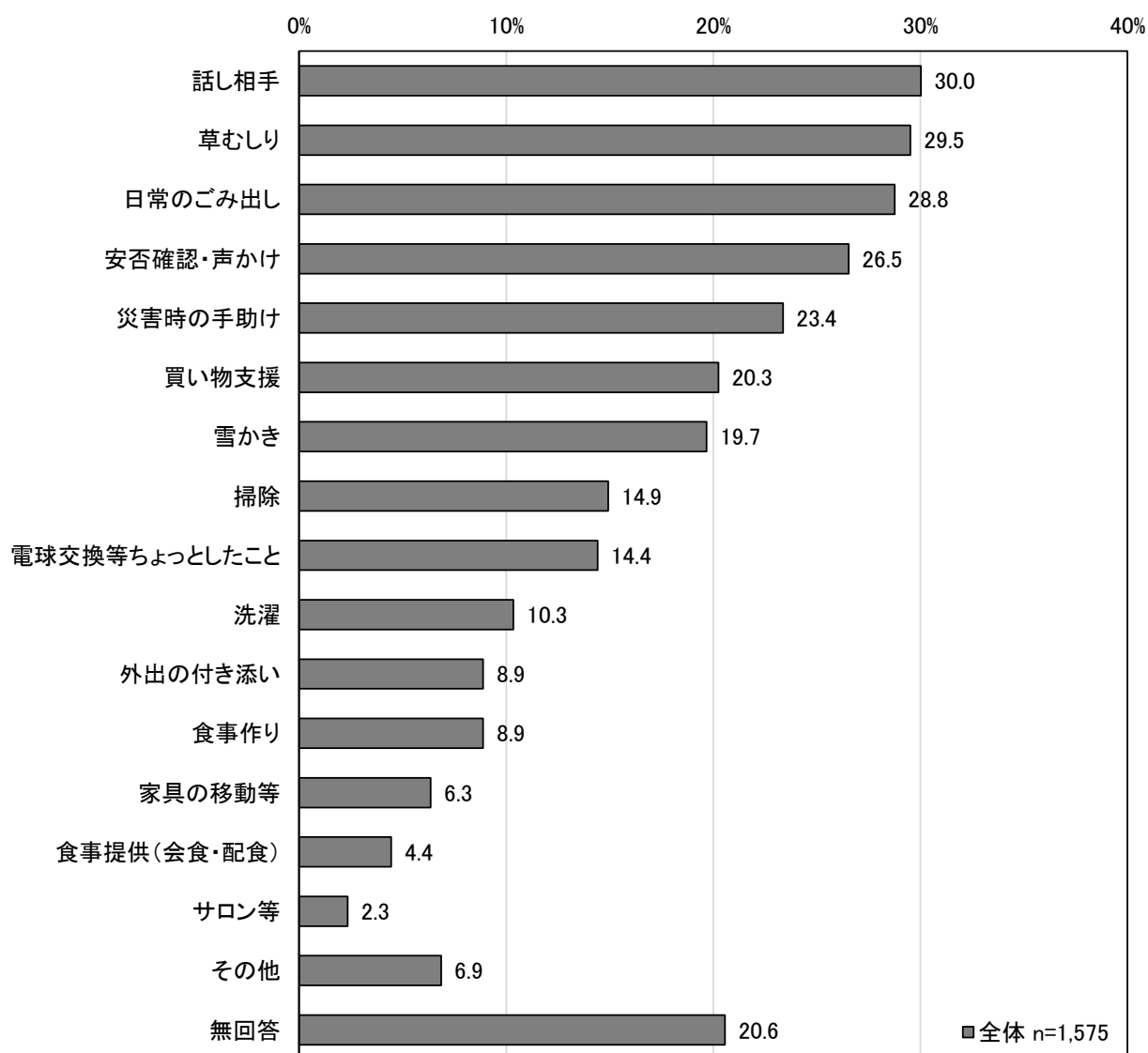


◇「その他」の回答

仕事の内容や時間による（123 件）、1,000 円（54 件）、時給 500～1,000 円程度（16 件）、1,000 円以上（15 件）、2,000～4,000 円（15 件）、10,000 円（7 件）、5,000 円（6 件）、500～1,000 円未満（4 件）

Q11. 地域のたすけあいとして自分ができることは何ですか（いくつでも）

「話し相手」が30.0%で最も高く、次いで「草むしり」が29.5%、「日常のごみ出し」が28.8%である。



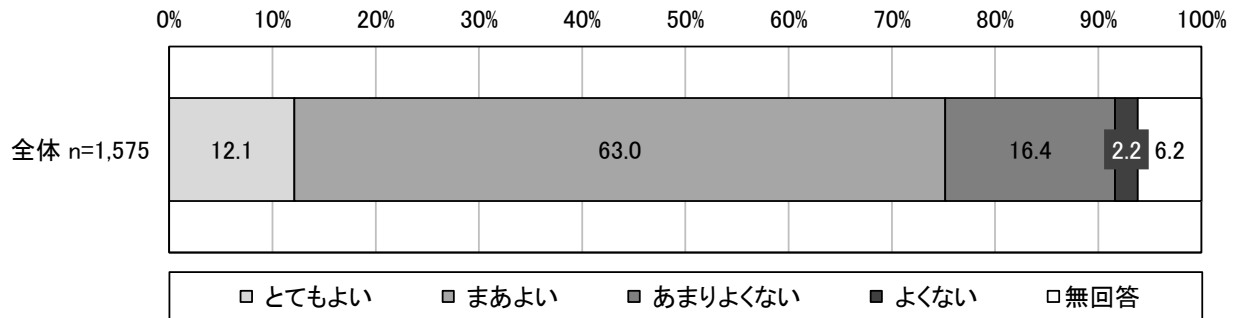
◇「その他」の回答

できることはない（49件）、できることがあればなんでも（10件）

問 7. 健康について

Q 1. 現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つのみ）

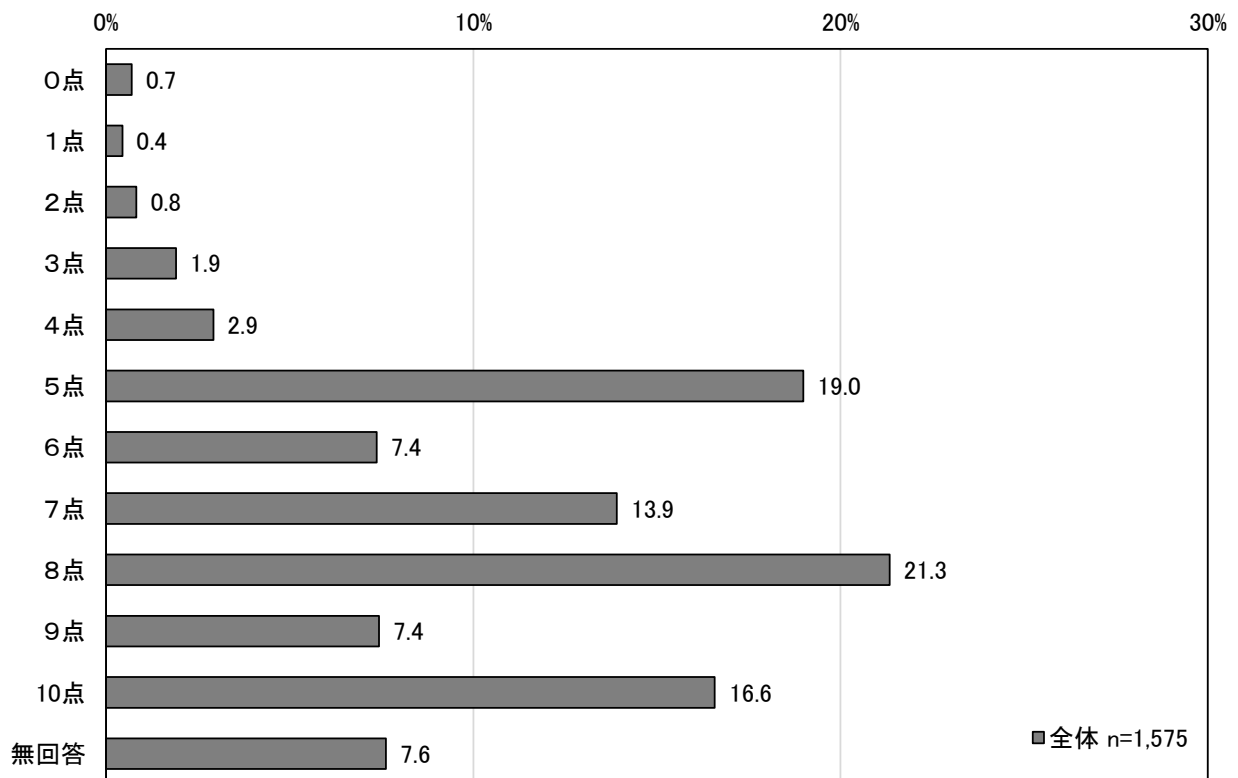
「まあよい」が 63.0%で最も高く、次いで「あまりよくない」が 16.4%、「とてもよい」が 12.1%である。



Q 2. あなたは、現在どの程度幸せですか（1つのみ）

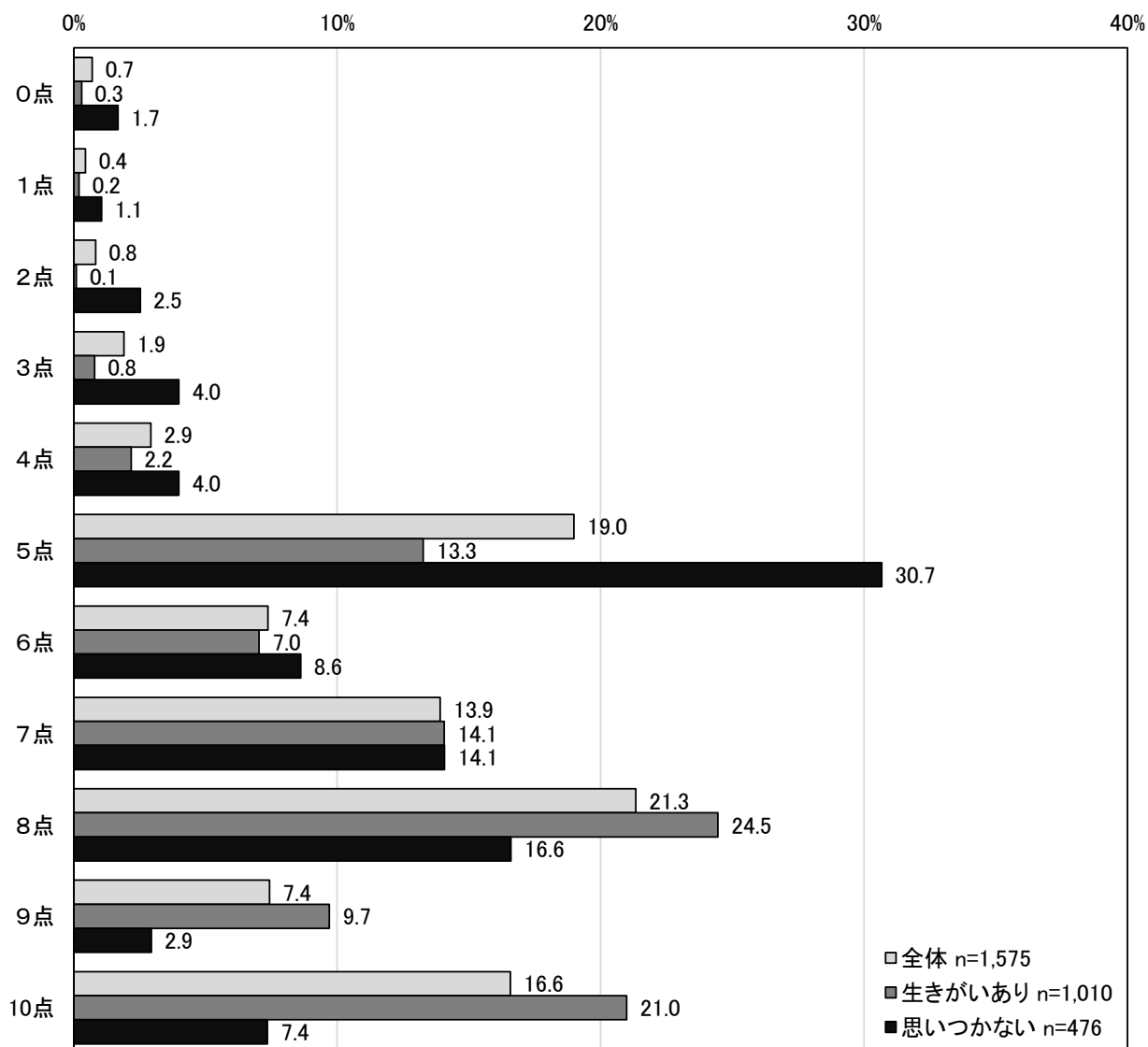
（「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として、ご記入ください）

「8点」が 21.3%で最も高く、次いで「5点」が 19.0%、「10点」が 16.6%である。また、平均点は 7.1 点となっている。



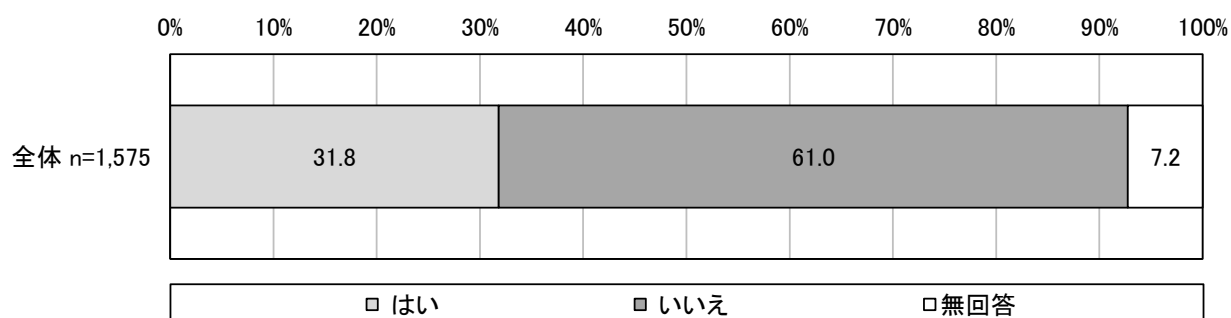
Ⅱ 調査結果 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

どの程度幸せかについて、問4-Q18「生きがい」の回答別に見ると、「生きがいあり」の回答は、「8点」が24.5%で最も高く、「思いつかない」の回答では、「5点」が30.7%で最も高くなっている。また、平均点は「生きがいあり」では7.6点、「思いつかない」では6.1点となっている。



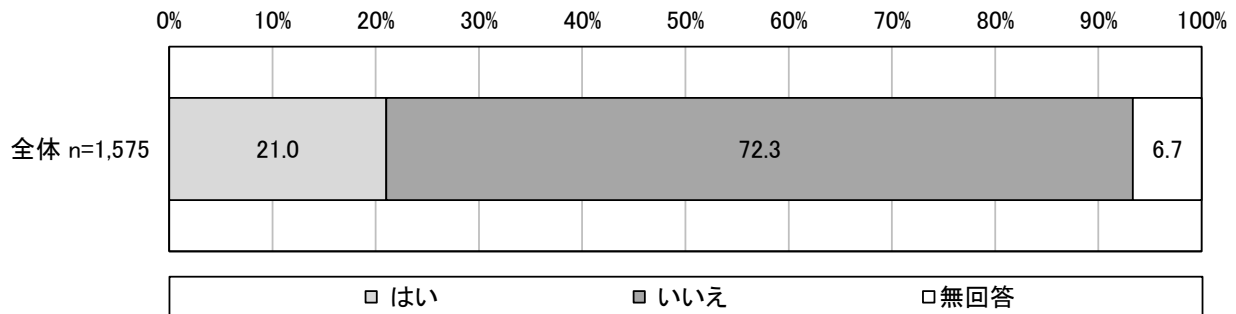
Q3. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか
(1つのみ)

「はい」が31.8%、「いいえ」が61.0%である。



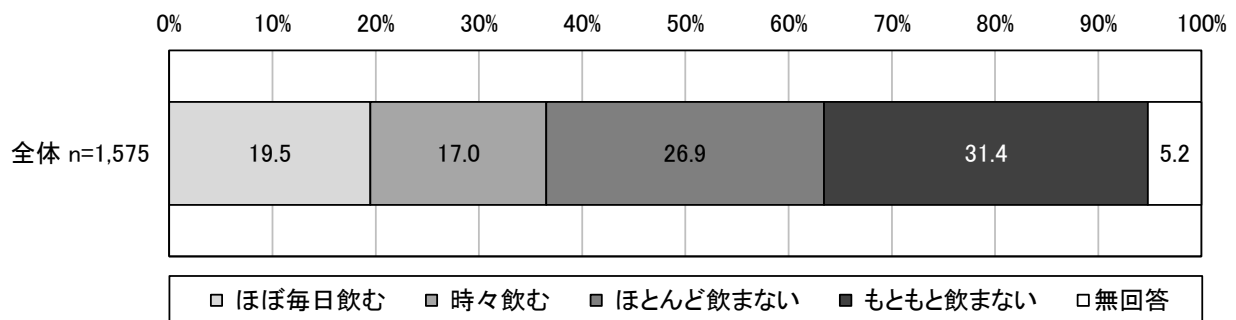
Q4. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（1つのみ）

「はい」が21.0%、「いいえ」が72.3%である。



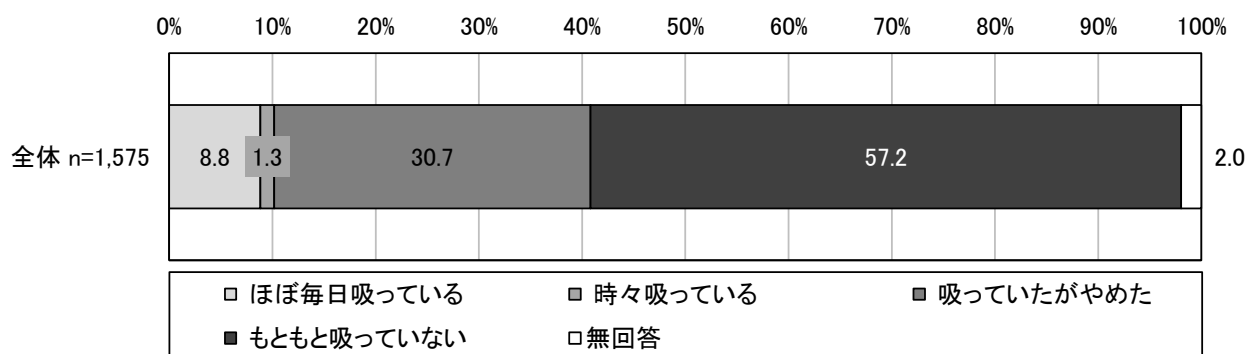
Q5. お酒は飲みますか（1つのみ）

「もともと飲まない」が31.4%で最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が26.9%、「ほぼ毎日飲む」が19.5%である。



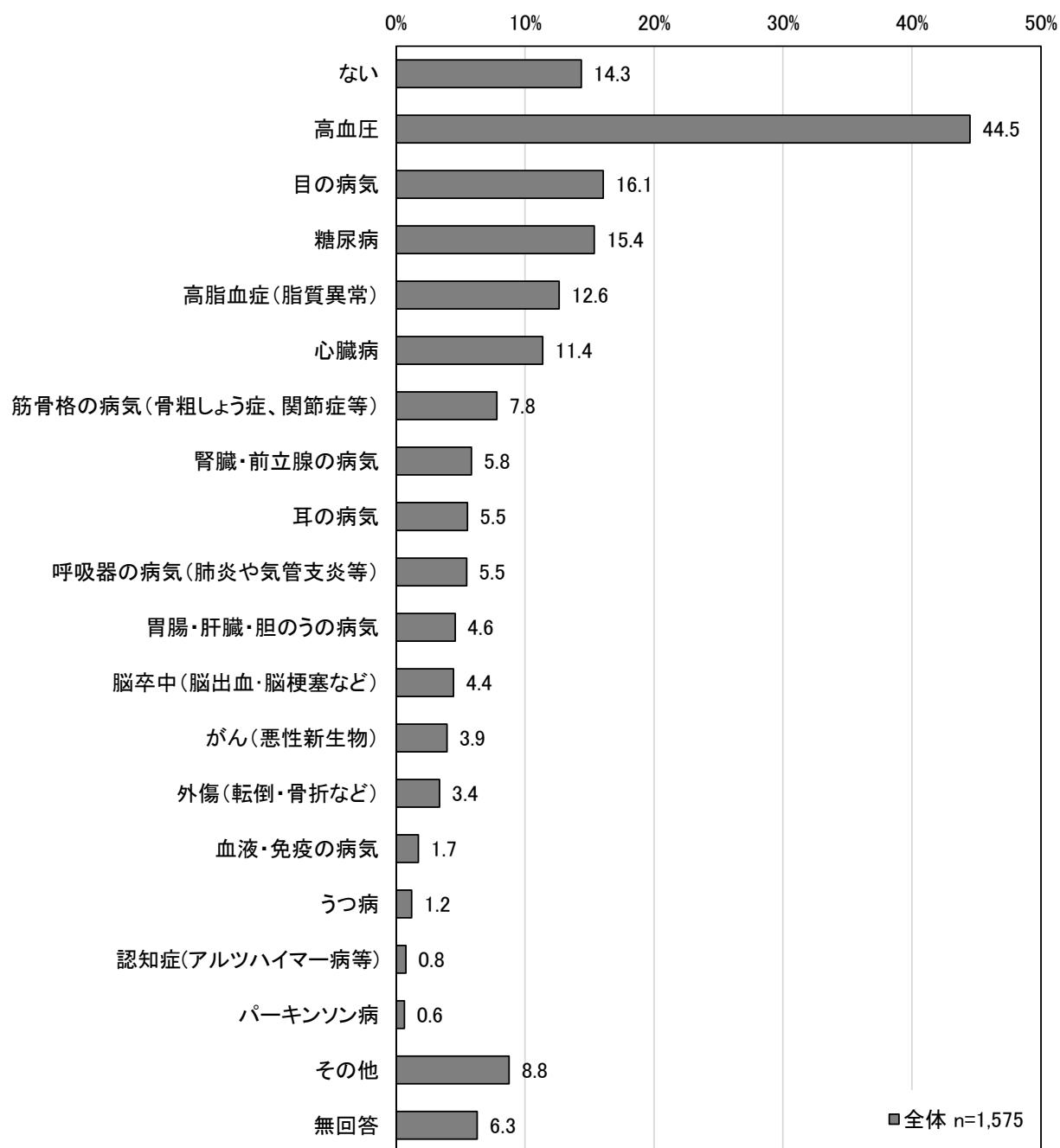
Q6. タバコは吸っていますか（1つのみ）

「もともと吸っていない」が57.2%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が30.7%、「ほぼ毎日吸っている」が8.8%である。

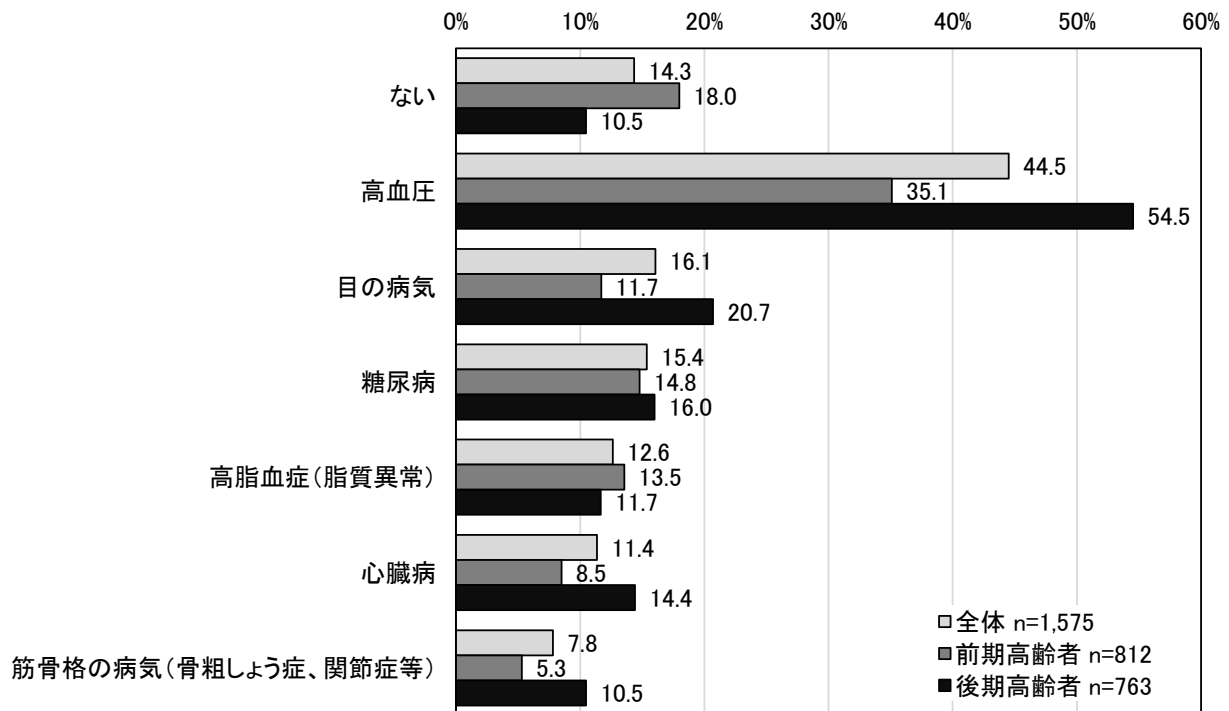


Q7. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

「高血圧」が 44.5%で最も高く、次いで「目の病気」が 16.1%、「糖尿病」が 15.4%である。一方、「ない」は 14.3%となっている。



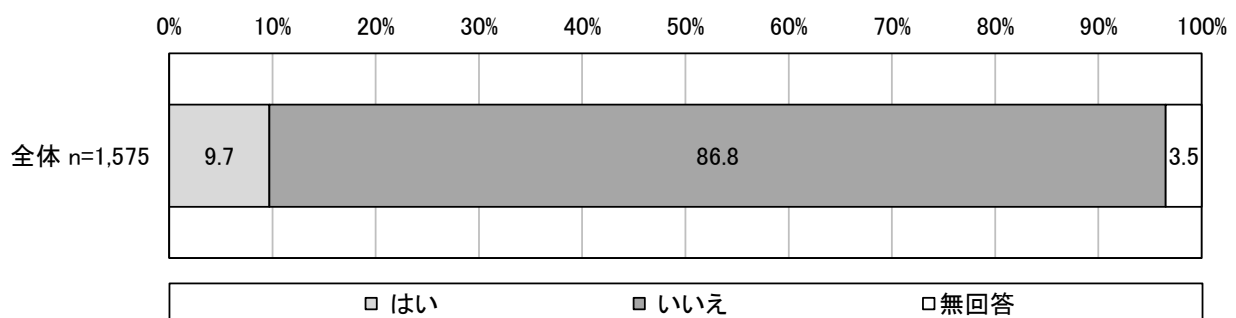
年齢別に見ると、「前期高齢者」では、「高脂血症（脂質異常）」の割合が「後期高齢者」より高くなっており、その他では「後期高齢者」の割合が高くなっている。一方、「前期高齢者」の 18.0% が、後遺症のある病気は「ない」と回答している。



問 8. 認知症にかかる相談窓口の把握について

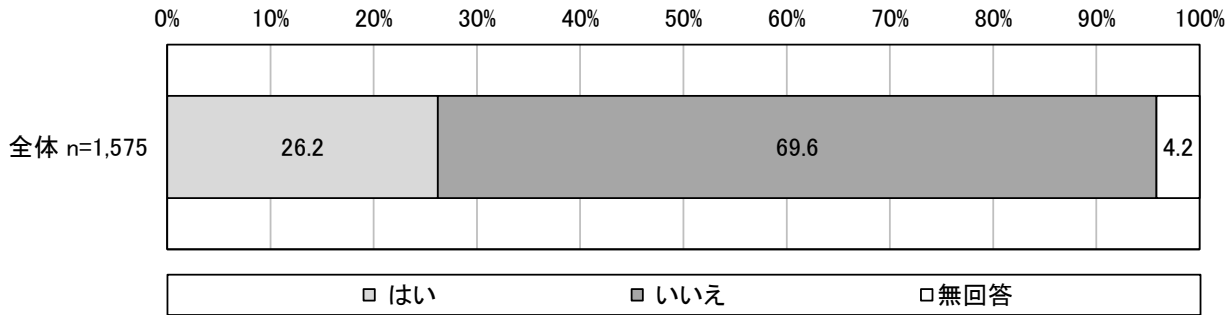
Q 1. 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか（1 つのみ）

「はい」が 9.7%、「いいえ」が 86.8%である。



Q2. 認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つのみ）

「はい」が26.2%、「いいえ」が69.6%である。

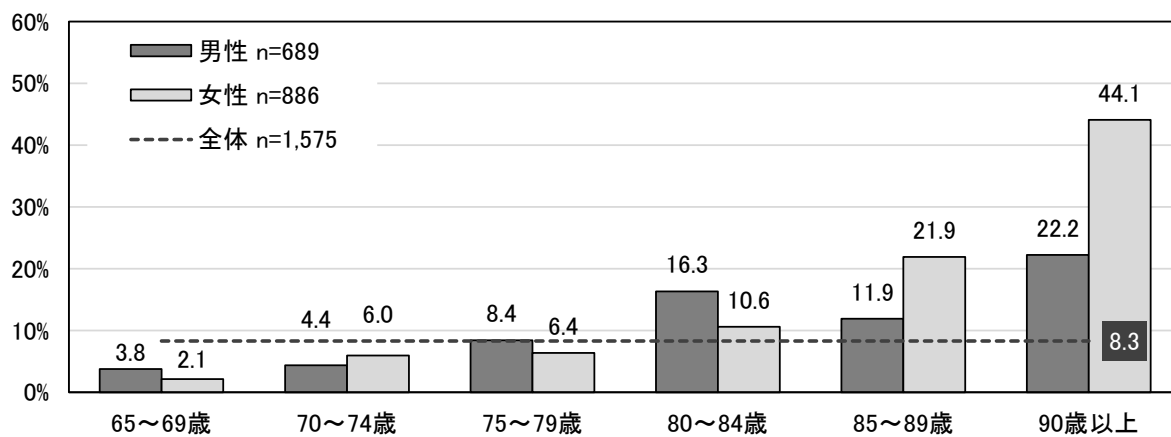


Ⅲ リスク分析

Ⅲ リスク分析

1. 虚弱傾向

虚弱傾向のリスクについて、性別・年齢階級別に該当割合を見ると、年齢が上がるにつれ上昇する傾向が見られ、80歳以上の女性で該当割合が急増している。



Ⅲ リスク分析

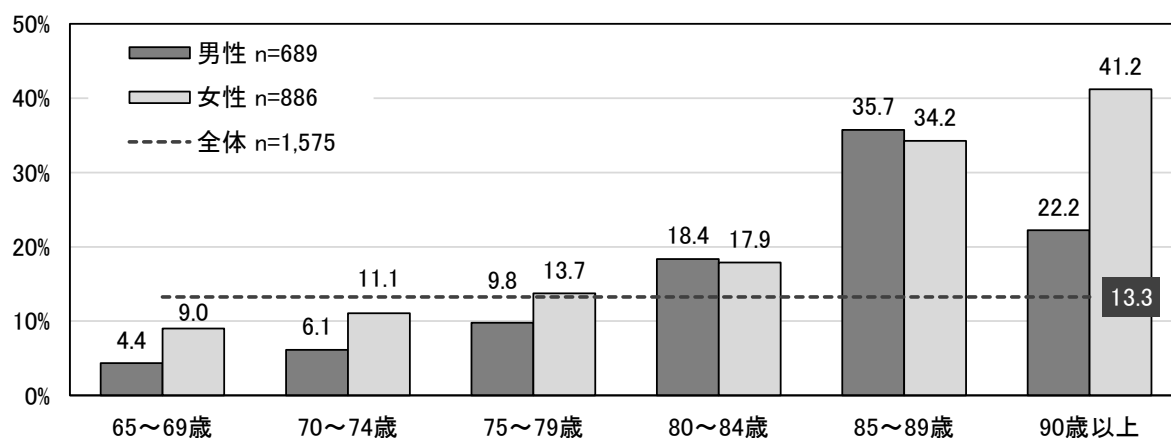
【リスク判定方法】

下記の設問で 10 問以上、該当する選択肢が回答された場合は、リスクありと判定する。

分析に用いた設問	該当する選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「できない」
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「できない」
15分位続けて歩いていますか	「できない」
過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」
	「1度ある」
転倒に対する不安は大きいですか	「とても不安である」
	「やや不安である」
週に1回以上は外出していますか	「ほとんど外出しない」
	「週1回」
昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「とても減っている」
	「減っている」
身長・体重（身長・体重よりBMIを算出）	BMI：18.5未満
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「はい」
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「はい」
お茶や汁物等でむせることがありますか	「はい」
口の渇きが気になりますか	「はい」
物忘れが多いと感じますか	「はい」
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「いいえ」
今日が何月何日かわからない時がありますか	「はい」
バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	「できるけどしていない」
	「できない」
自分で食品・日用品の買物をしていますか	「できるけどしていない」
	「できない」
自分で預貯金の出し入れをしていますか	「できるけどしていない」
	「できない」
友人の家を訪ねていますか	「いいえ」
家族や友人の相談にのっていますか	「いいえ」

2. 運動器機能の低下

運動器機能の低下のリスクについて、性別・年齢階級別に該当割合を見ると、男女ともに年齢が80歳以上で上昇する傾向が見られる。90歳以上で、男性に比べ、女性の該当割合が高い傾向が見られる。



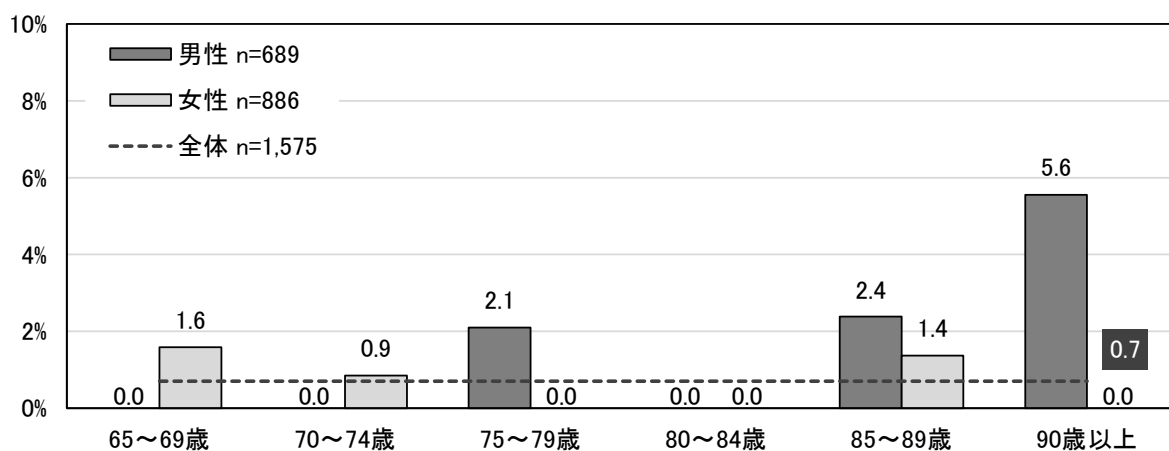
【リスク判定方法】

下記の設問で3問以上、該当する選択肢が回答された場合は、リスクありと判定する。

分析に用いた設問	該当する選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「できない」
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「できない」
15分位続けて歩いていますか	「できない」
過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」
	「1度ある」
転倒に対する不安は大きいですか	「とても不安である」
	「やや不安である」

3. 低栄養傾向

低栄養傾向のリスクについて、全体の該当割合が0.7%と他のリスクに比べてとても低い。また、90歳以上の男性で該当割合が突出して高くなっている。



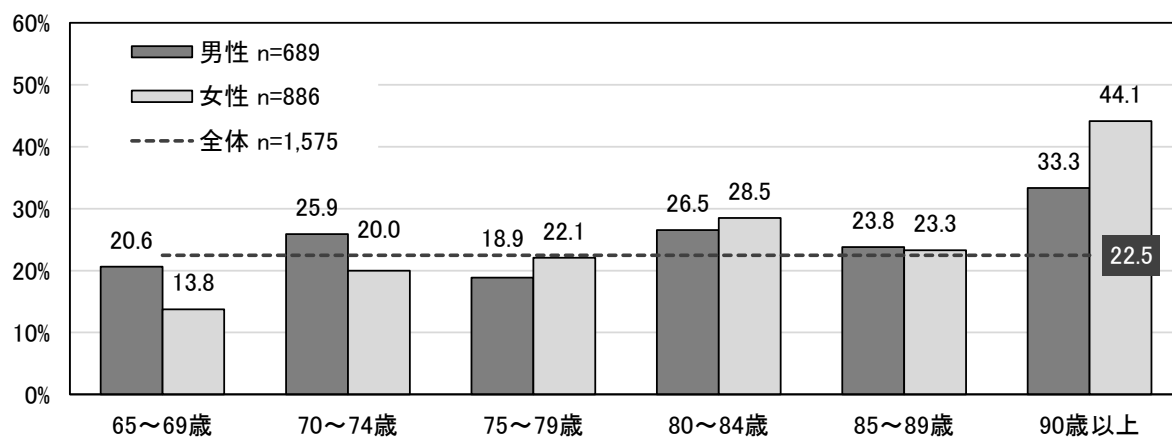
【リスク判定方法】

下記の設問で、全てに該当する選択肢が回答された場合は、リスクありと判定する。

分析に用いた設問	該当する回答
身長・体重（身長・体重よりBMIを算出）	BMI：18.5未満
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「はい」

4. 口腔機能の低下

口腔機能の低下のリスクについて、性別・年齢階級別に該当割合を見ると、男女ともに年齢が上がるにつれ上昇する傾向が見られる。



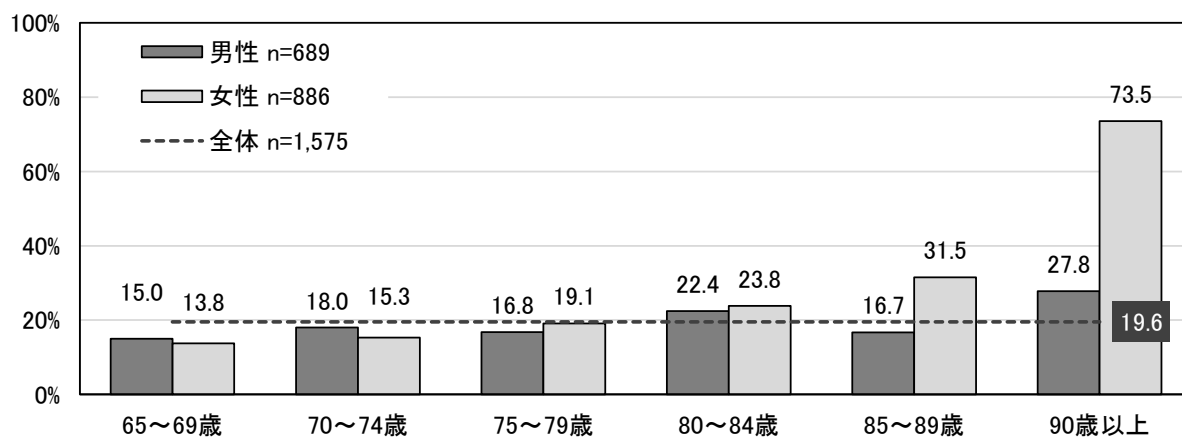
【リスク判定方法】

下記の設問で2問以上、該当する選択肢が回答された場合は、リスクありと判定する。

分析に用いた設問	該当する選択肢
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「はい」
お茶や汁物等でむせることがありますか	「はい」
口の渇きが気になりますか	「はい」

5. 閉じこもり傾向

閉じこもり傾向のリスクについて、性別・年齢階級別に該当割合を見ると、男女ともに年齢が上がるにつれ上昇する傾向がみられる。また、90歳以上で女性の該当割合が急増している。



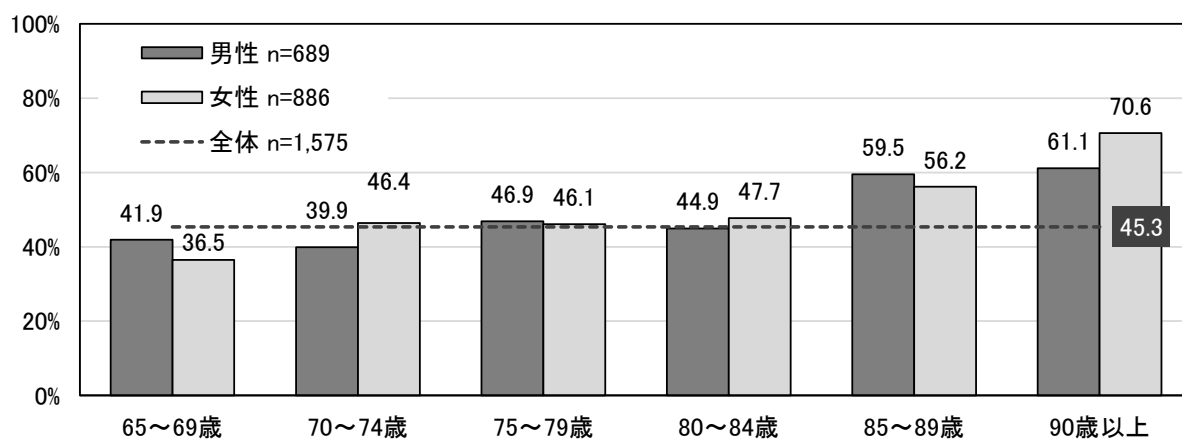
【リスク判定方法】

下記の設問で該当する選択肢が回答された場合は、リスクありと判定する。

分析に用いた設問	該当する選択肢
週に1回以上は外出していますか	「ほとんど外出しない」
	「週1回」

6. 認知機能の低下

認知機能の低下リスクについて、性別・年齢階級別に該当割合を見ると、男性に比べ、女性の該当割合が高い傾向が見られる。また、前期高齢者のうちから男女ともに比較的多くの人が該当している。



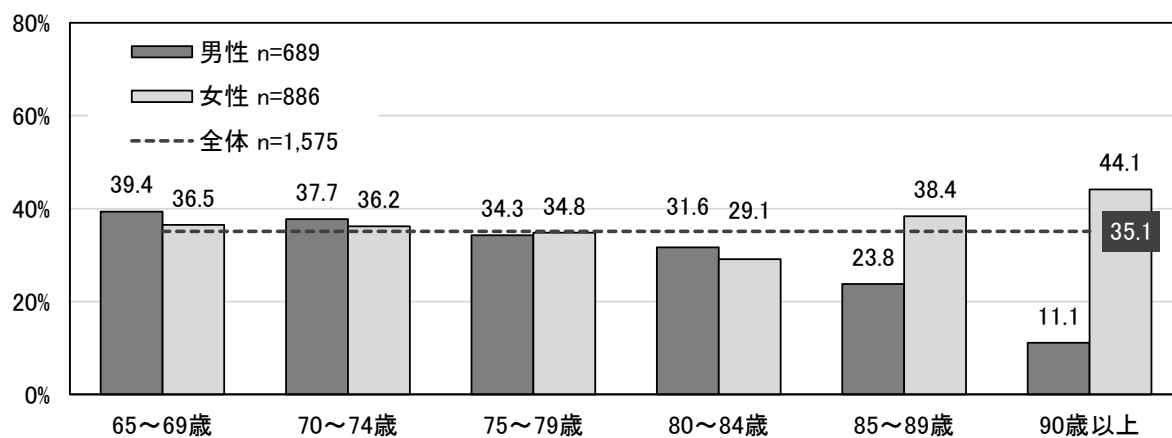
【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢が回答された場合は、リスクありと判定する。

分析に用いた設問	該当する選択肢
物忘れが多いと感じますか	「はい」

7. うつ傾向

うつ傾向のリスクについて、性別・年齢階級別に該当割合を見ると、男女ともに年齢階級による数値の差はそれほど大きくないが、85歳以上の女性で該当割合が高い傾向が見られる。



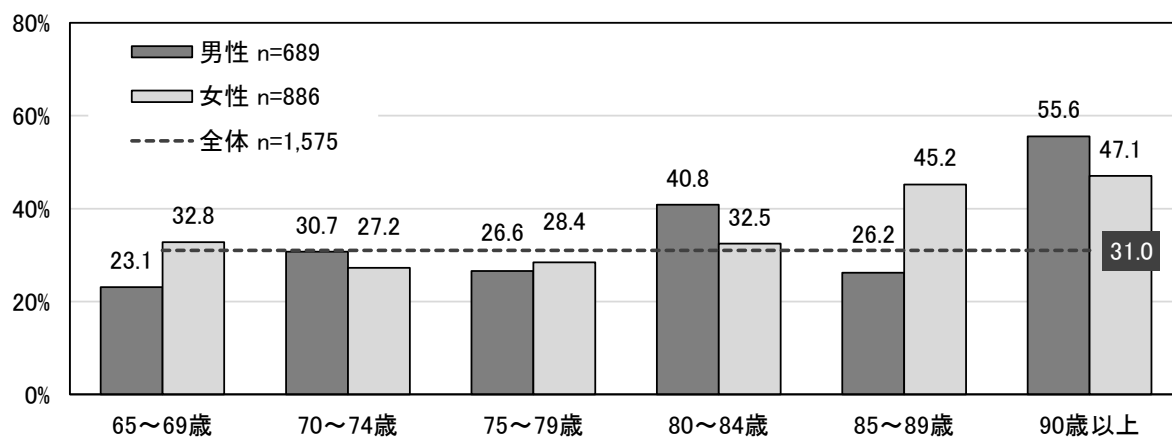
【リスク判定方法】

下記の設問で1問以上、該当する選択肢が回答された場合は、リスクありと判定する。

分析に用いた設問	該当する選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「はい」
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「はい」

8. 転倒リスク

転倒リスクについて、性別・年齢階級別に該当割合を見ると、男女ともに80歳以上で高くなる傾向が見られる。



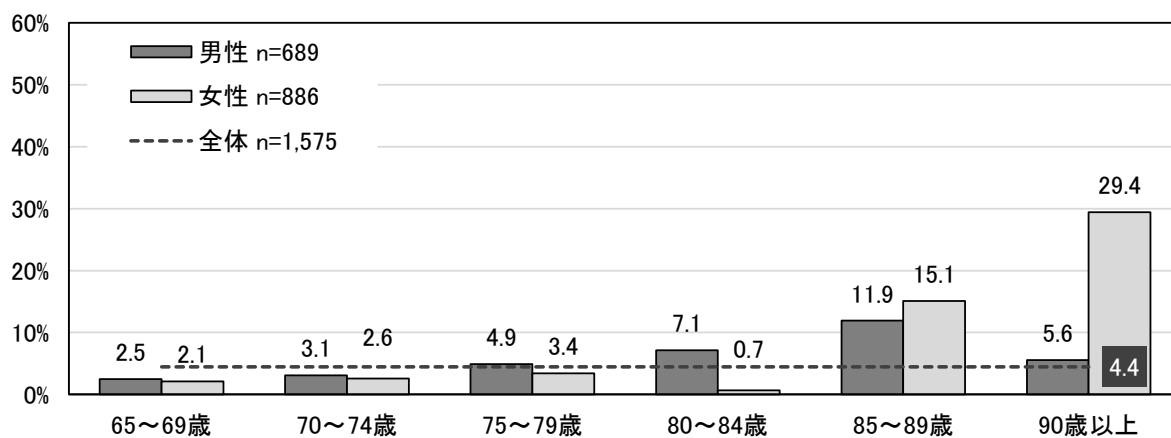
【リスク判定】

下記の設問で、該当する選択肢が回答された場合は、リスクありと判定する。

分析に用いた設問	該当する選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」
	「1度ある」

9. IADL（手段的自立度）の低下

IADL（手段的自立度）の低下のリスクについて、性別・年齢階級別に該当割合を見ると、女性の90歳以上で急増する傾向が見られる。



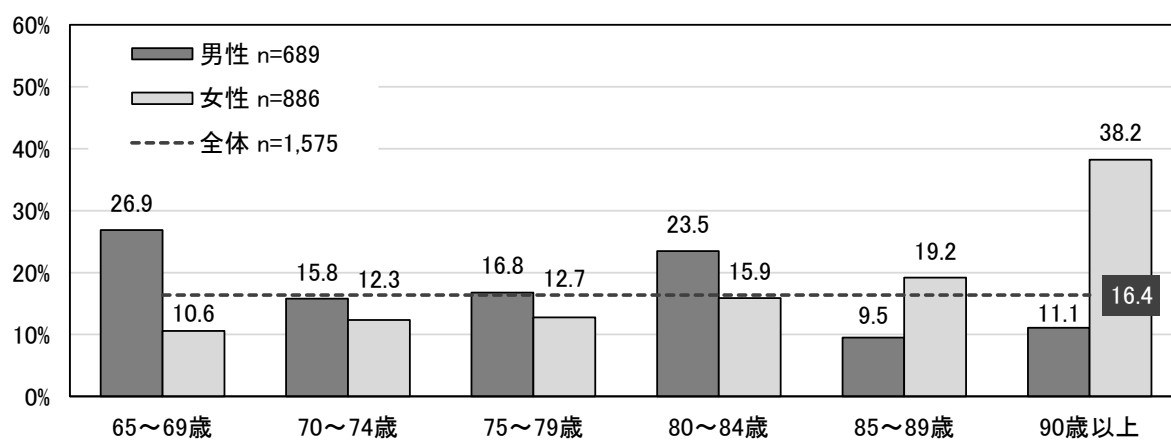
【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢を回答した場合を1点とし、5点満点中3点以下を「低下」と評価する。

分析に用いた設問	該当する選択肢
バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	「できるし、している」
	「できるけどしていない」
自分で食品・日用品の買物をしていますか	「できるし、している」
	「できるけどしていない」
自分で食事の用意をしていますか	「できるし、している」
	「できるけどしていない」
自分で請求書の支払いをしていますか	「できるし、している」
	「できるけどしていない」
自分で預貯金の出し入れをしていますか	「できるし、している」
	「できるけどしていない」

10. 知的能動性の低下

知的能動性の低下のリスクについて、性別・年齢階級別に該当割合を見ると、女性は年齢が上がるにつれ上昇する傾向が見られる。



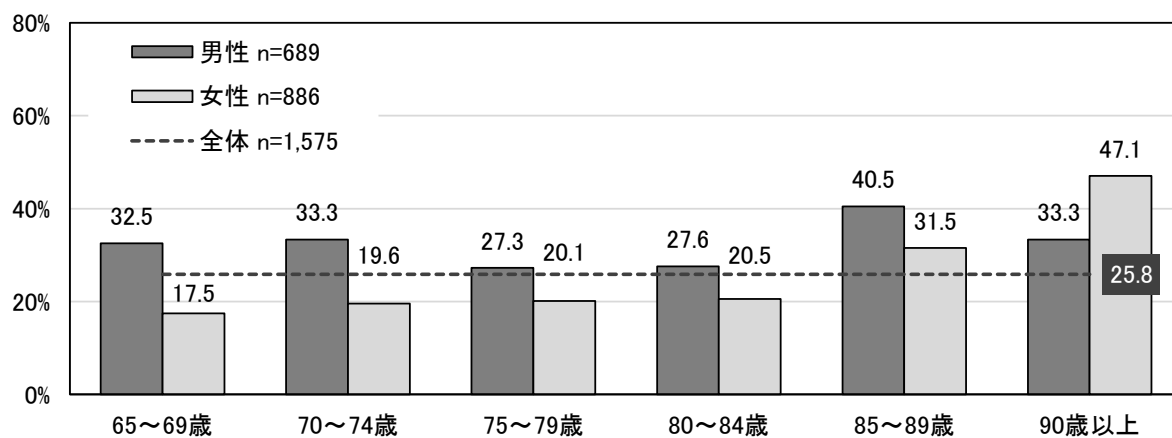
【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢を回答した場合を1点とし、4点満点中2点以下を「低下」と判定する。

分析に用いた設問	該当する選択肢
年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	「はい」
新聞を読んでいますか	「はい」
本や雑誌を読んでいますか	「はい」
健康についての記事や番組に関心がありますか	「はい」

11. 社会的役割の低下

社会的役割の低下のリスクについて、性別・年齢階級別に該当割合を見ると、女性は年齢が上がるにつれ高くなる傾向が見られる。一方、男性では年齢による差はそれほど大きくない。



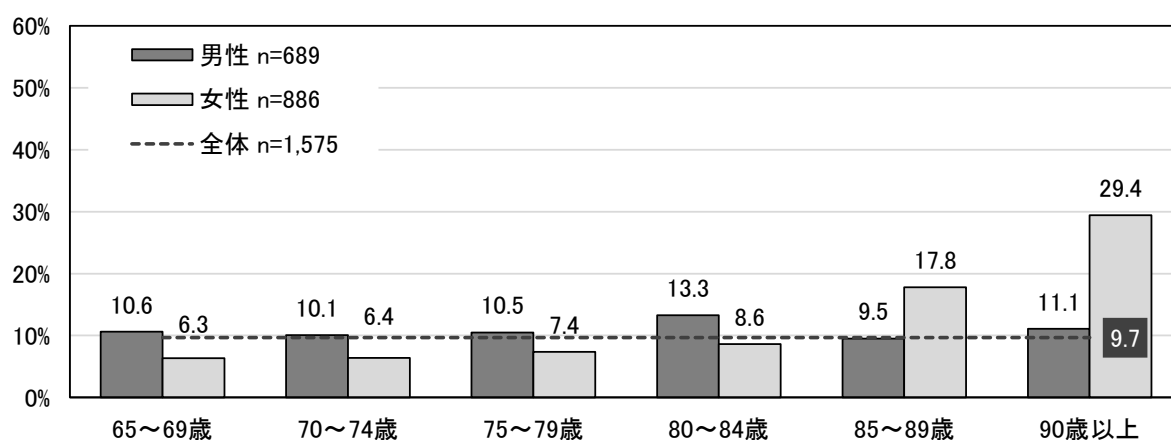
【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢を回答した場合を1点とし、4点満点中3点以下を「低下」として評価する。

分析に用いた設問	該当する選択肢
友人の家を訪ねていますか	「はい」
家族や友人の相談にのっていますか	「はい」
病人を見舞うことができますか	「はい」
若い人に自分から話しかけることがありますか	「はい」

12. 生活機能総合評価の低下

生活機能総合評価の低下のリスクについて、性別・年齢階級別に該当割合を見ると、女性は高齢になると上昇する傾向が見られる。



【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢を回答した場合を1点とし、13点満点中8点以下を「低下」として評価する。

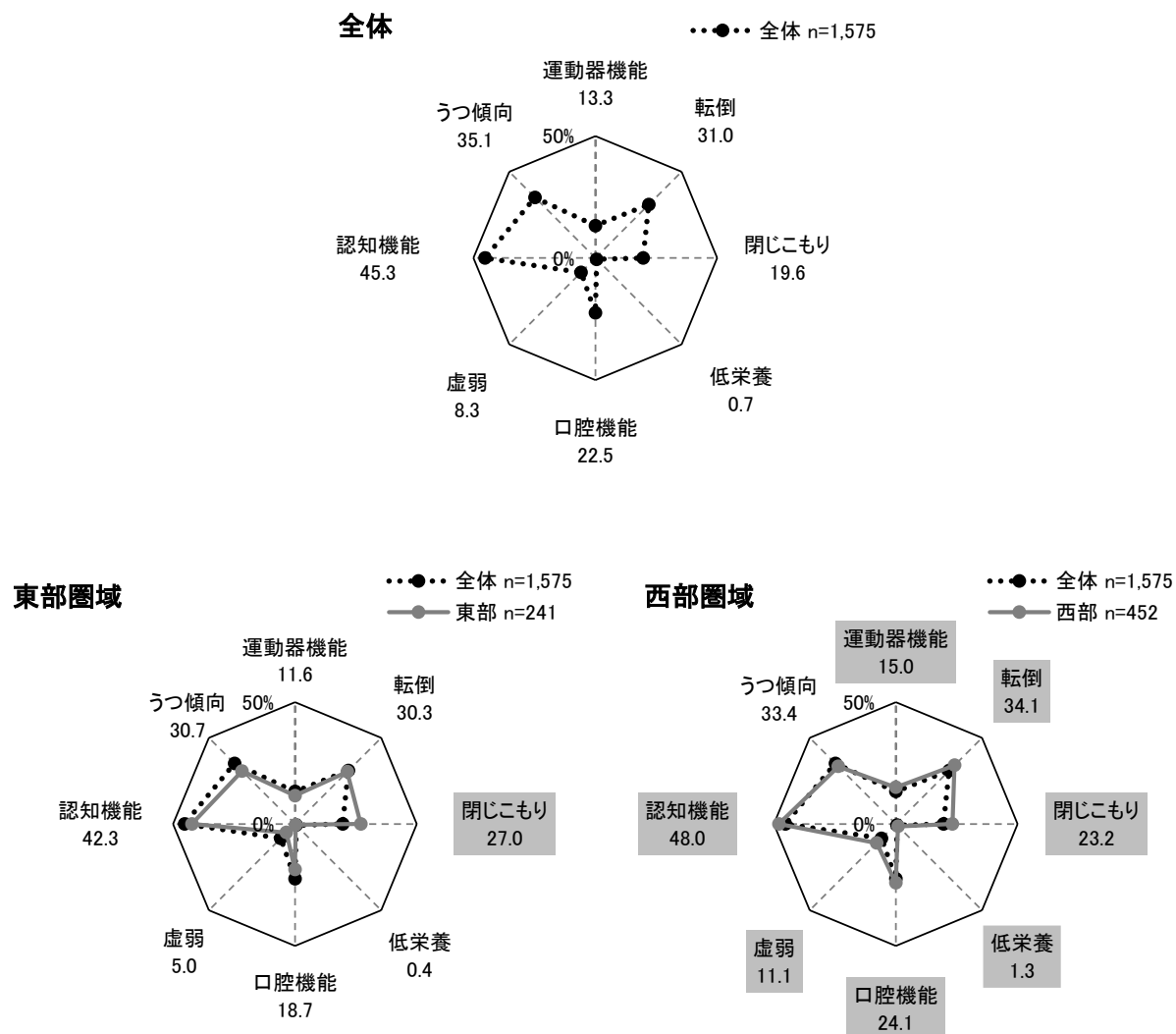
分析に用いた設問	該当する選択肢
バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	「できるし、している」 「できるけどしていない」
自分で食品・日用品の買物をしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
自分で食事の用意をしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
自分で請求書の支払いをしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
自分で預貯金の出し入れをしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	「はい」
新聞を読んでいますか	「はい」
本や雑誌を読んでいますか	「はい」
健康についての記事や番組に関心がありますか	「はい」
友人の家を訪ねていますか	「はい」
家族や友人の相談にのっていますか	「はい」
病人を見舞うことができますか	「はい」
若い人に自分から話しかけることができますか	「はい」

13. 圏域別リスク該当状況

圏域別にリスク該当割合を見たところ、各圏域の傾向は以下のとおりである。

○東部圏域では、「閉じこもり傾向」について、リスク該当割合が全体平均よりも高くなっている。

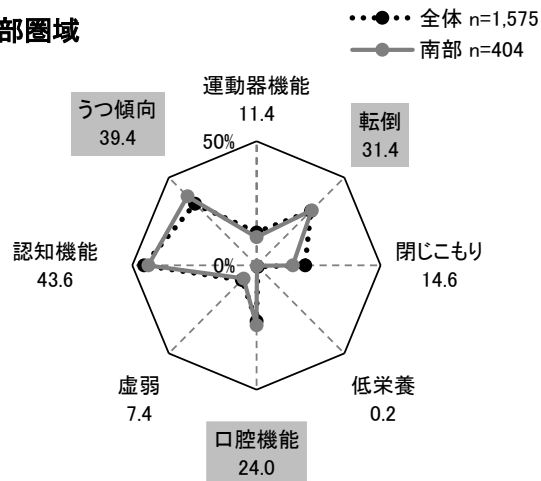
○西部圏域では、「うつ傾向」を除き、リスク該当割合が全体平均よりも高くなっている。



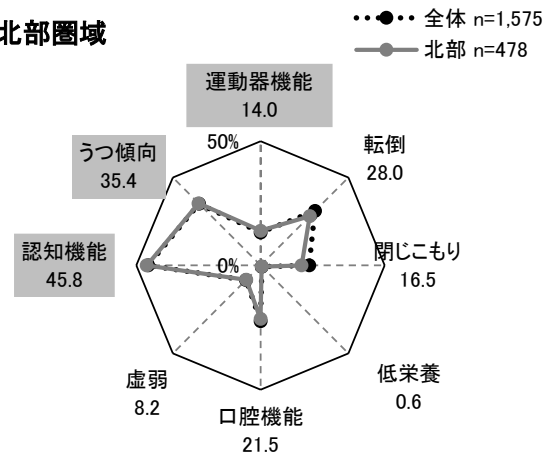
○南部圏域では、「うつ傾向」「転倒」「口腔機能の低下」について、リスク該当割合が全体平均よりも高くなっている。

○北部圏域では、「認知機能の低下」「うつ傾向」「運動器機能の低下」について、リスク該当割合が全体平均よりも高くなっている。

南部圏域



北部圏域



※全体と比較して、リスク該当割合が高い項目を塗りつぶし

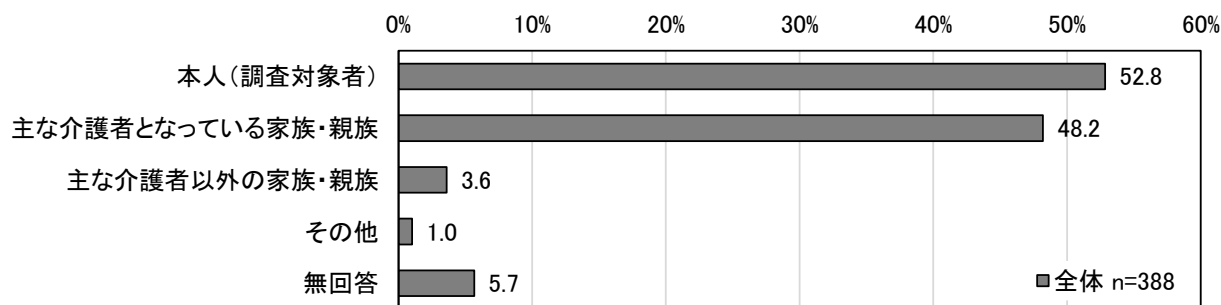
Ⅳ 調査結果 在宅介護実態調査

IV 調査結果 在宅介護実態調査

A 票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

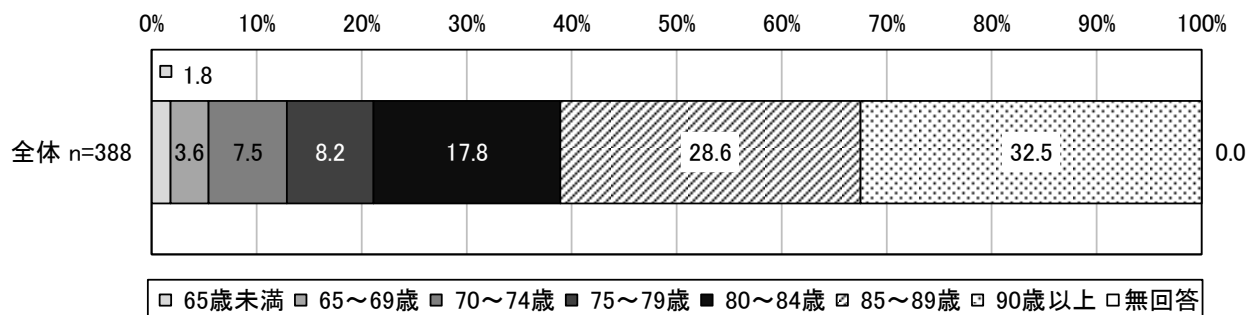
Q1. 本調査の質問に回答したのはどなたですか（いくつでも）

「本人（調査対象者）」が 52.8%で最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が 48.2%、「主な介護者以外の家族・親族」が 3.6%である。



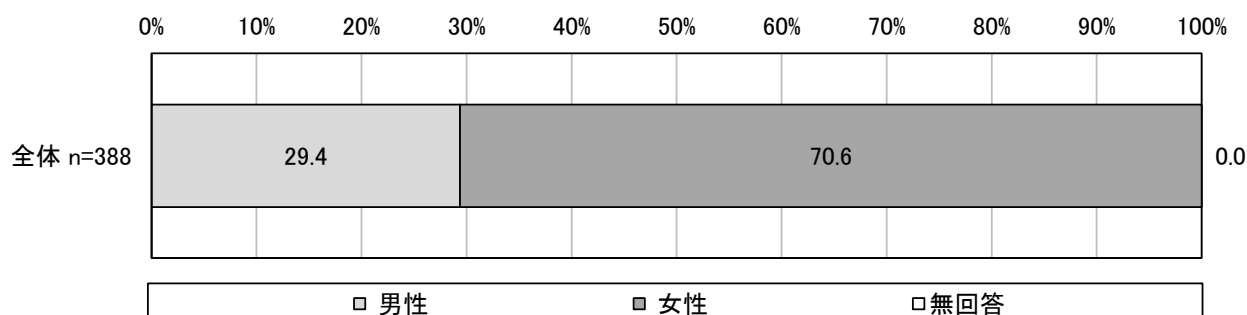
Q2. あなた(調査対象者、以下「あなた」)の年齢は何歳ですか（1つのみ）

「90歳以上」が 32.5%で最も高く、次いで「85～89歳」が 28.6%、「80～84歳」が 17.8%である。



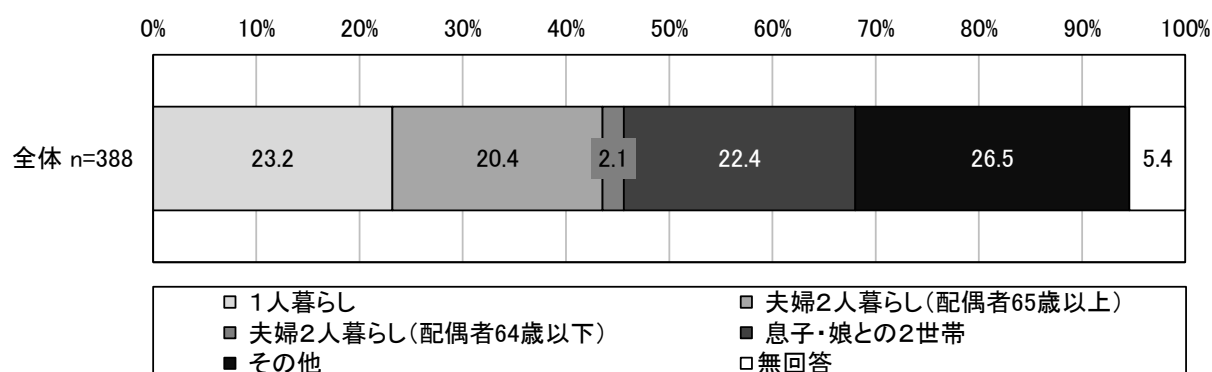
Q3. あなたの性別はどちらですか（1つのみ）

「男性」が29.4%、「女性」が70.6%である。



Q4. あなたの世帯構成について教えてください（1つのみ）

「1人暮らし」が23.2%で最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が22.4%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が20.4%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が2.1%である。

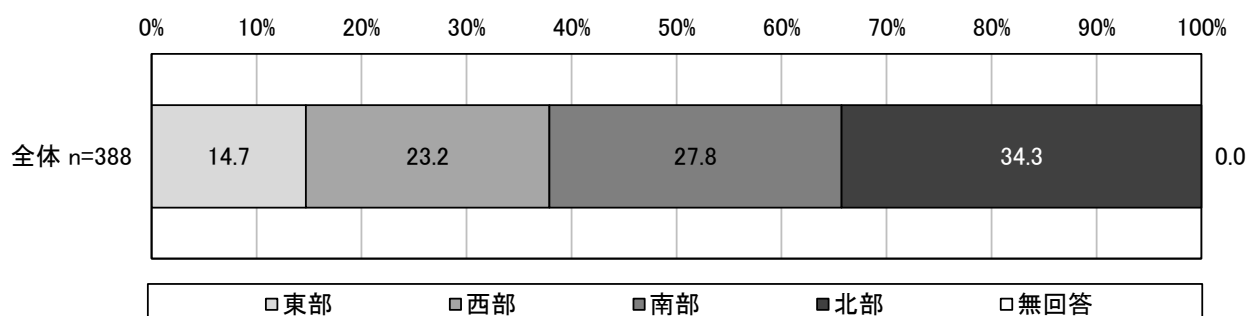


◇「その他」の回答

夫婦2人と子ども（16件）、息子または娘と2人暮らし（15件）、3世帯（10件）、息子・娘夫婦と本人（5件）、兄弟姉妹と同居（4件）

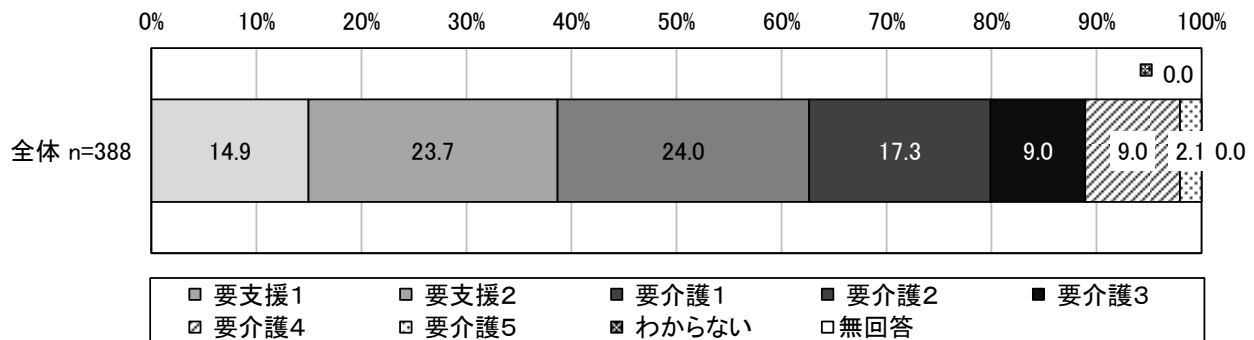
Q5. あなたのお住まいの地区はどちらですか（1つのみ）

「東部」が14.7%、「西部」が23.2%、「南部」が27.8%、「北部」が34.3%である。



Q6. 現在のあなたの要介護度について、教えてください（1つのみ）

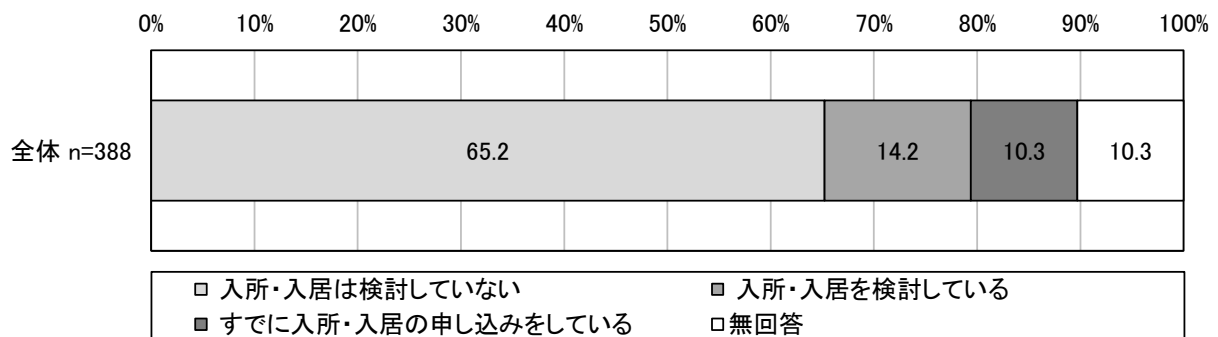
「要支援1」が14.9%、「要支援2」が23.7%、「要介護1」が24.0%、「要介護2」が17.3%、「要介護3」が9.0%、「要介護4」が9.0%、「要介護5」が2.1%である。



Q7. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、教えてください（1つのみ）

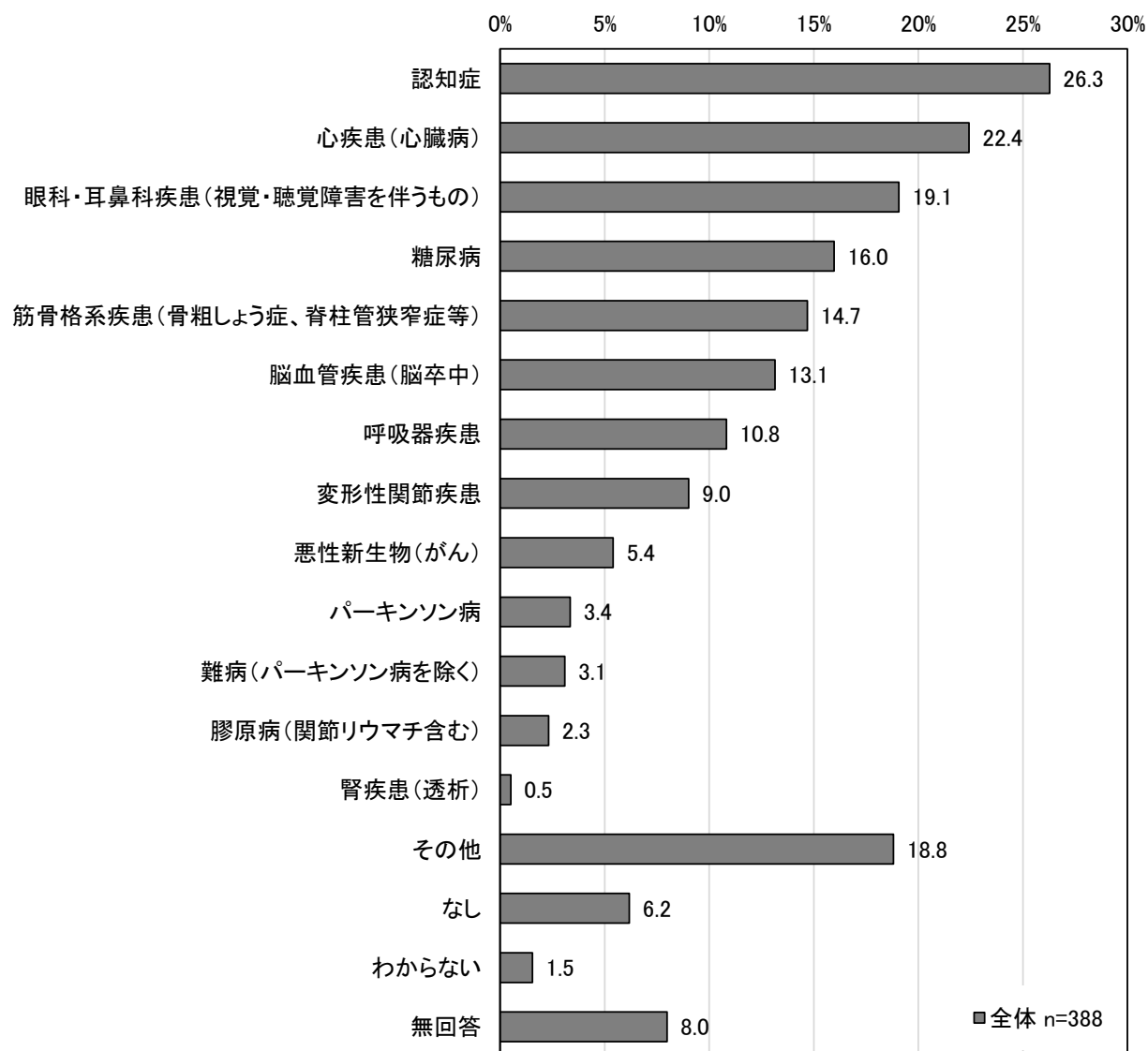
※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

「入所・入居は検討していない」が65.2%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が14.2%、「すでに入所・入居の申し込みをしている」が10.3%である。



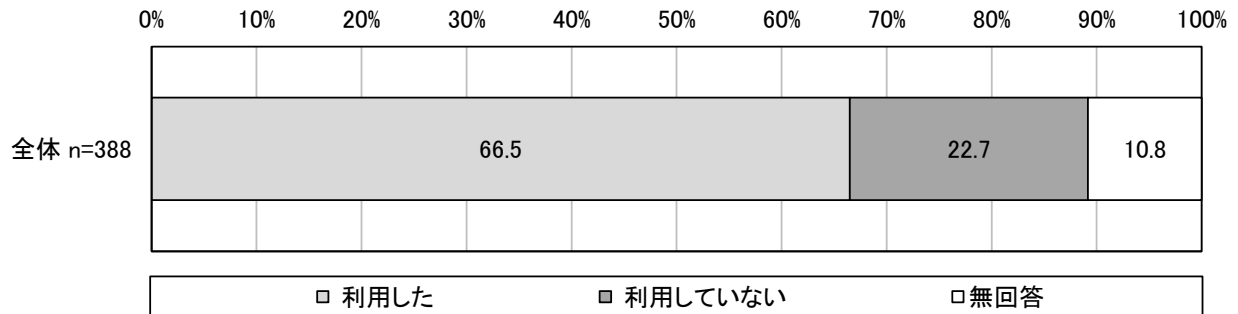
Q8. あなたが、現在抱えている病気はありますか（いくつでも）

「認知症」が26.3%で最も高く、次いで「心疾患（心臓病）」が22.4%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が19.1%、「糖尿病」が16.0%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が14.7%である。

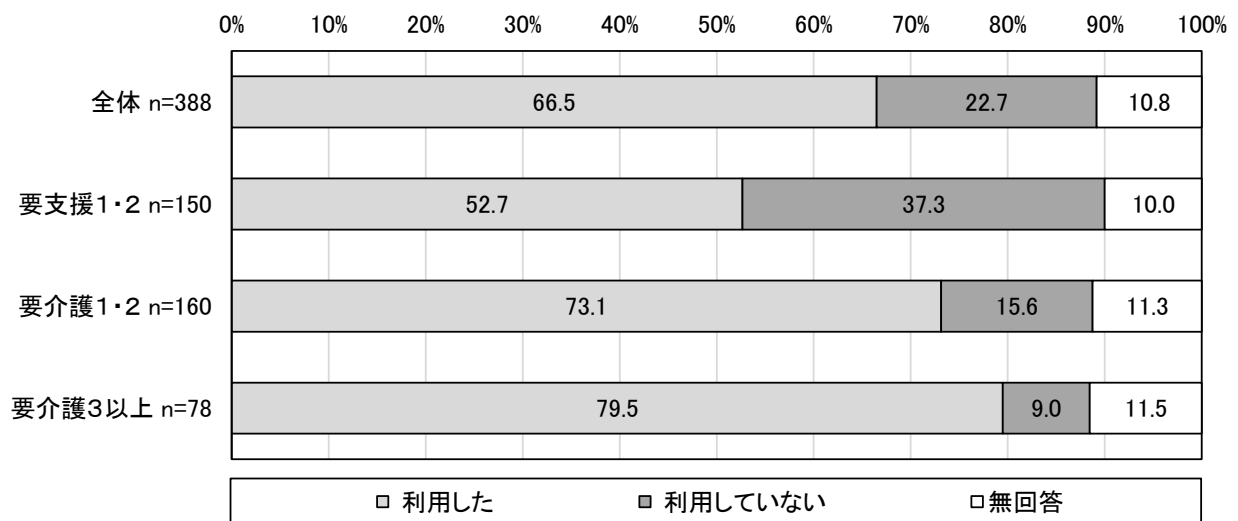


**Q9. 令和5年5月に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用しましたか
(1つのみ)**

「利用した」が66.5%、「利用していない」が22.7%である。



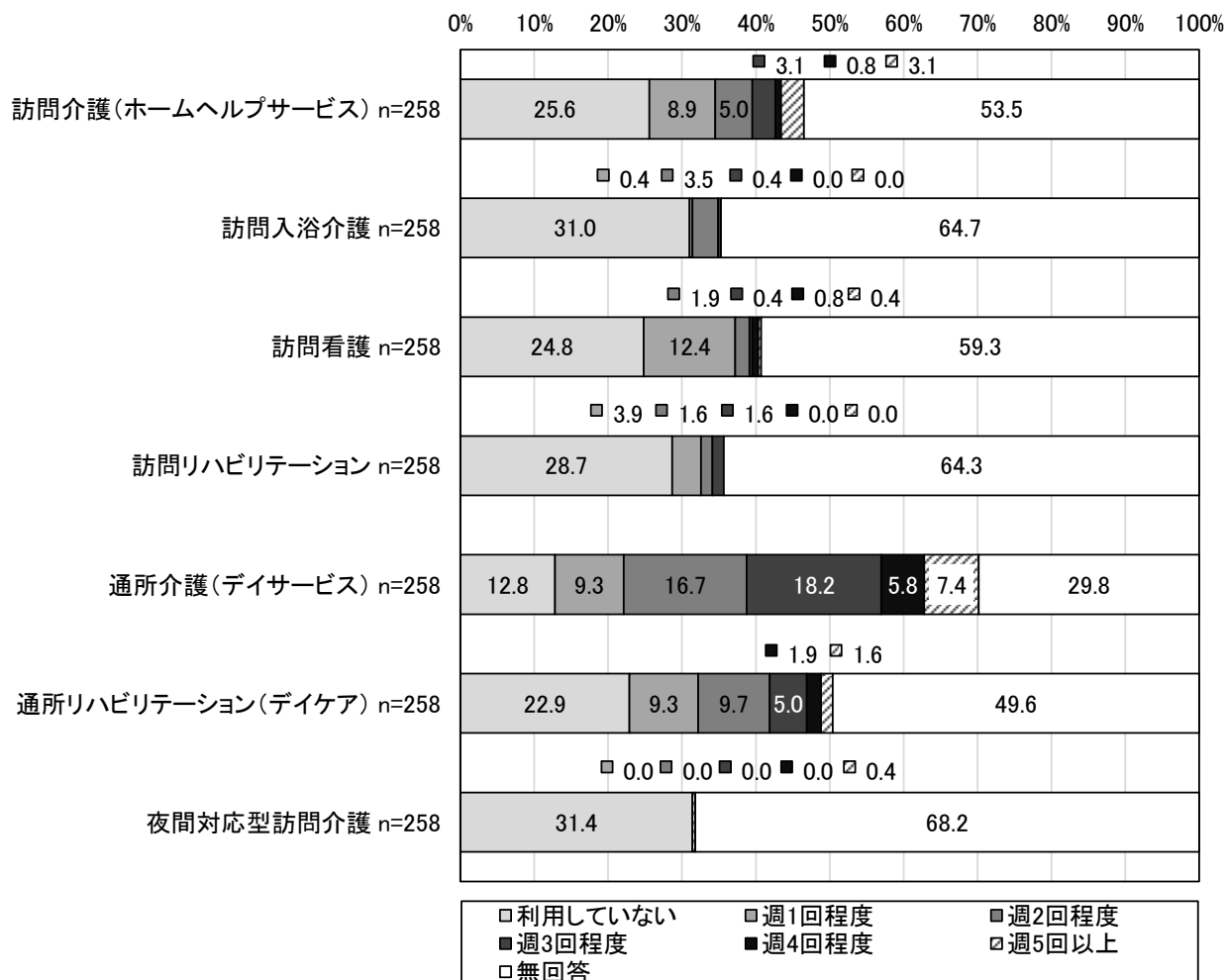
要介護度別に見ると、「要支援1・2」と比較し「要介護1・2」「要介護3以上」では、「利用した」が20ポイント以上高くなっており、介護度が高くなるにつれ介護保険サービスの利用率も高くなっている。



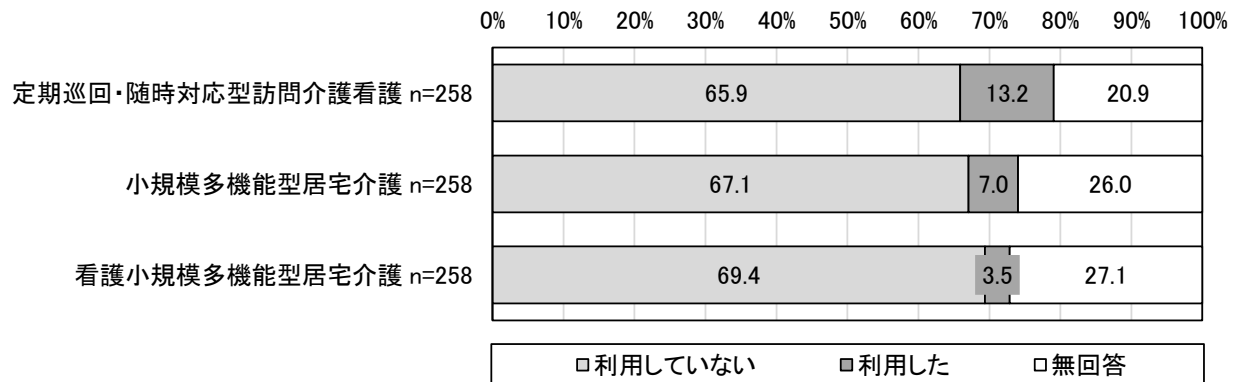
【Q9において「利用した」の方のみ】

Q10. 以下の介護保険サービスについて、令和5年5月の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください（それぞれ1つのみ）

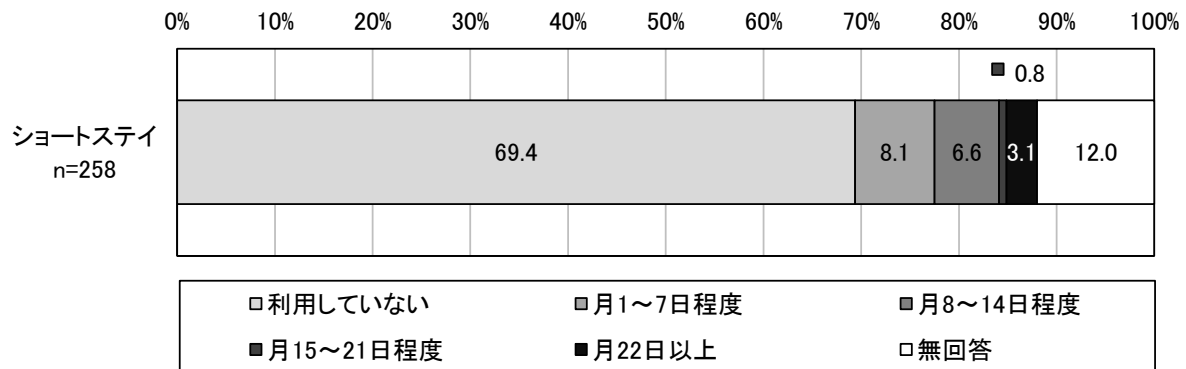
下記サービスにおいて、「通所介護（デイサービス）」では「週3回程度」が18.2%と最も高く、他のサービスでは「利用していない」が最も高くなっている。



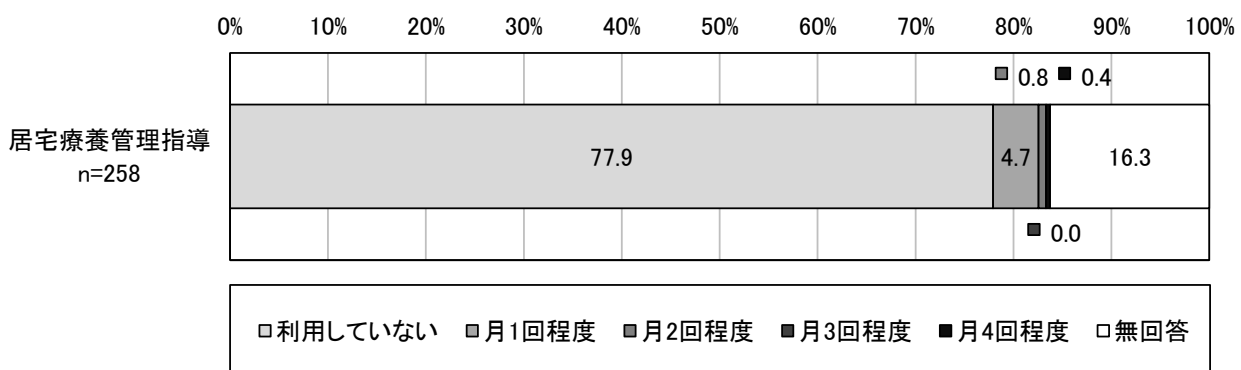
下記サービスでは、すべてのサービスで「利用していない」が最も高くなっている。「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」では「利用した」が13.2%と、他のサービスと比較して割合が高くなっている。



「ショートステイ」では、「利用していない」が69.4%で最も高く、次いで「月1～7日程度」が8.1%、「月8～14日程度」が6.6%である。



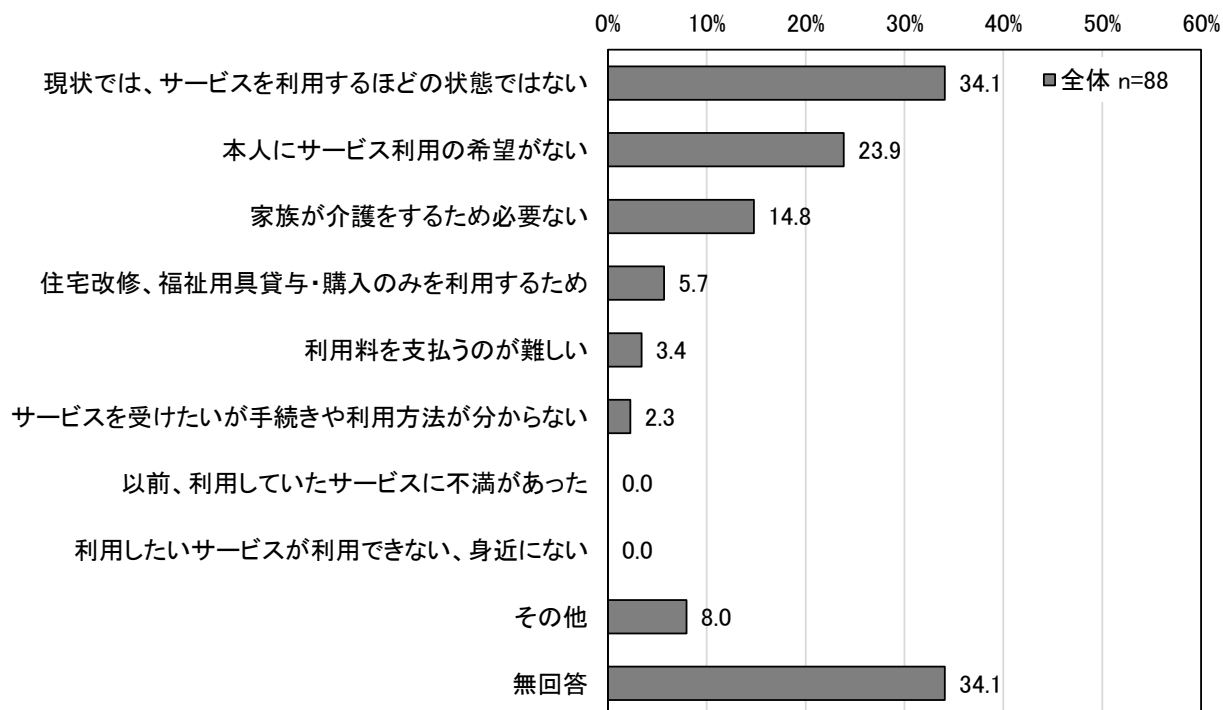
「居宅療養管理指導」では、「利用していない」が77.9%で最も高く、次いで「月1回程度」が4.7%、「月2回程度」が0.8%である。



【Q9において「利用していない」の方のみ】

Q11. 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（いくつでも）

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が34.1%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が23.9%、「家族が介護するため必要ない」が14.8%である。



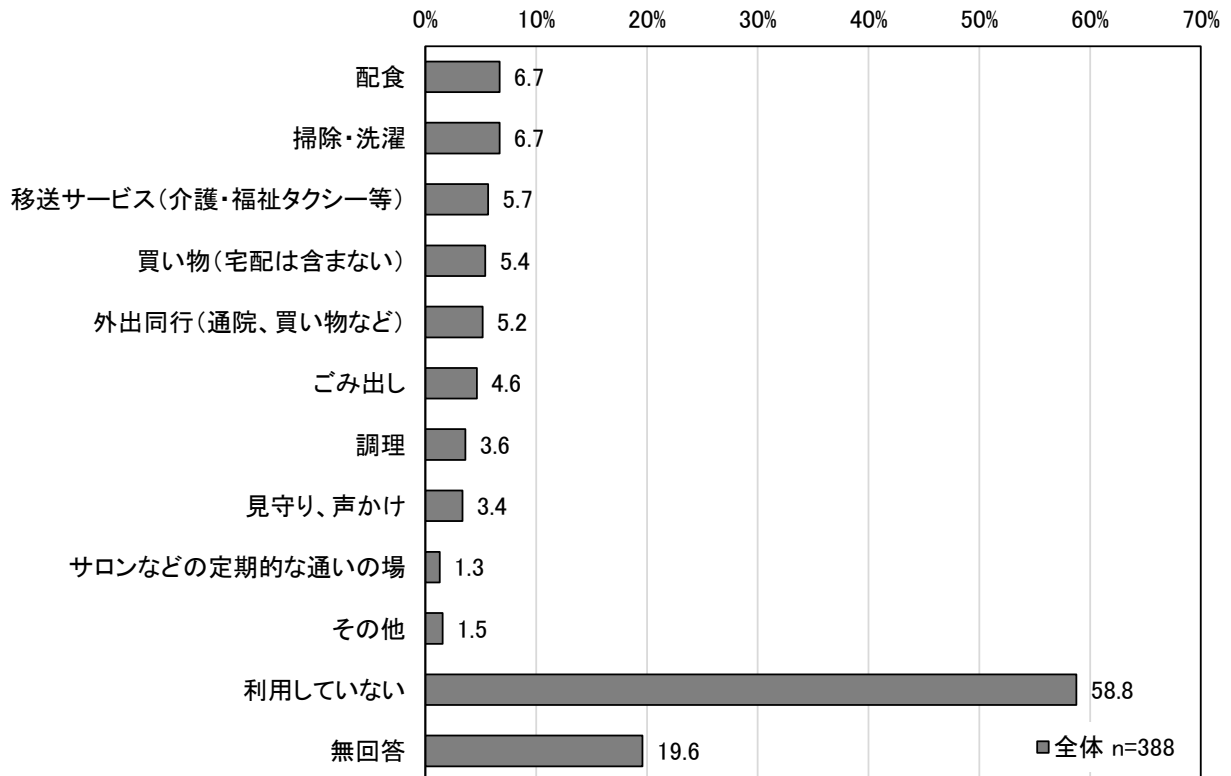
◇「その他」の回答

グループホームに入居している（2件）、住宅改修済み（1件）、入院中（1件）

Q12. 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください
(いくつでも)

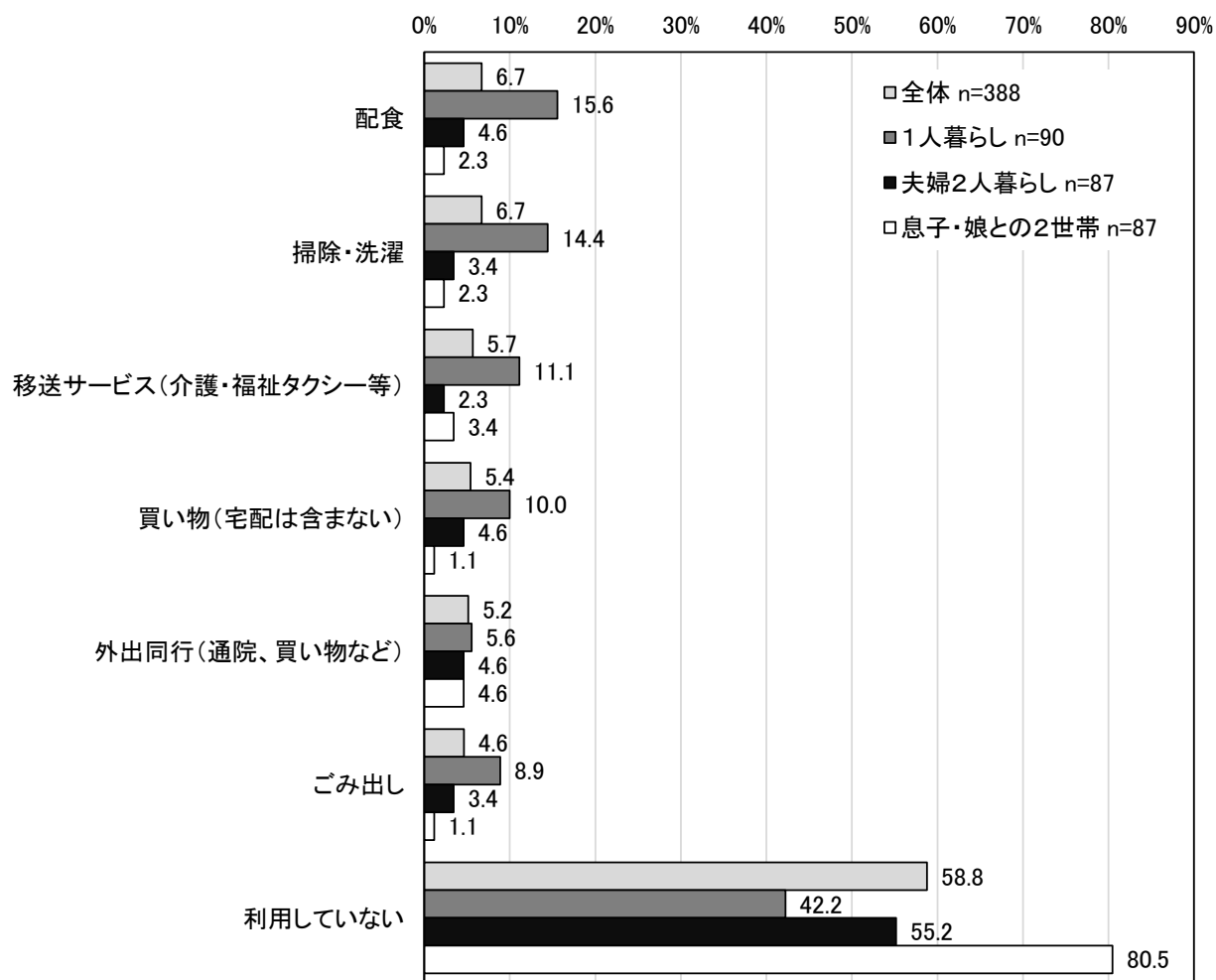
※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

「利用していない」が58.8%で最も高く、次いで「配食」「掃除・洗濯」がともに6.7%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が5.7%である。



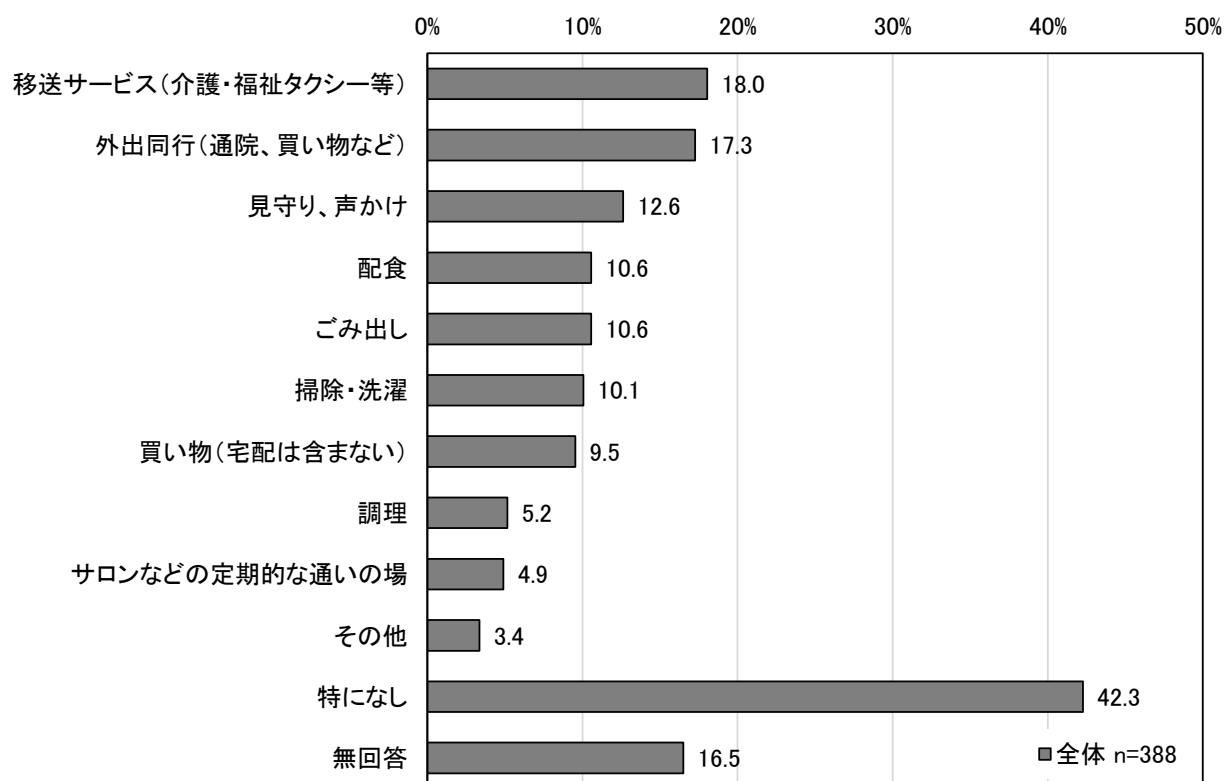
Ⅳ 調査結果 在宅介護実態調査

世帯構成別に見ると、「1人暮らし」において、各サービスの利用率が高くなっていることが分かる。一方、「息子・娘との2世帯」では、「利用していない」の割合は80.5%と高くなっている。



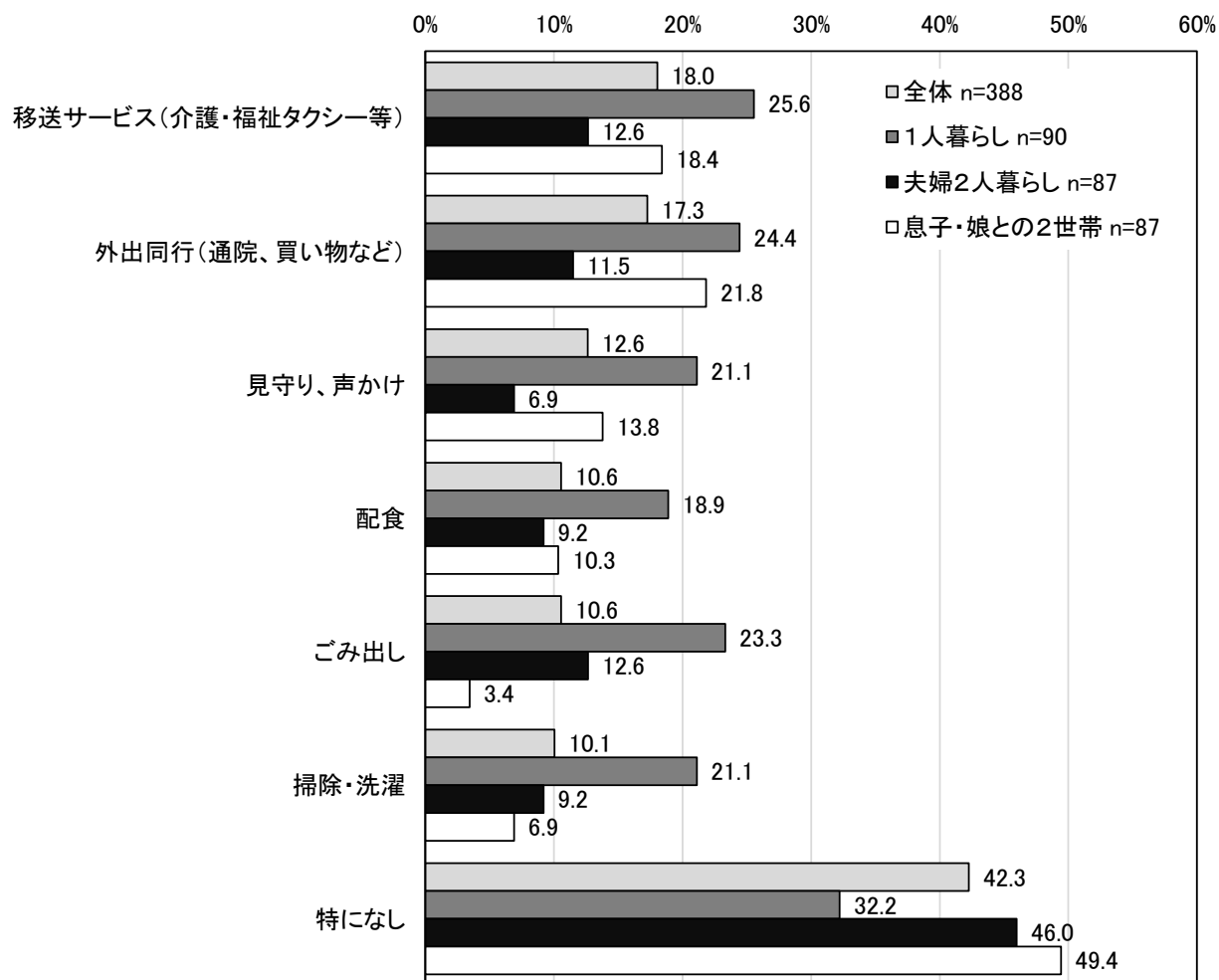
Q13. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも）
 ※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 18.0%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 17.3%、「見守り、声かけ」が 12.6%である。



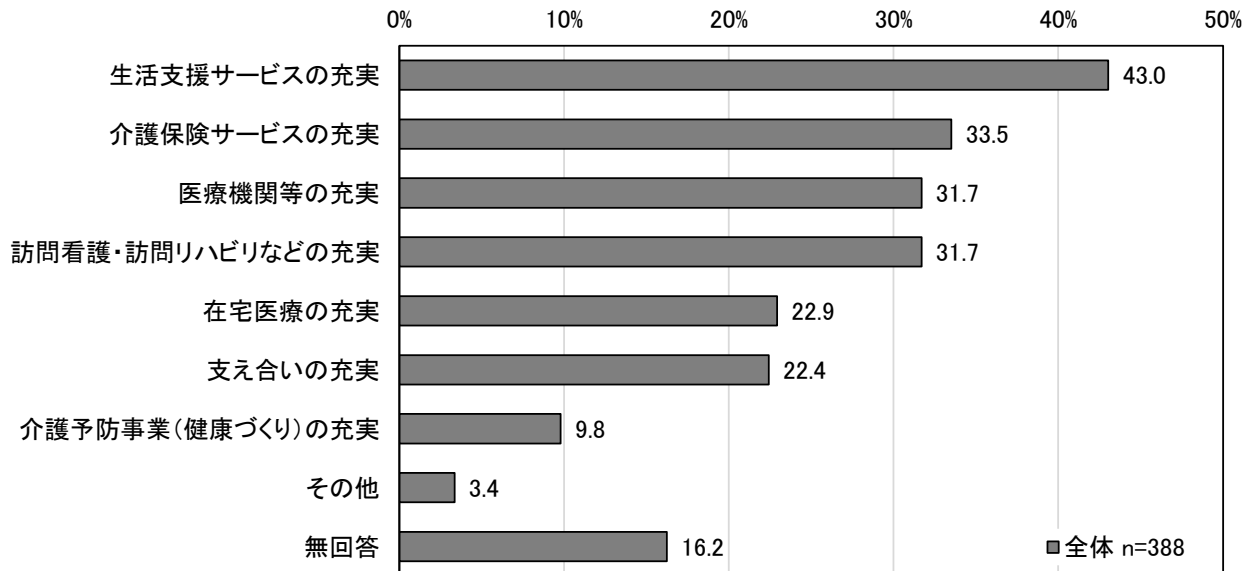
Ⅳ 調査結果 在宅介護実態調査

世帯構成別に見ると、「1人暮らし」では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が25.6%、「夫婦2人暮らし」では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「ごみ出し」がともに12.6%、「息子・娘との2世帯」では、「外出同行（通院、買い物など）」が21.8%で最も高くなっている。



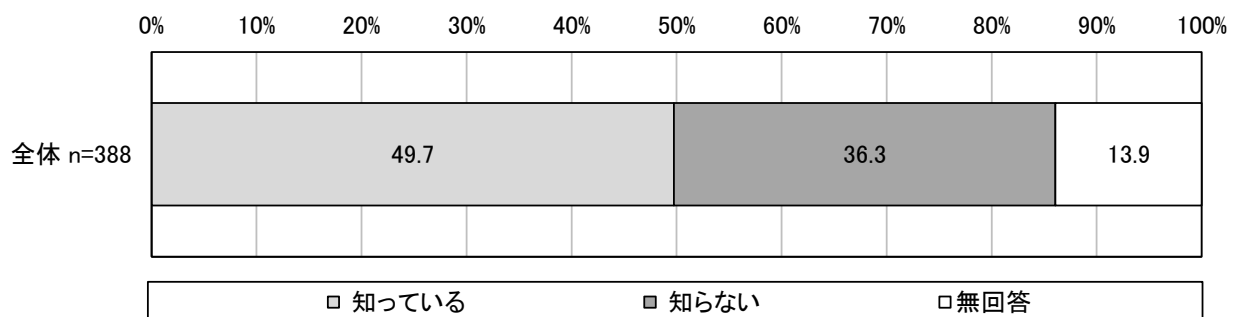
Q14. 住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるまちづくりに必要なことはどのようなことだと思いますか（3つまで）

「生活支援サービスの充実」が43.0%で最も高く、次いで「介護保険サービスの充実」が33.5%、「医療機関等の充実」「訪問看護・訪問リハビリなどの充実」がともに31.7%である。



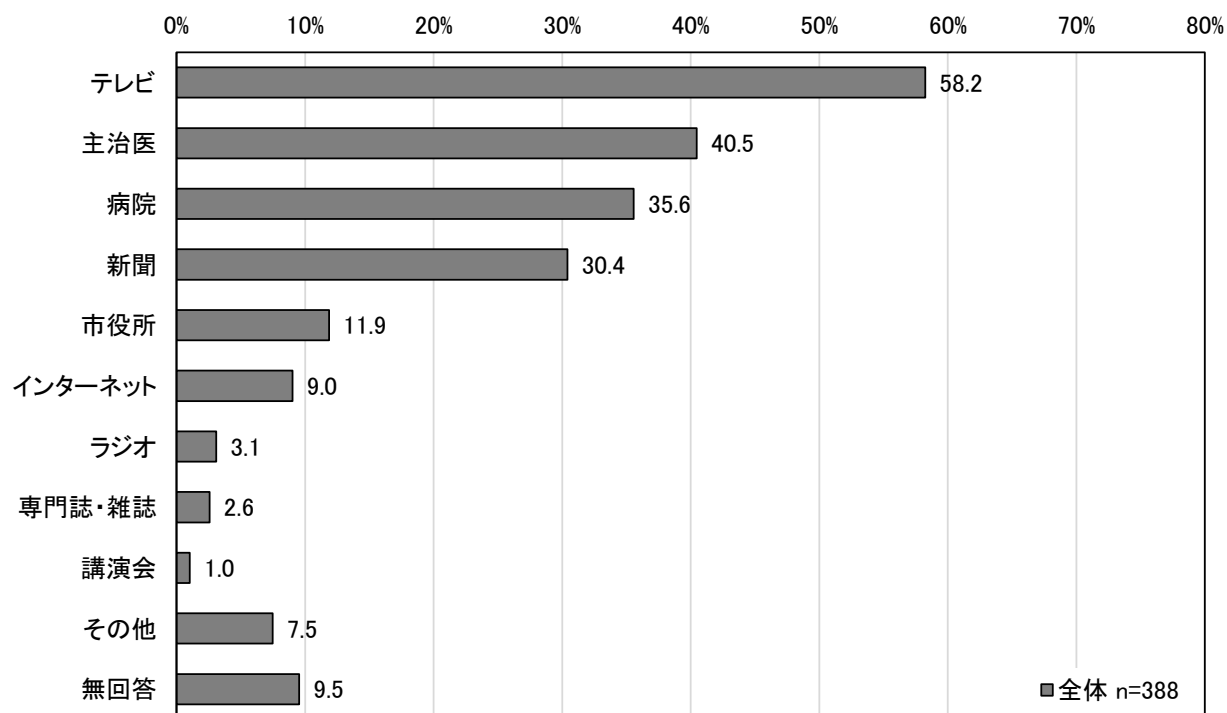
Q15. 住み慣れた地域で安心して生活が続けられるように、介護、医療、福祉、健康などのさまざまな支援や相談業務（認知症の相談を含む）を行う、「地域包括支援センター」を知っていますか（1つのみ）

「知っている」が49.7%、「知らない」が36.3%である。

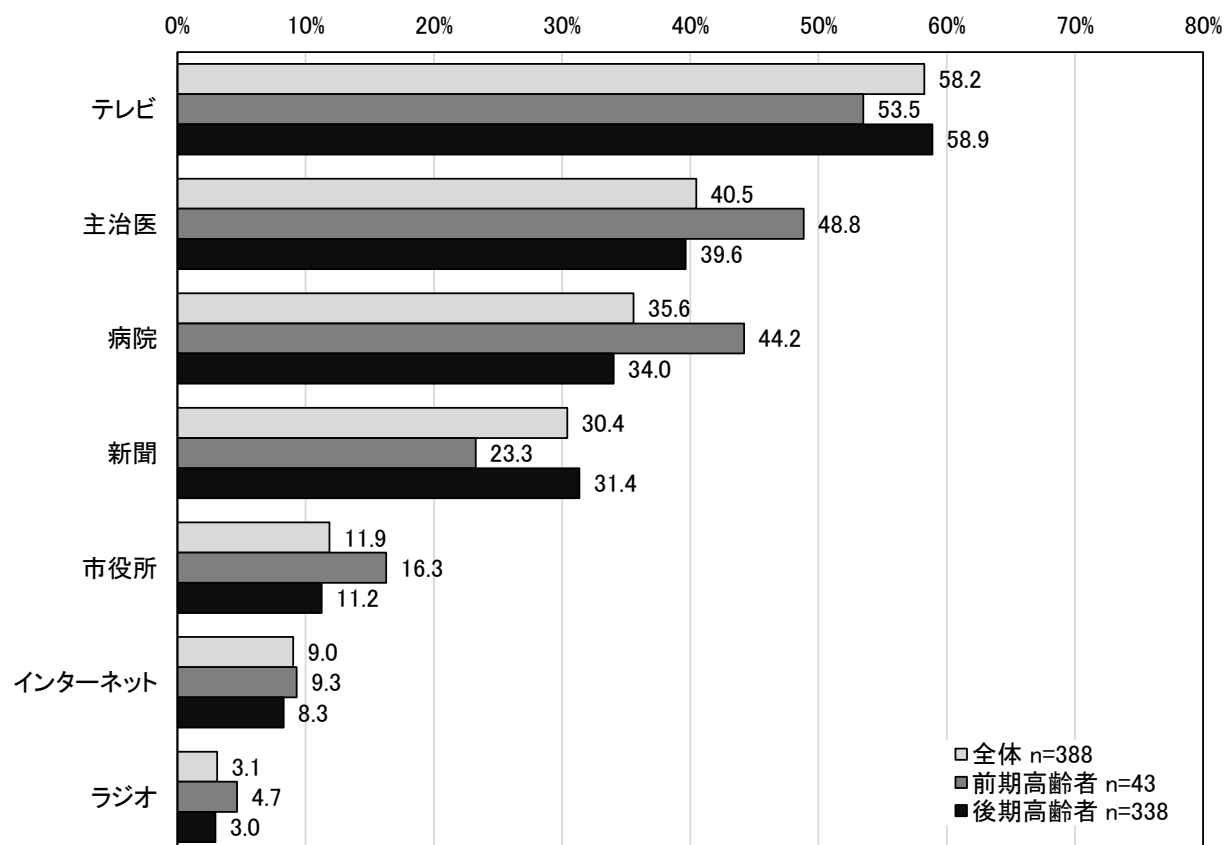


Q16. 日頃、医療についての知識や情報を何から得ていますか（3つまで）

「テレビ」が58.2%で最も高く、次いで「主治医」が40.5%、「病院」が35.6%である。

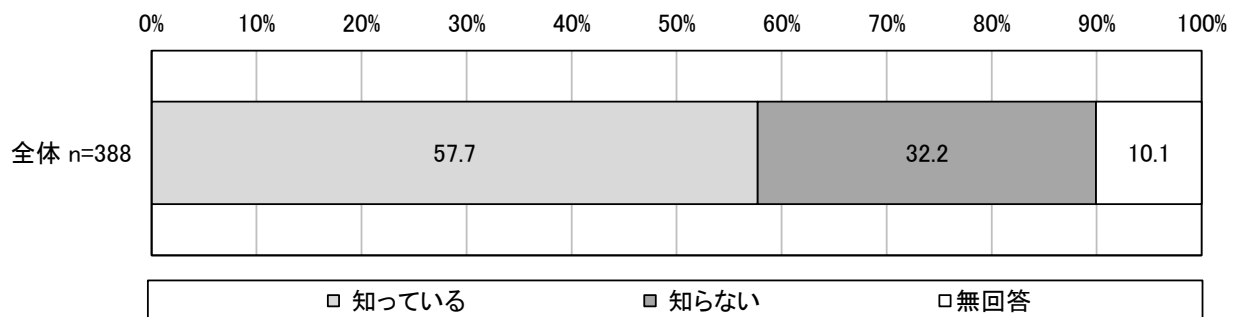


年齢別に見ると、「前期高齢者」「後期高齢者」とともに、「テレビ」が最も高くなっている。また、「後期高齢者」に比べ、「前期高齢者」では、「主治医」「病院」の割合が高くなっている。

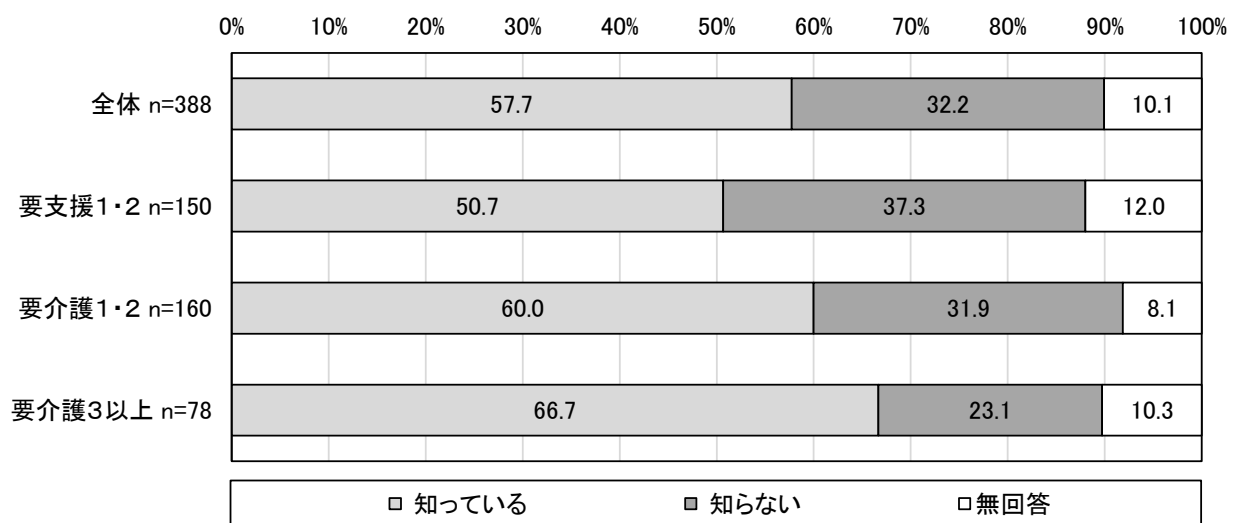


Q17.「在宅医療」とは、さまざまな病気にかかれた方が、自宅において医師の訪問診療、往診、治療、訪問看護などの医療サービスを受けながら療養生活を送ることをいいますが、「在宅医療」についてご存じですか（1つのみ）

「知っている」が57.7%、「知らない」が32.2%である。



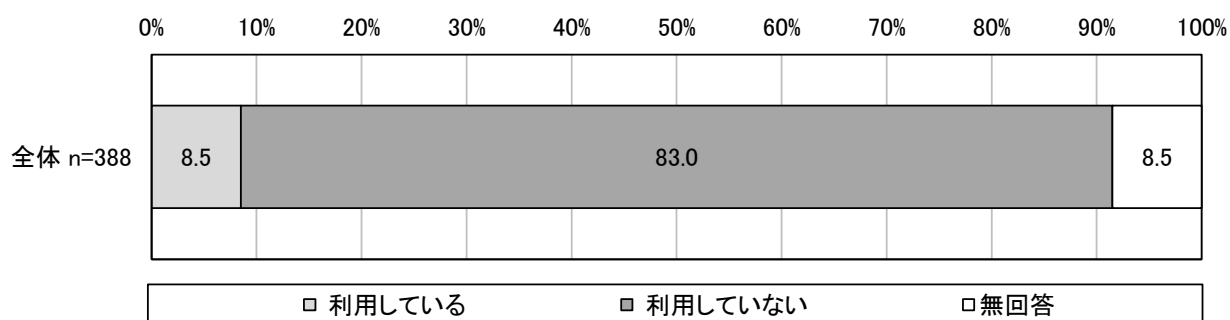
要介護度別に見ると、「要介護3以上」で「知っている」が66.7%と最も高くなっている。また、介護度が低いほど「知らない」の割合が高くなっている。



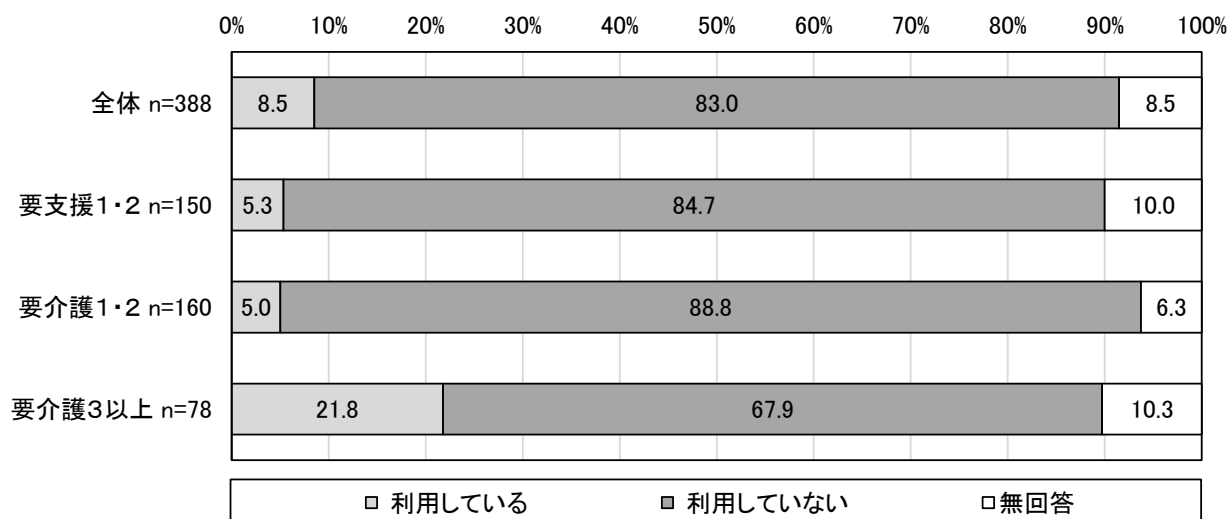
Q18. あなたは、現在、訪問診療を利用していますか（1つのみ）

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等を含みません。

「利用している」が8.5%、「利用していない」が83.0%である。

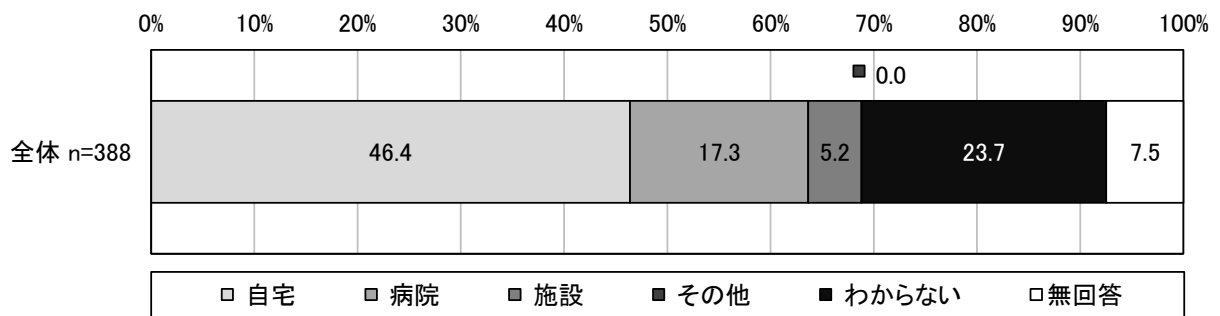


要介護度別に見ると、「要介護3以上」で「利用している」が21.8%と最も高くなっている。

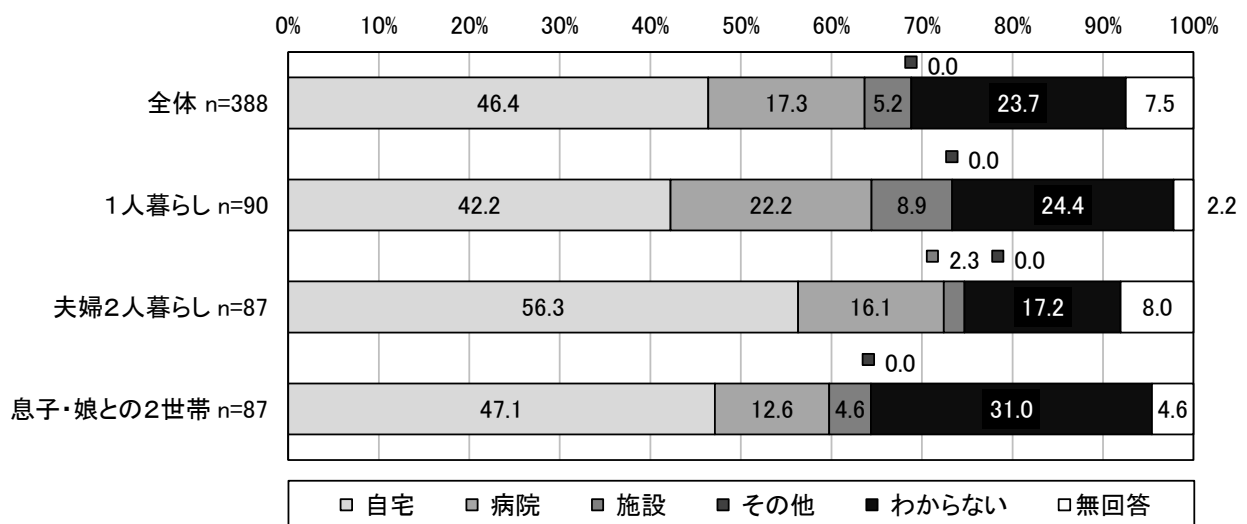


Q19. どこで最期を迎えたいと思いますか（1つのみ）

「自宅」が46.4%で最も高く、次いで「わからない」が23.7%、「病院」が17.3%である。

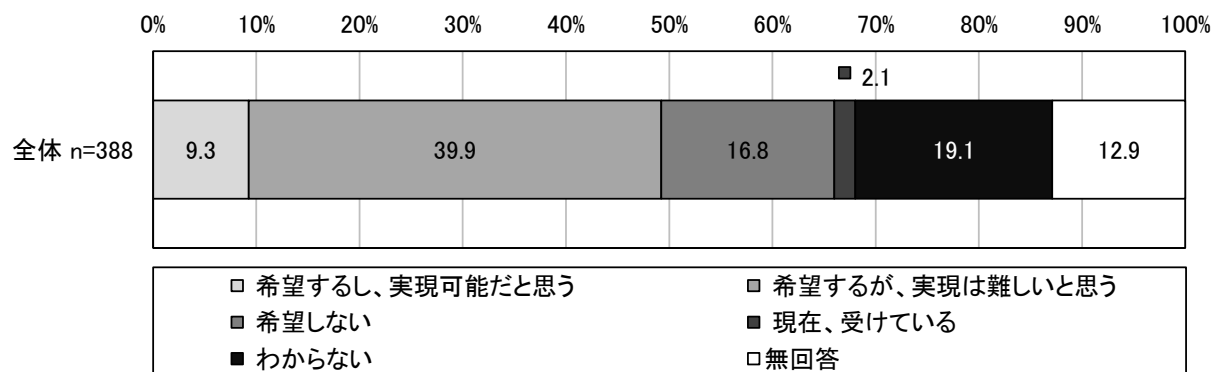


世帯構成別に見ると、全ての回答において「自宅」が最も高く、次いで「わからない」となっている。

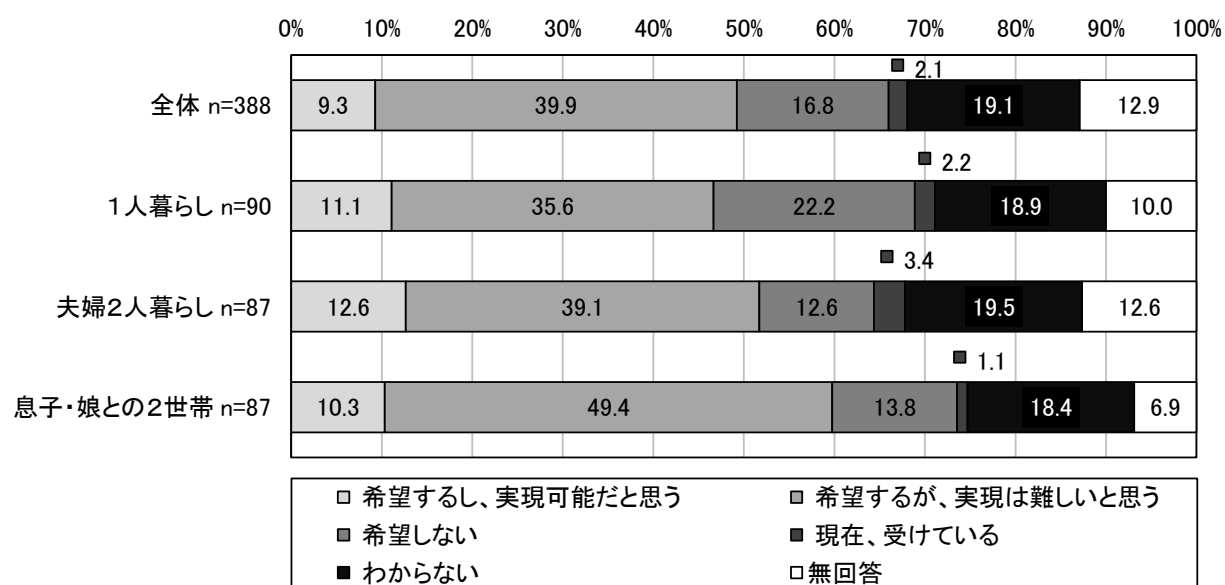


Q20. 脳卒中の後遺症やがんなどで長期の療養が必要となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能だと思いますか（1つのみ）

「希望するが、実現は難しいと思う」が39.9%で最も高く、次いで「わからない」が19.1%、「希望しない」が16.8%である。



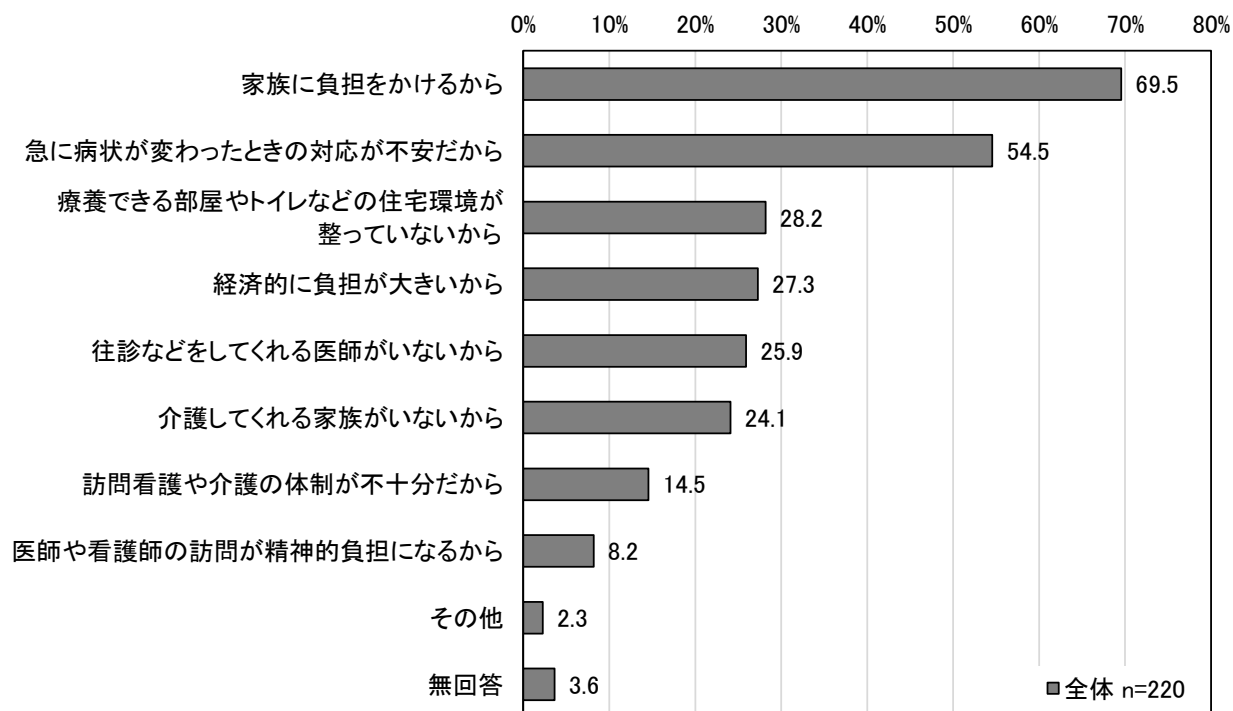
世帯構成別に見ると、『希望する』（「希望するし、実現可能だと思う」+「希望するが、実現は難しいと思う」）は、「息子・娘との2世帯」が他と比較して高くなっている。一方、「希望しない」は、「1人暮らし」が最も高くなっている。



【Q20 において「希望するが、実現は難しいと思う」「希望しない」の方のみ】

Q21. 在宅医療を希望しない、または実現が難しいと思う理由は何ですか。(いくつでも)

「家族に負担をかけるから」が69.5%で最も高く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安だから」が54.5%、「療養できる部屋やトイレなどの住宅環境が整っていないから」が28.2%である。

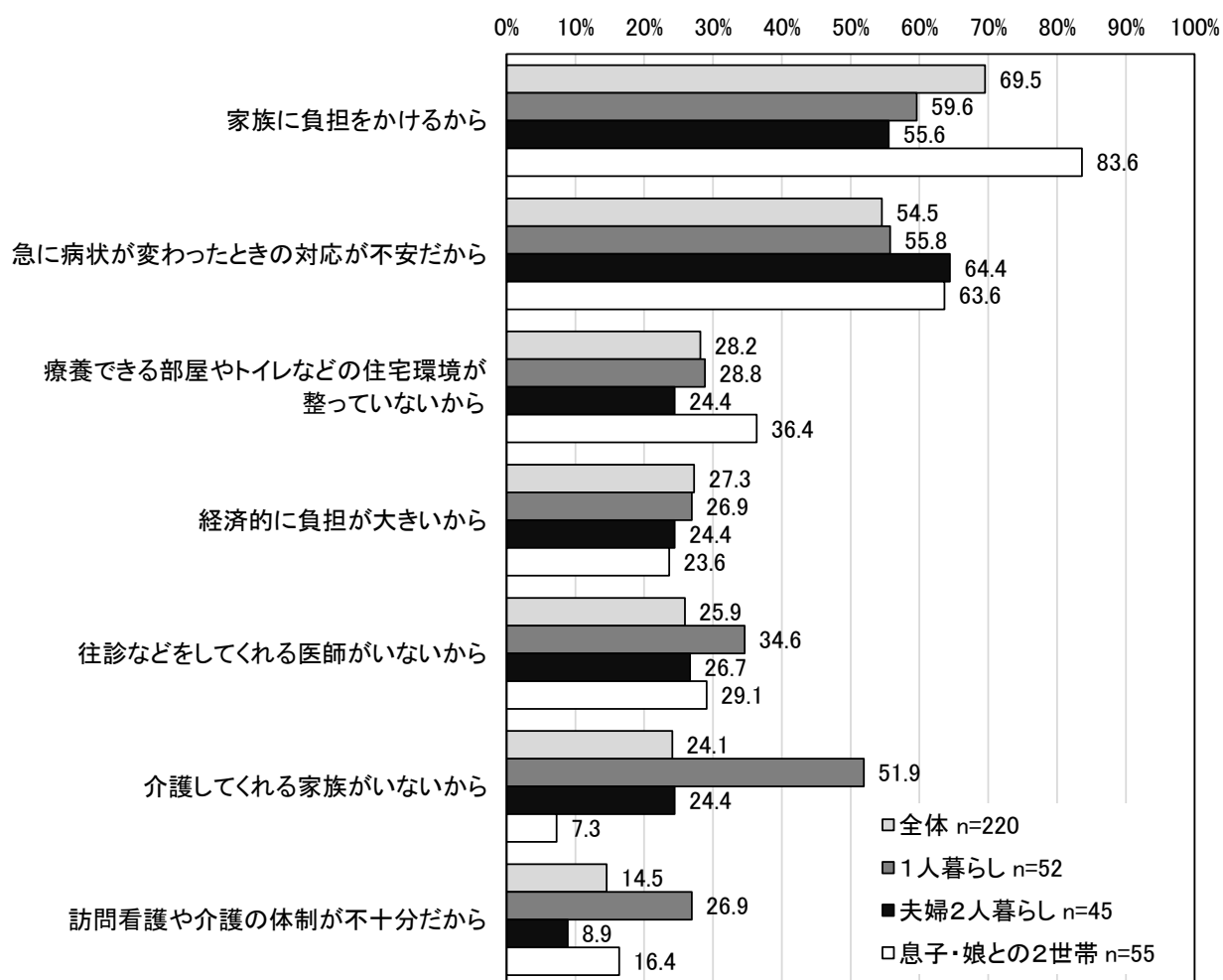


◇「その他」の回答

1人暮らしのため（1件）、老老介護のため（1件）、わからない（1件）

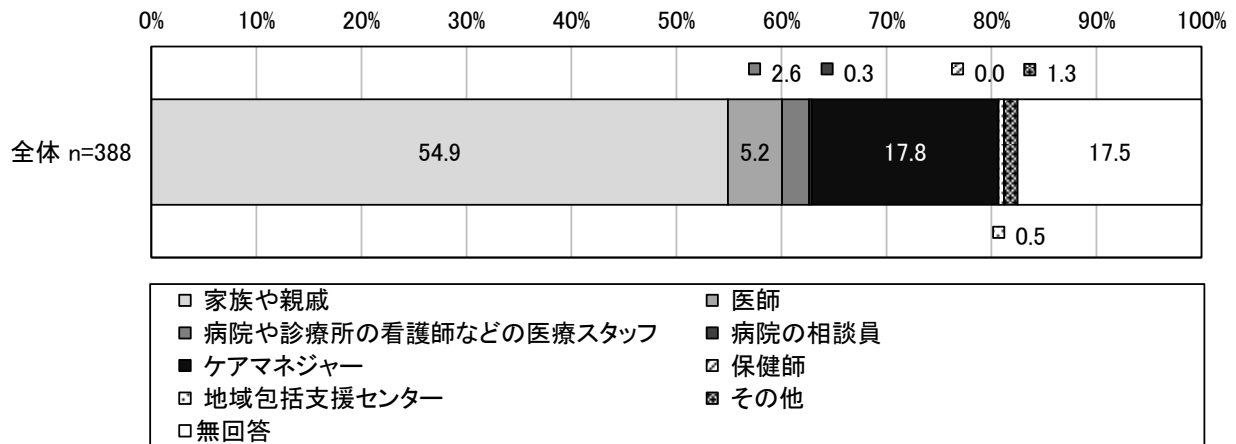
Ⅳ 調査結果 在宅介護実態調査

世帯構成別に見ると、「1人暮らし」「息子・娘との2世帯」では、「家族に負担をかけるから」が最も高く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安だから」となっている。「夫婦2人暮らし」では、「急に病状が変わったときの対応が不安だから」が最も高く、次いで「家族に負担をかけるから」となっている。

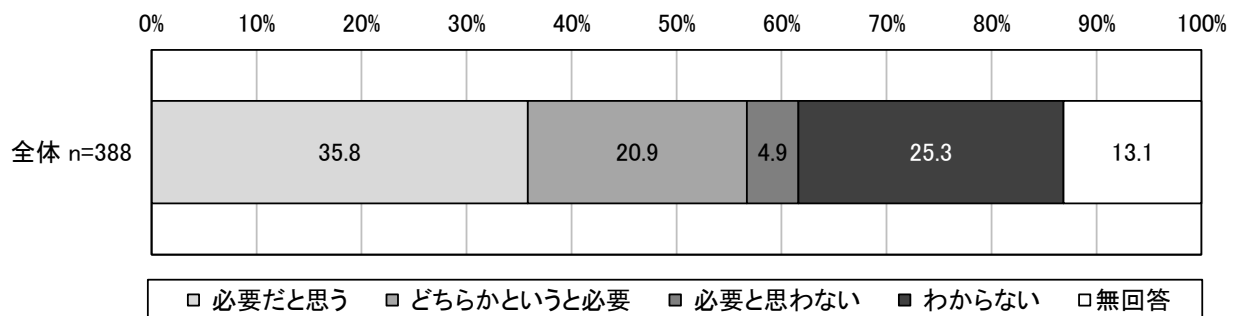


Q22. もし入院が必要となったら、入院の継続や在宅療養について、誰に相談しますか（1つのみ）

「家族や親戚」が54.9%で最も高く、次いで「ケアマネジャー」が17.8%、「医師」が5.2%である。

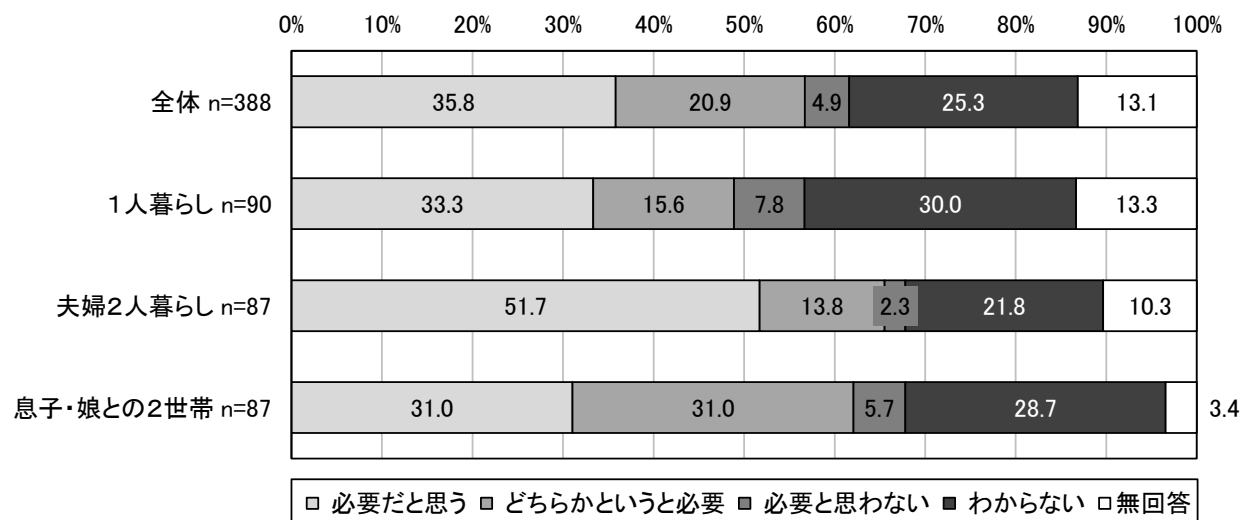

Q23. 「在宅医療」を充実することが必要だと思いますか（1つのみ）

「必要だと思う」が35.8%で最も高く、次いで「わからない」が25.3%、「どちらかという必要」が20.9%である。



Ⅳ 調査結果 在宅介護実態調査

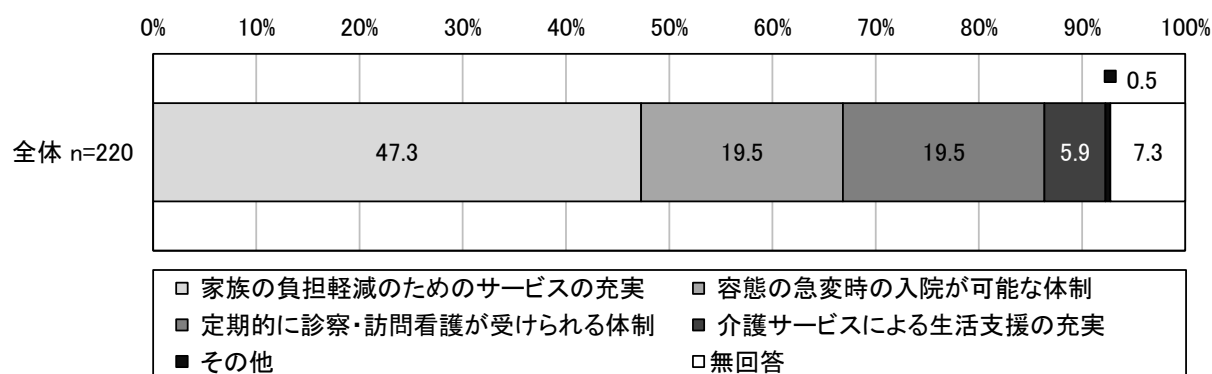
世帯構成別に見ると、『必要』（「必要だと思う」＋「どちらかという必要」）では、「夫婦2人暮らし」が65.5%で最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が62.0%、「1人暮らし」が48.9%となっている。



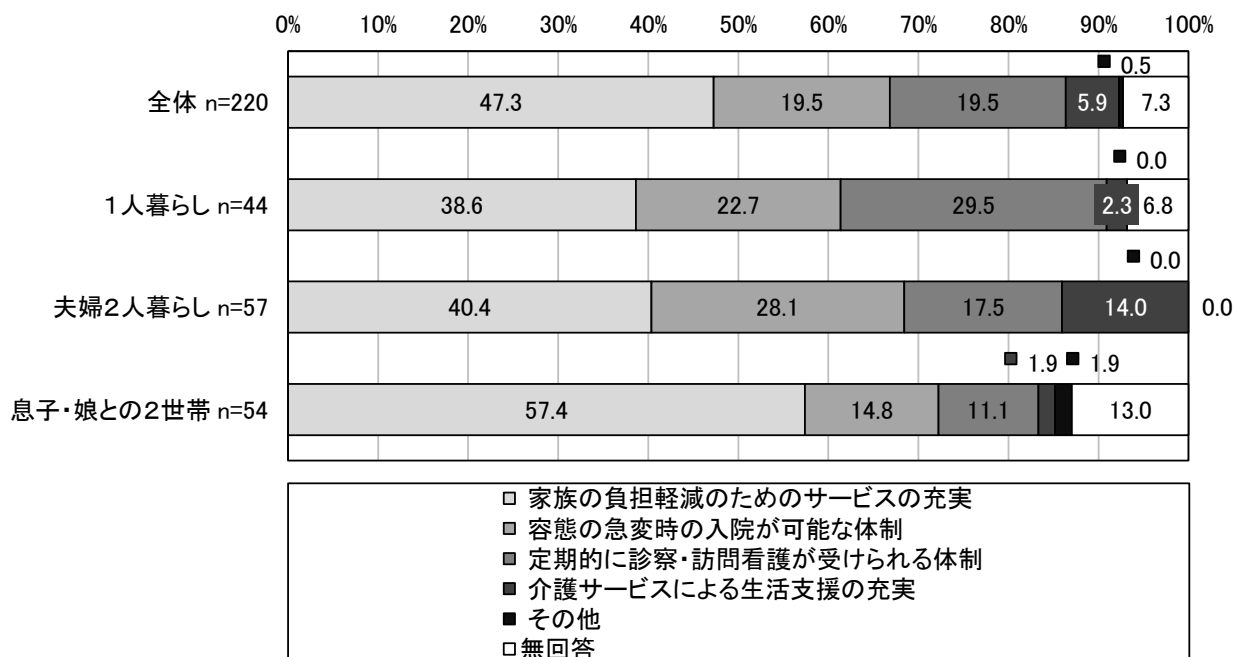
【Q23 において「必要だと思う」「どちらかという必要」の方のみ】

Q24. どのような体制の整備が一番重要だと思いますか（1つのみ）

「家族の負担軽減のためのサービスの充実」が47.3%で最も高く、次いで「容態の急変時の入院が可能な体制」「定期的に診察・訪問看護が受けられる体制」がともに19.5%、「介護サービスによる生活支援の充実」が5.9%である。



世帯構成別に見ると、「家族の負担軽減のためのサービスの充実」では、「息子・娘との2世帯」が57.4%と最も高く、「定期的に診察・訪問看護が受けられる体制」では、「1人暮らし」が29.5%と高くなっている。



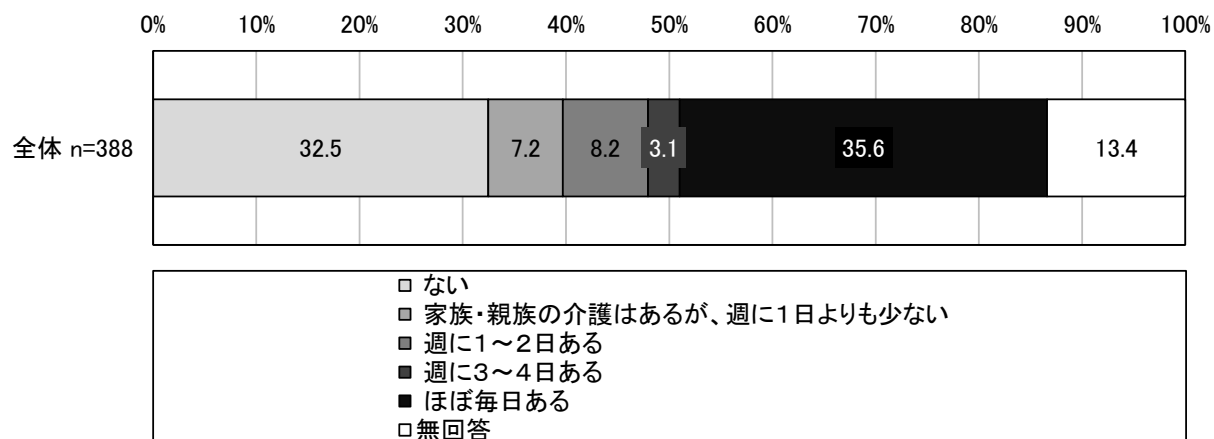
Q25. 在宅医療についてご意見などがありましたら、ご自由にお書きください

「家族の負担が大きい」「老老介護の状態にある」「介護者がいない」等の理由により、在宅医療を希望するが、実現は難しいとの意見が多く見られた。また、「在宅生活継続を実現できるような支援の充実を期待します」「経済的に不安がある。経済的な負担の軽減が必要である」「往診してくれる医師がいない、不足している」等の要望が上がっている。

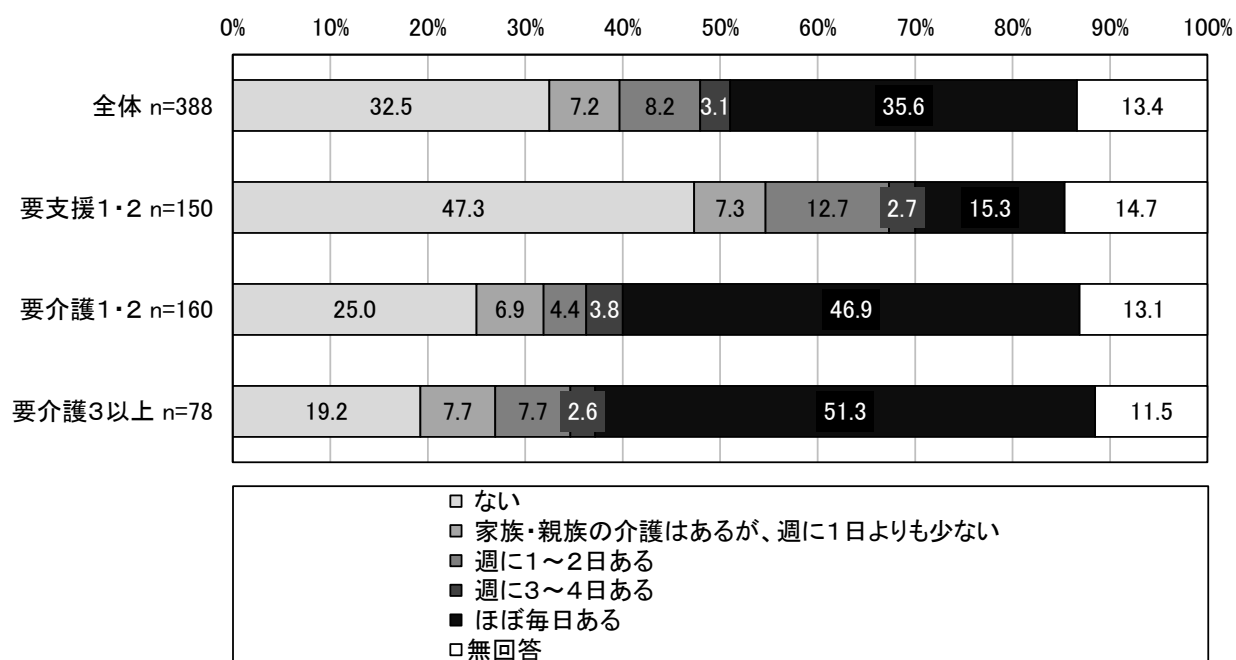
No.	「在宅医療について」のご意見	件数
1	家族の負担が大きい。	14
2	わからない。	9
3	在宅生活継続を実現できるような支援の充実を期待します。	7
4	経済的に不安がある。経済的な負担の軽減が必要である。	4
5	老老介護の状態にある。	2
6	往診してくれる医師がいない、不足している。	2
7	介護者がいない。	2

Q26. ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つのみ）

「ほぼ毎日ある」が35.6%で最も高く、次いで「ない」が32.5%、「週に1～2日ある」が8.2%である。



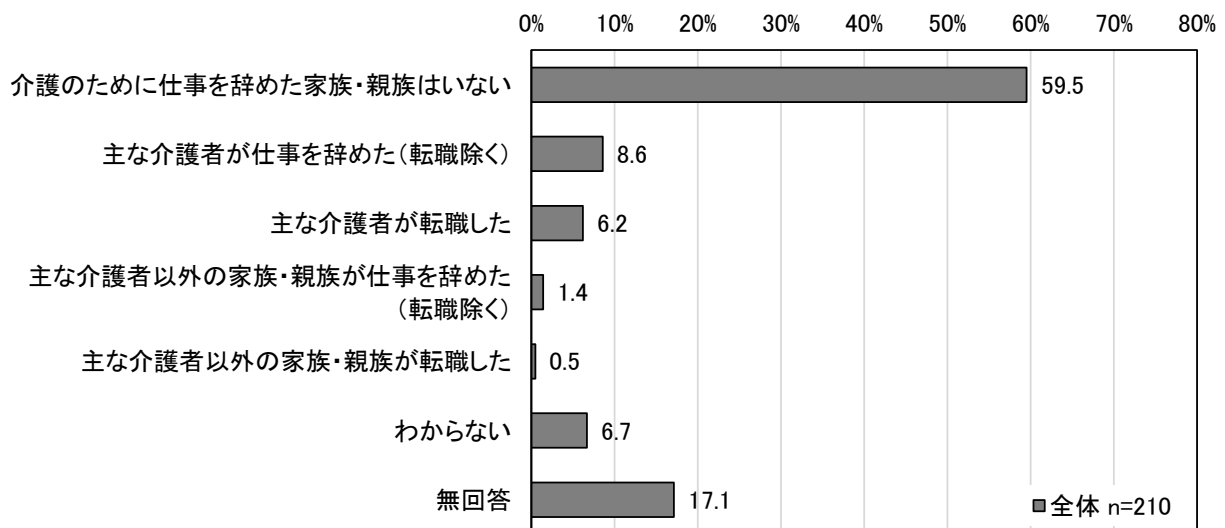
要介護度別に見ると、「要支援1・2」では「ない」が47.3%と最も高くなっている。一方、「要介護1・2」「要介護3以上」では「ほぼ毎日ある」が最も高くなっている。



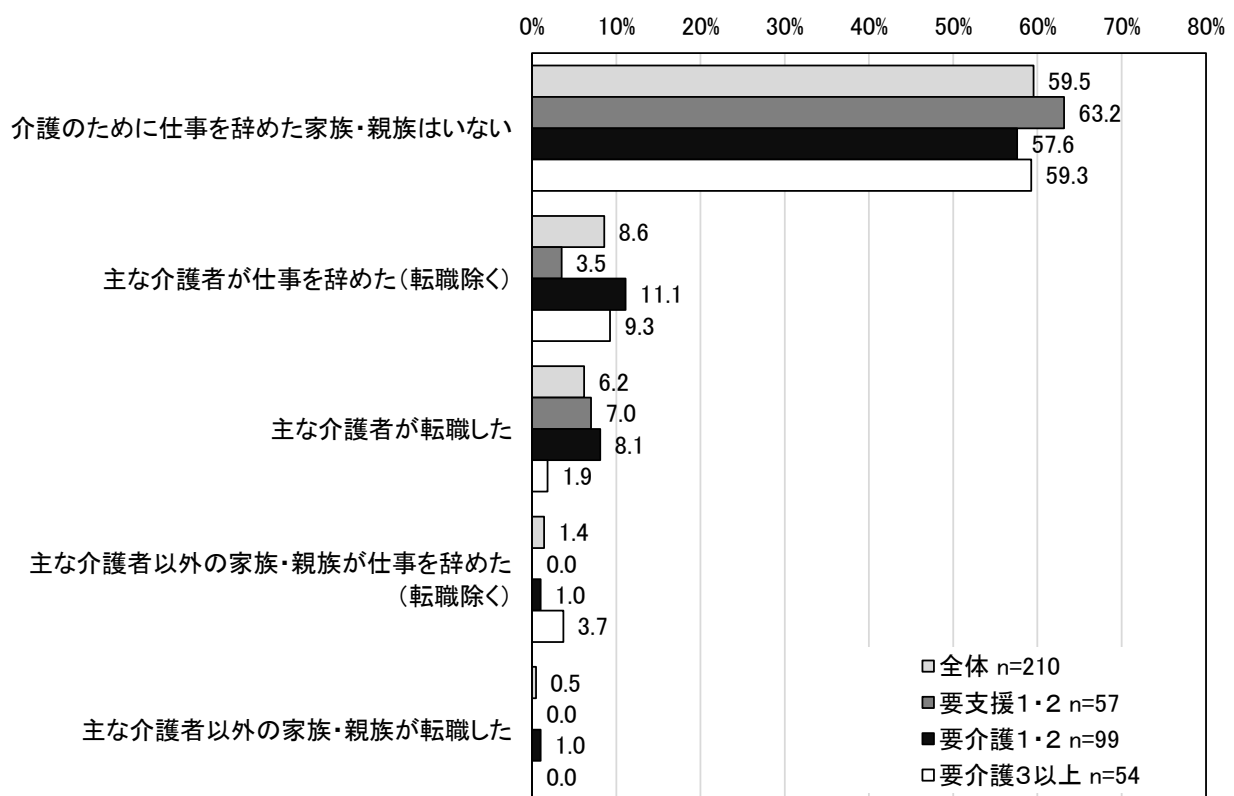
B 票 主な介護者の方について、お伺いします

Q1. ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも）
※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が59.5%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が8.6%、「わからない」が6.7%である。

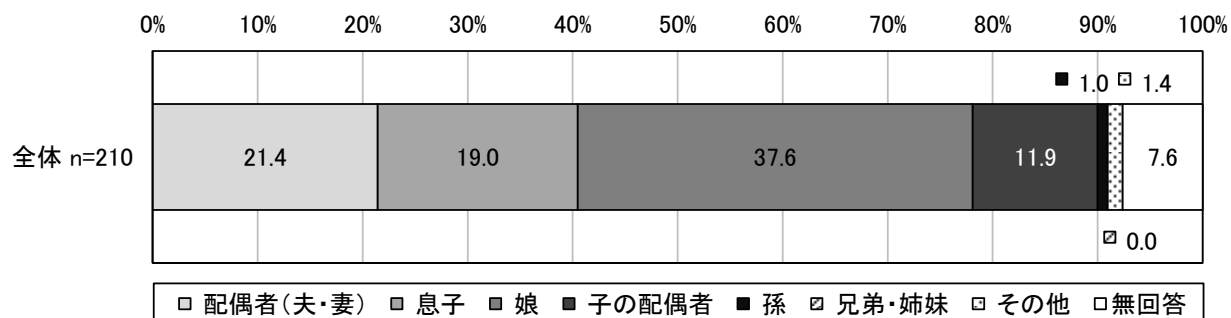


要介護度別に見ると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」では「要支援1・2」が63.2%と最も高く、また「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」では「要介護1・2」が11.1%と最も高くなっている。



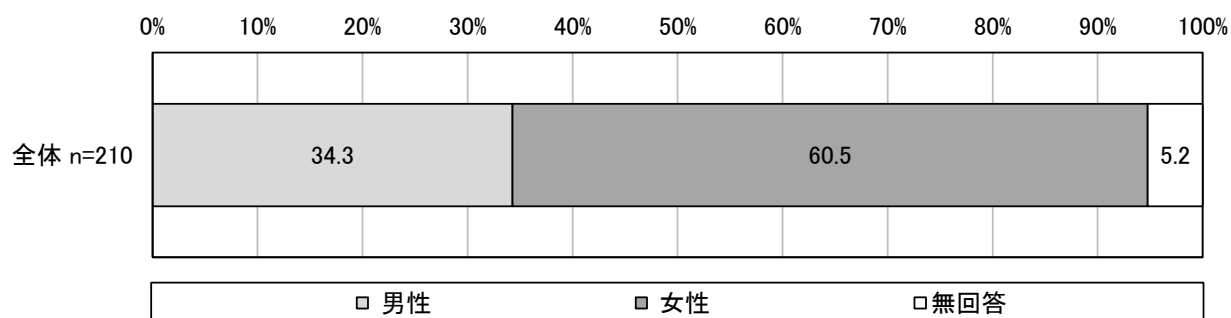
Q2. 主な介護者の方は、どなたですか（1つのみ）

「娘」が37.6%で最も高く、次いで「配偶者（夫・妻）」が21.4%、「息子」が19.0%である。



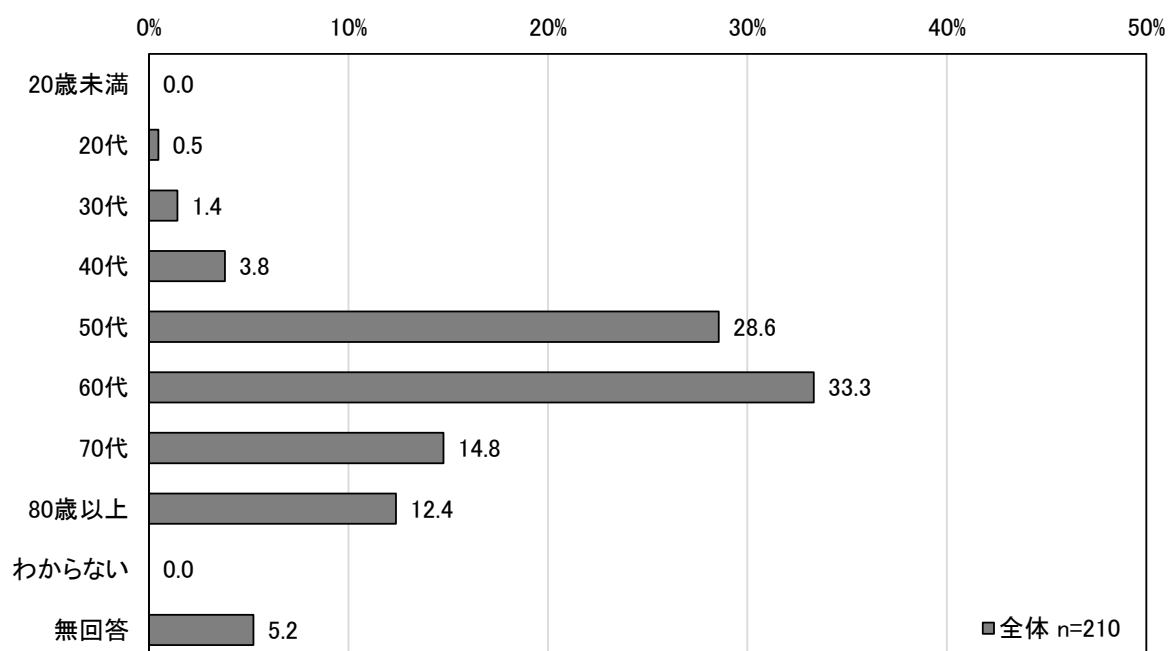
Q3. 主な介護者の方の性別はどちらですか（1つのみ）

「男性」が34.3%、「女性」が60.5%である。



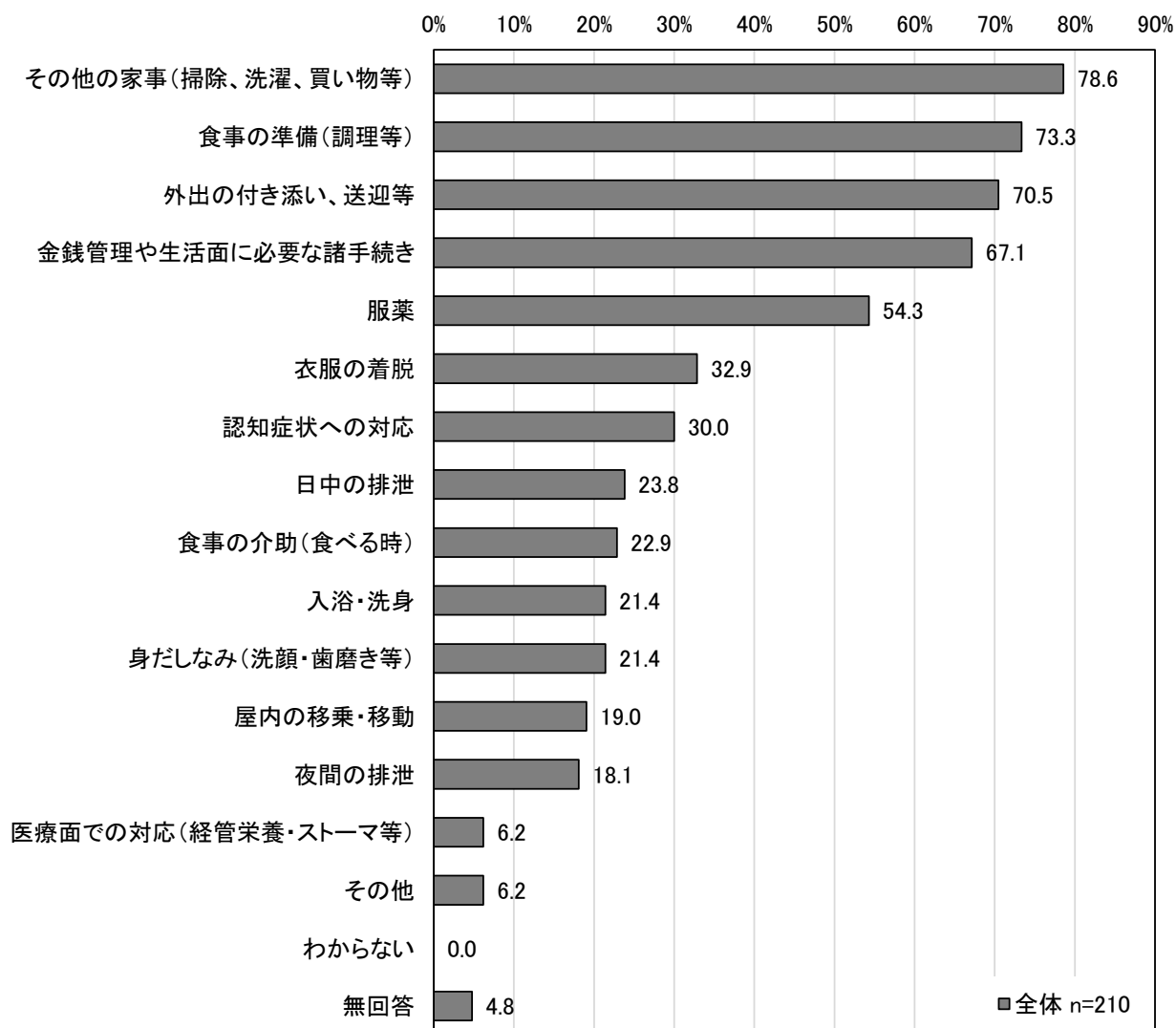
Q4. 主な介護者の方の年齢はいくつですか（1つのみ）

「60代」が33.3%で最も高く、次いで「50代」が28.6%、「70代」が14.8%である。



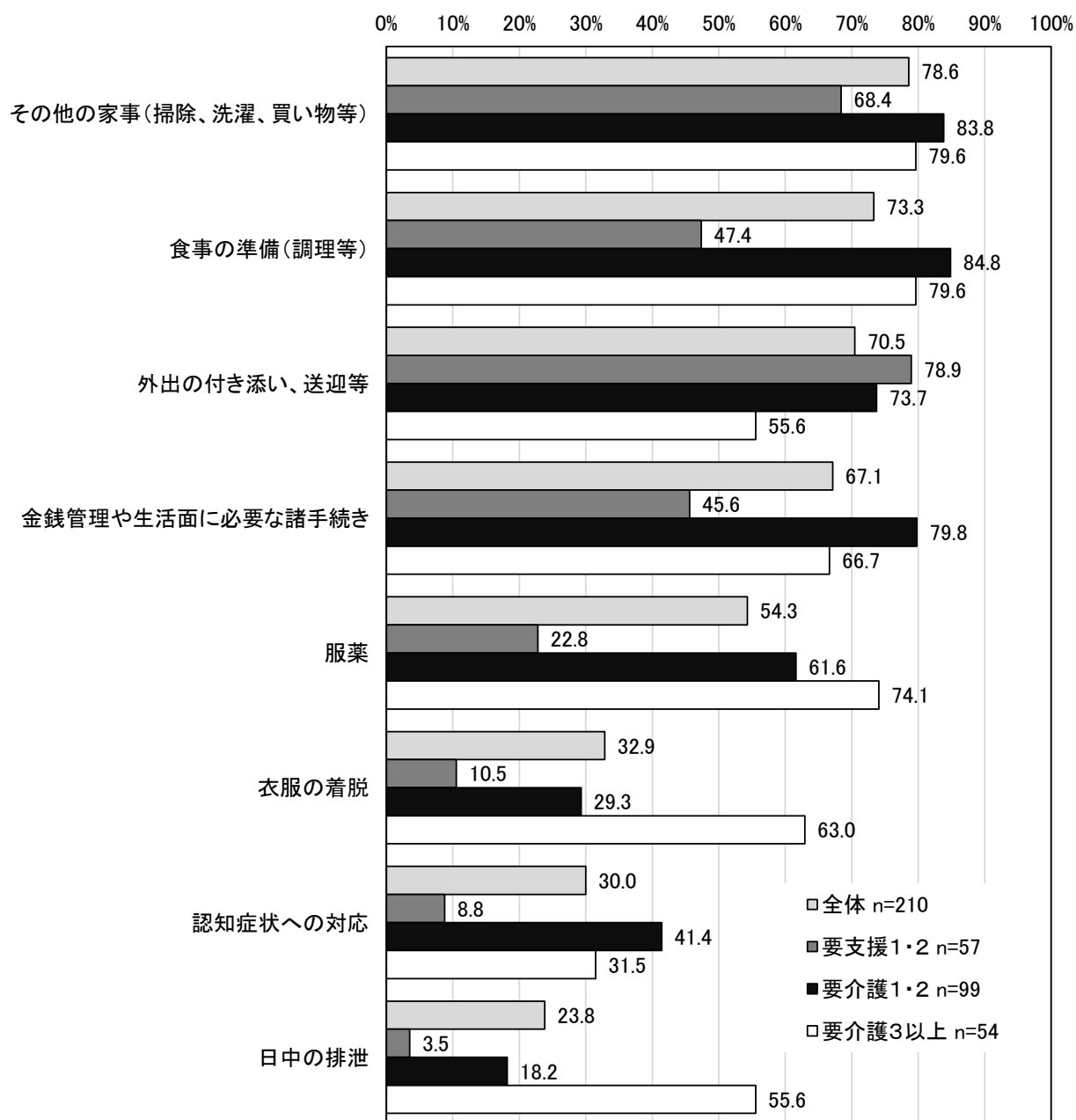
Q5. 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（いくつでも）

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が78.6%で最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」が73.3%、「外出の付き添い、送迎等」が70.5%である。



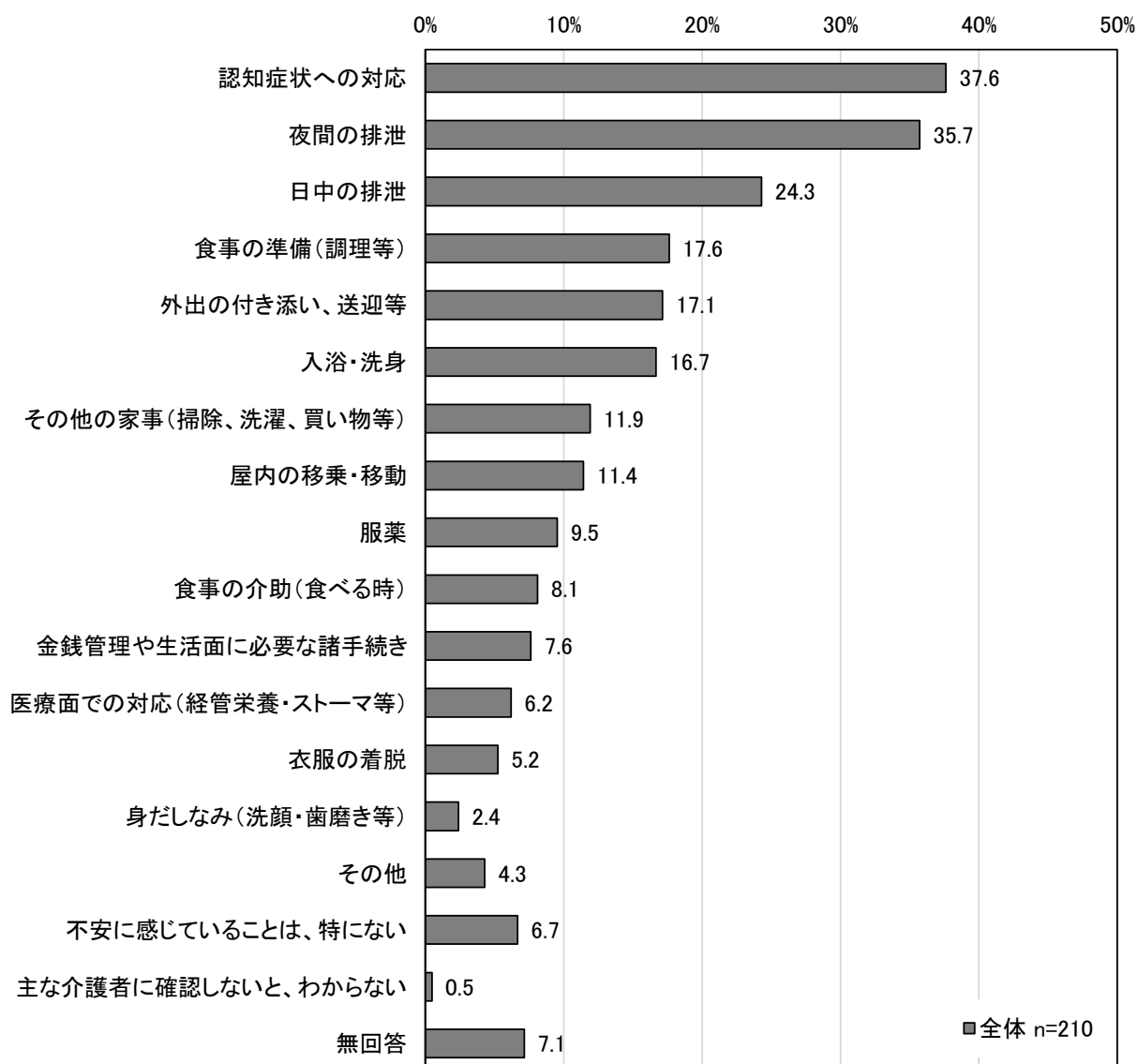
Ⅳ 調査結果 在宅介護実態調査

要介護度別に見ると、「要支援１・２」では、「外出の付き添い、送迎等」、「要介護１・２」では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「食事の準備（調理等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」「認知症状への対応」、「要介護３以上」では、「服薬」「衣服の着脱」「日中の排泄」が高い割合となっている。



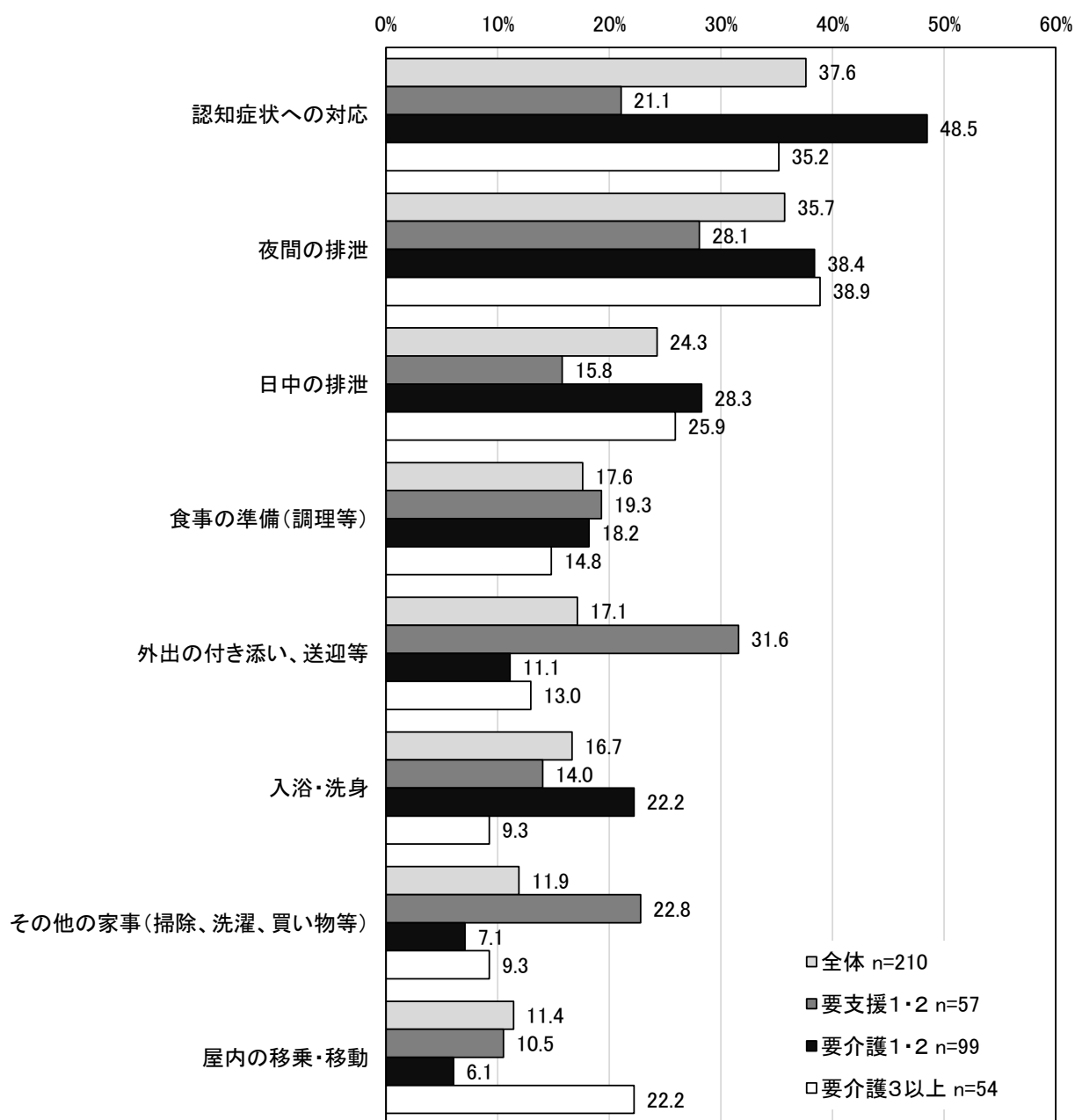
Q6. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで）

「認知症状への対応」が37.6%で最も高く、次いで「夜間の排泄」が35.7%、「日中の排泄」が24.3%である。



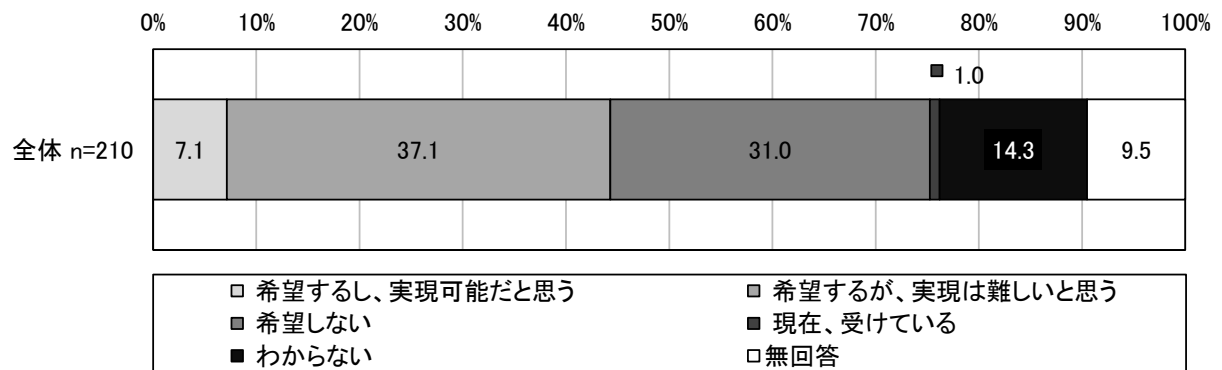
Ⅳ 調査結果 在宅介護実態調査

要介護度別に見ると、「要支援１・２」では、「外出の付き添い、送迎等」が 31.6%で最も高く、次いで「夜間の排泄」が 28.1%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 22.8%、「要介護１・２」では、「認知症状への対応」が 48.5%で最も高く、次いで「夜間の排泄」が 38.4%、「日中の排泄」が 28.3%、「要介護３以上」では、「夜間の排泄」が 38.9%で最も高く、次いで「認知症状への対応」が 35.2%、「日中の排泄」が 25.9%となっており、介護度によって介護者が不安に感じる介護等が異なる傾向が見られる。

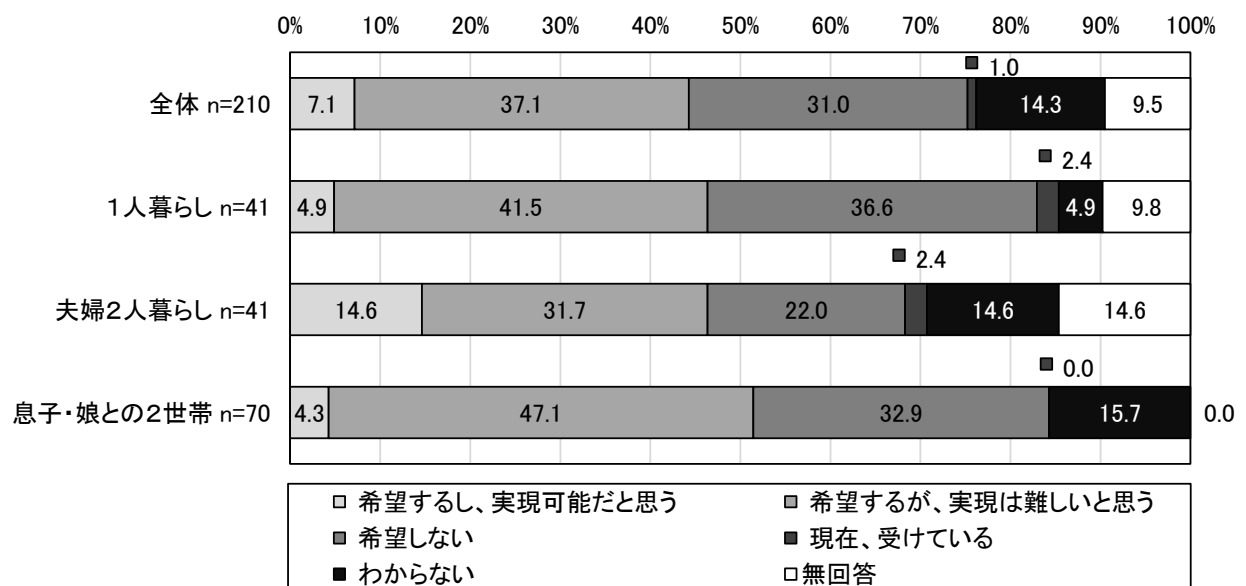


Q7. 主な介護者の方の家族が脳卒中の後遺症やがんなどで長期の療養が必要となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能だと思いますか（1つのみ）

「希望するが、実現は難しいと思う」が37.1%で最も高く、次いで「希望しない」が31.0%、「わからない」が14.3%である。



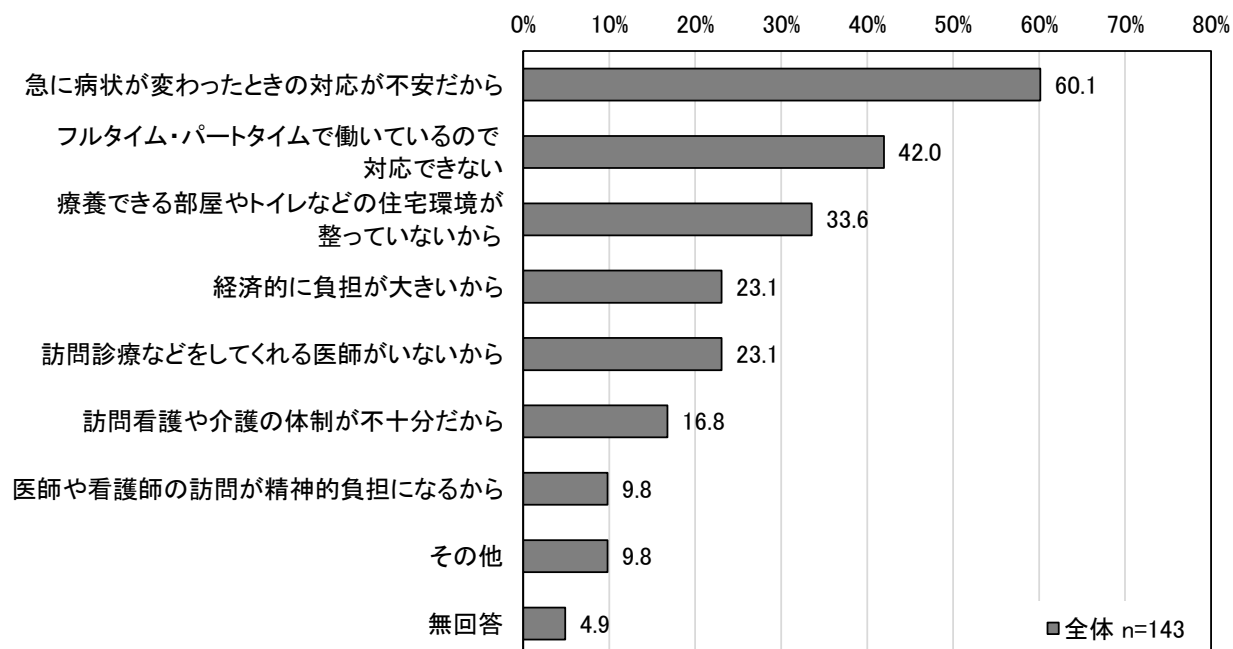
世帯構成別に見ると、「希望するし、実現可能だと思う」では「夫婦2人暮らし」が14.6%、「希望するが、実現は難しいと思う」では「息子・娘との2世帯」が47.1%、「希望しない」では「1人暮らし」が36.6%でそれぞれ最も高くなっている。



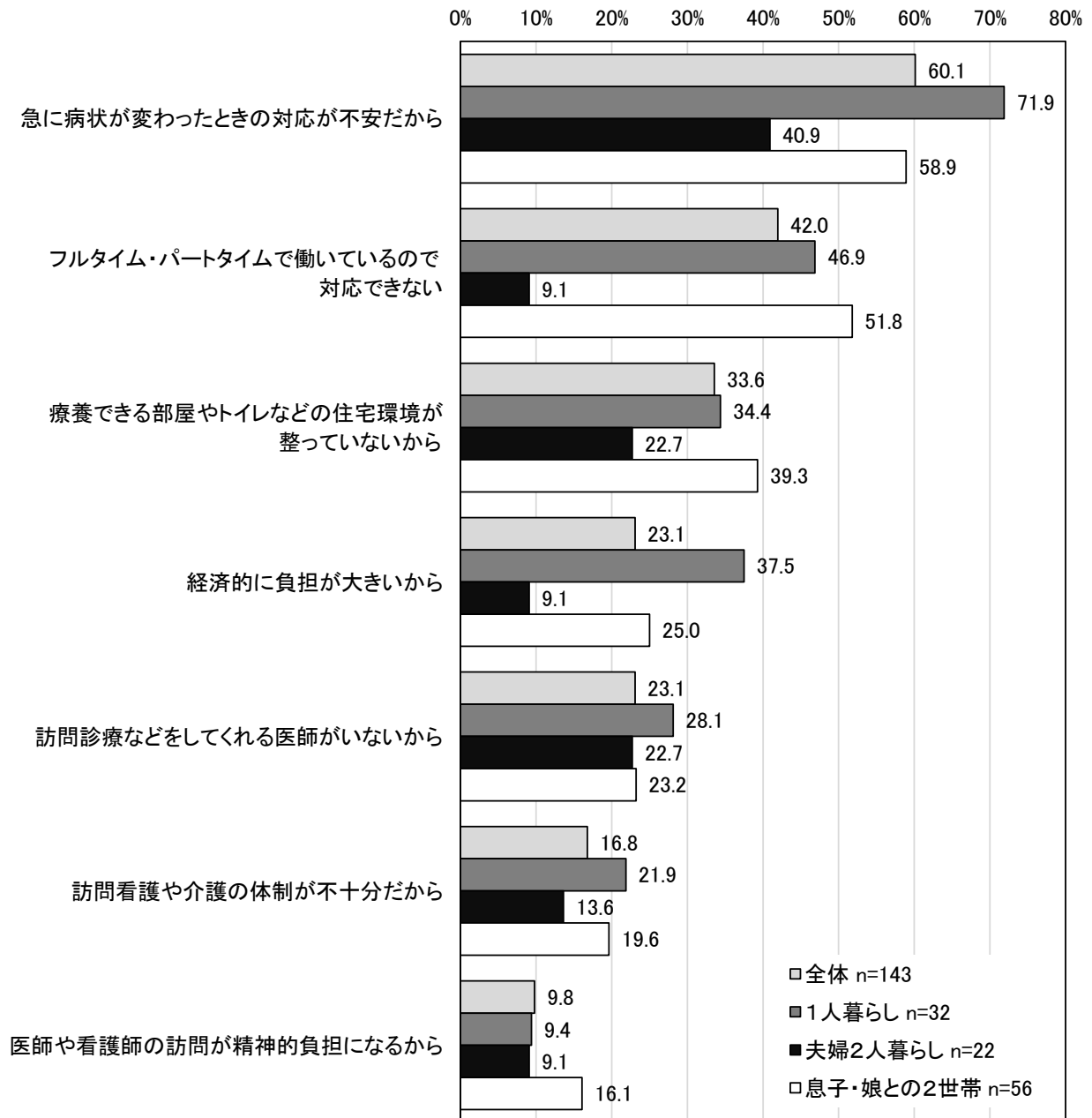
【Q7において「希望するが、実現は難しいと思う」「希望しない」の方のみ】

Q8. 在宅医療を希望しない、または実現が難しいと思う理由は何ですか（いくつでも）

「急に病状が変わったときの対応が不安だから」が60.1%で最も高く、次いで「フルタイム・パートタイムで働いているので対応できない」が42.0%、「療養できる部屋やトイレなどの住宅環境が整っていないから」が33.6%である。

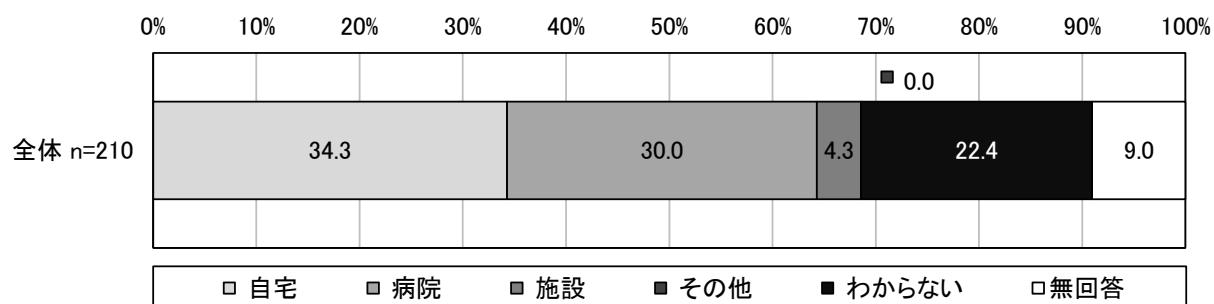


世帯構成別に見ると、すべての世帯構成で「急に病状が変わったときの対応が不安だから」が最も高く、次いで「1人暮らし」では、「フルタイム・パートタイムで働いているので対応できない」「経済的に負担が大きいから」、「夫婦2人暮らし」では、「療養できる部屋やトイレなどの住宅環境が整っていないから」「訪問診療などをしてくれる医師がいないから」、「息子・娘との2世帯」では、「フルタイム・パートタイムで働いているので対応できない」「療養できる部屋やトイレなどの住宅環境が整っていないから」となっている。

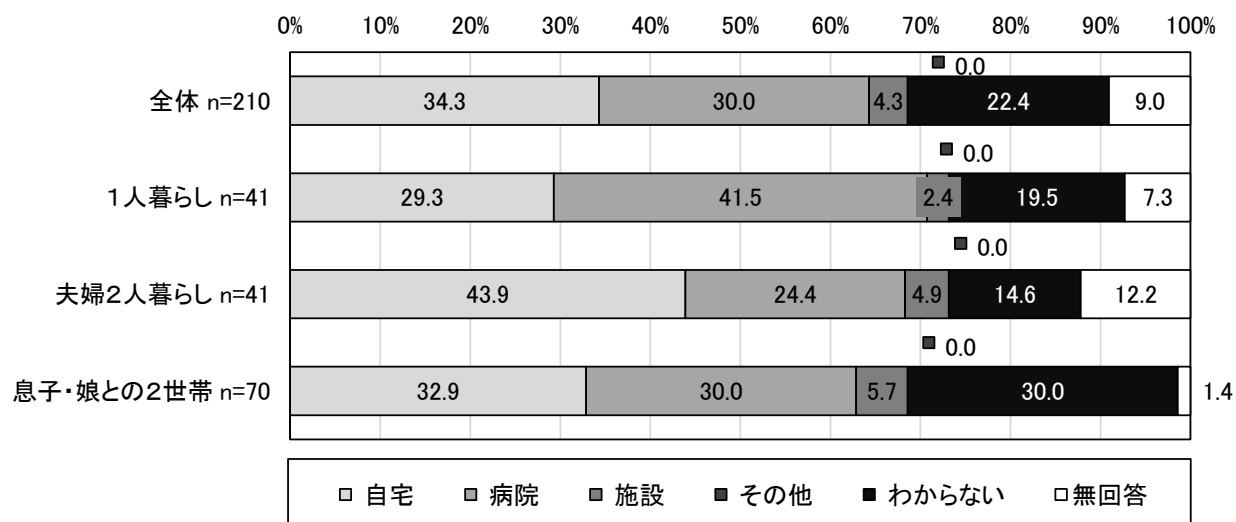


Q9. 主な介護者の方の家族の看取りはどこで迎えたいと思いますか（1つのみ）

「自宅」が34.3%で最も高く、次いで「病院」が30.0%、「わからない」が22.4%である。



世帯構成別に見ると、「1人暮らし」では「病院」が最も高く、一方、「夫婦2人暮らし」「息子・娘との2世帯」では、「自宅」が最も高くなっている。

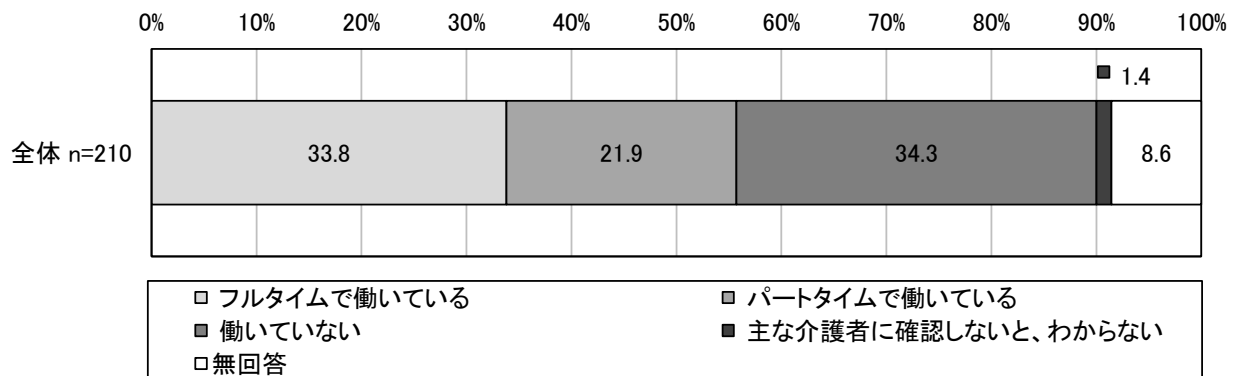


Q10. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つのみ）

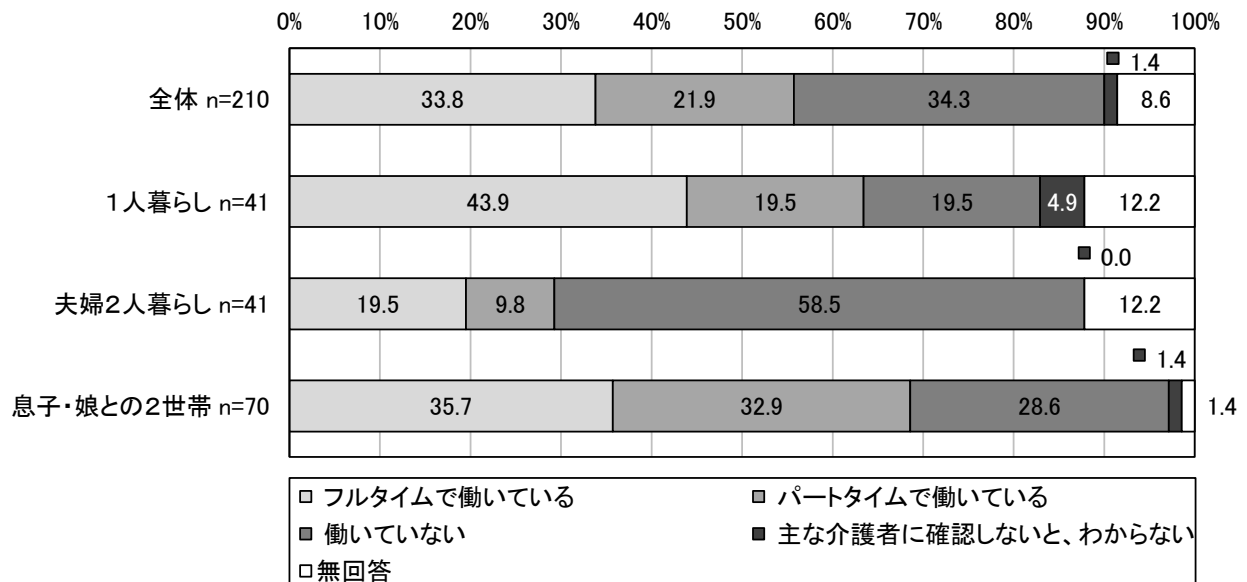
※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

※フリーランスとは、企業や団体などと雇用契約がなく、独立して仕事を請け負う人をいいます。

「働いていない」が34.3%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が33.8%、「パートタイムで働いている」が21.9%である。



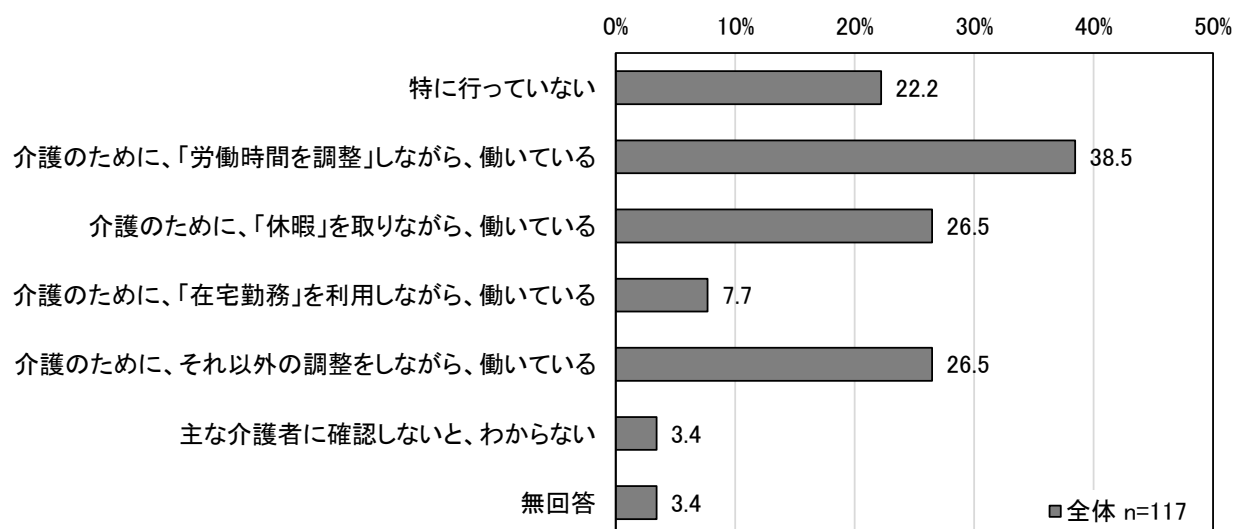
世帯構成別に見ると、「夫婦2人暮らし」では「働いていない」が最も高く、一方、「1人暮らし」「息子・娘との2世帯」では「フルタイムで働いている」が最も高くなっている。



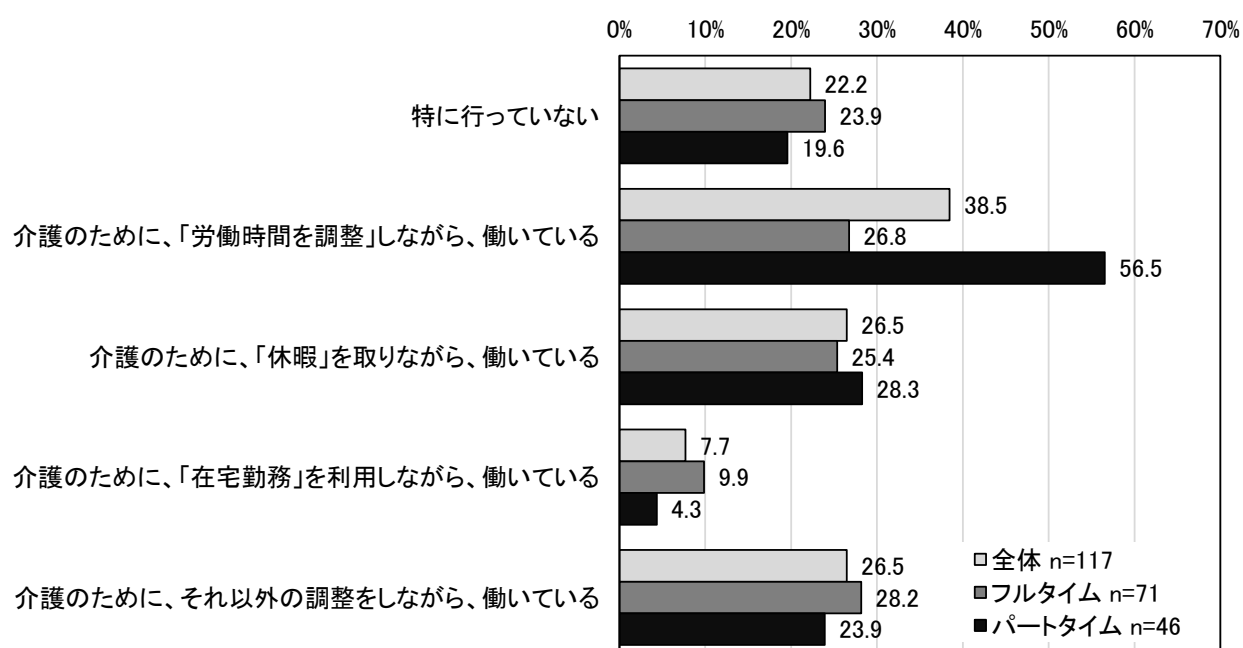
【Q10において「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の方のみ】

Q11. 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか
(いくつでも)

「介護のために『労働時間を調整』しながら、働いている」が38.5%で最も高く、次いで「介護のために『休暇』を取りながら、働いている」「介護のために、それ以外の調整をしながら、働いている」がともに26.5%、「特に行っていない」が22.2%である。



主な介護者の勤務形態別に見ると、「フルタイム」では、「介護のために、それ以外の調整をしながら、働いている」が28.2%で最も高く、次いで「介護のために『労働時間を調整』しながら、働いている」が26.8%、「介護のために『休暇』を取りながら、働いている」が25.4%、「パートタイム」では、「介護のために『労働時間を調整』しながら、働いている」が56.5%で最も高く、次いで「介護のために『休暇』を取りながら、働いている」が28.3%、「介護のために、それ以外の調整をしながら働いている」が23.9%となっている。

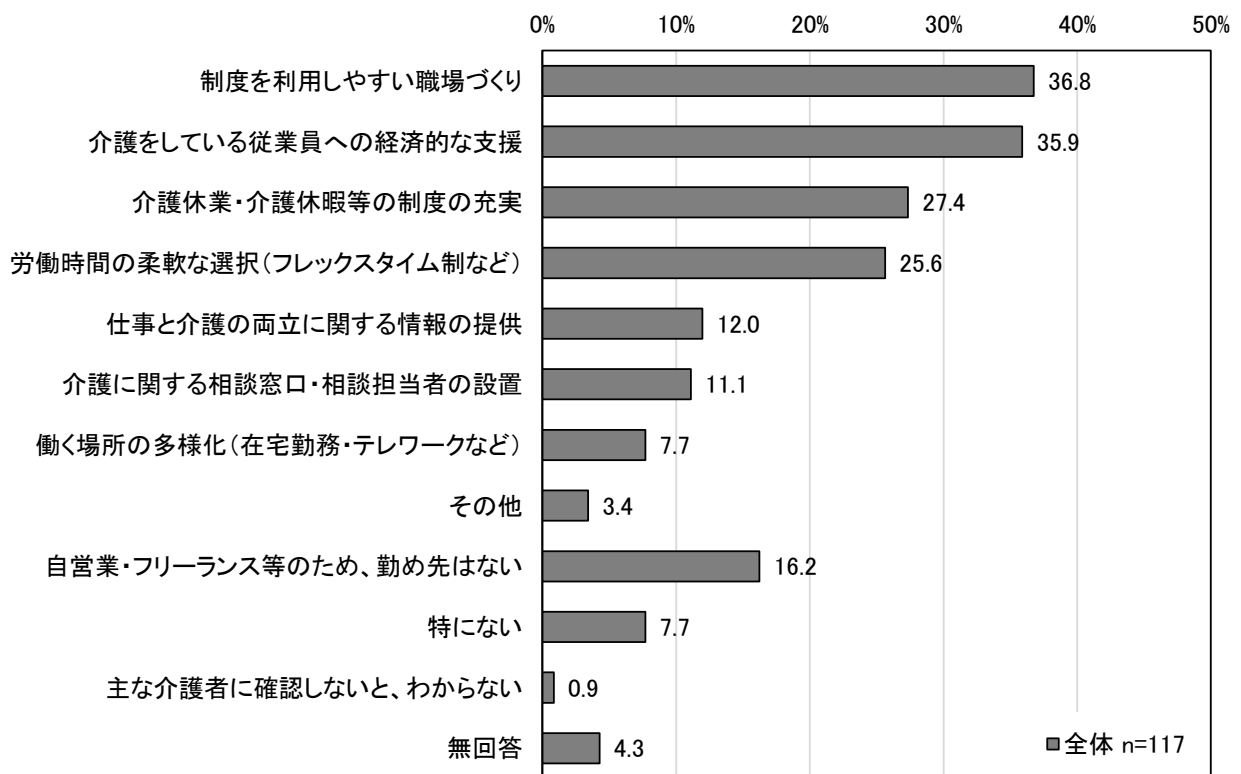


【Q10において「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の方のみ】

Q12. 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで）

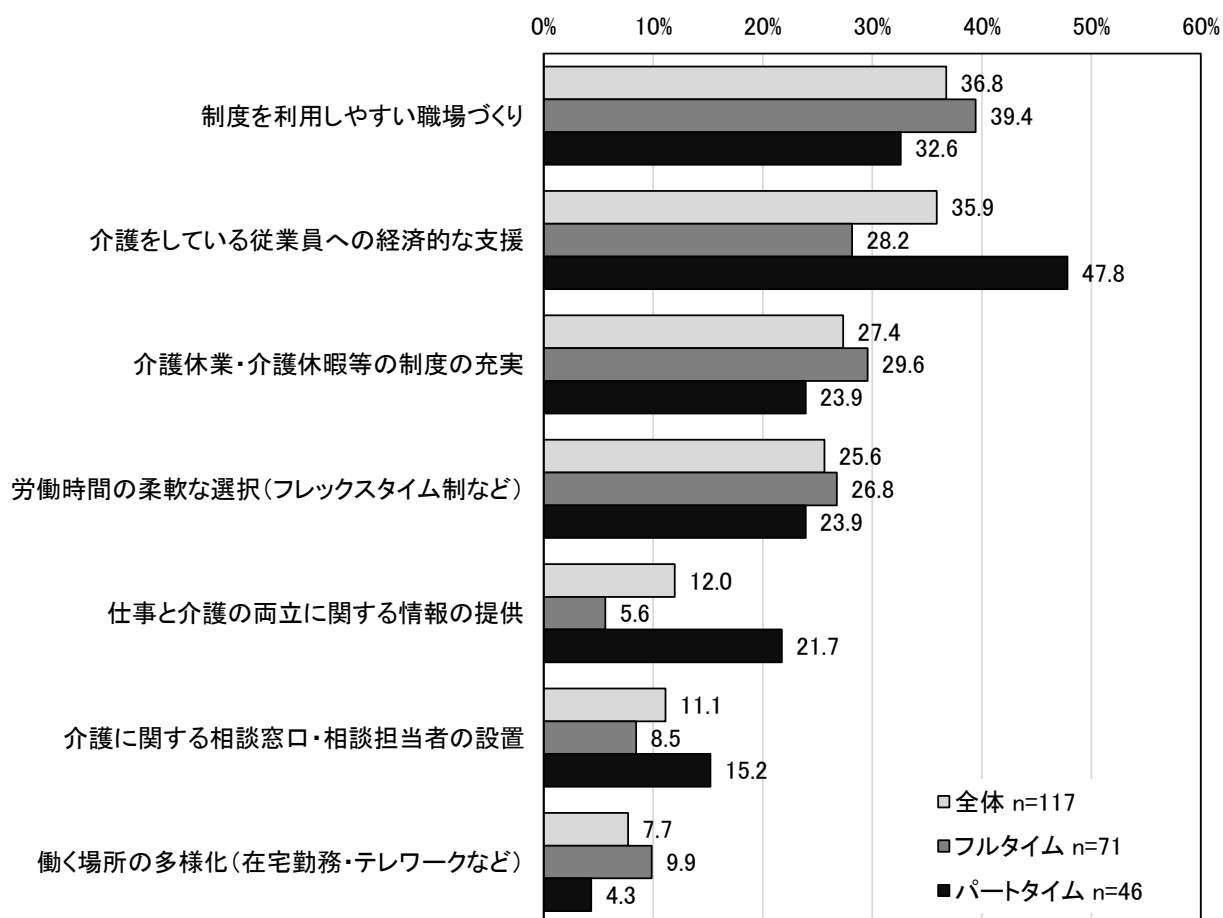
※フリーランスとは、企業や団体などと雇用契約がなく、独立して仕事を請け負う人をいいます。

「制度を利用しやすい職場づくり」が36.8%で最も高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」が35.9%、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が27.4%である。



Ⅳ 調査結果 在宅介護実態調査

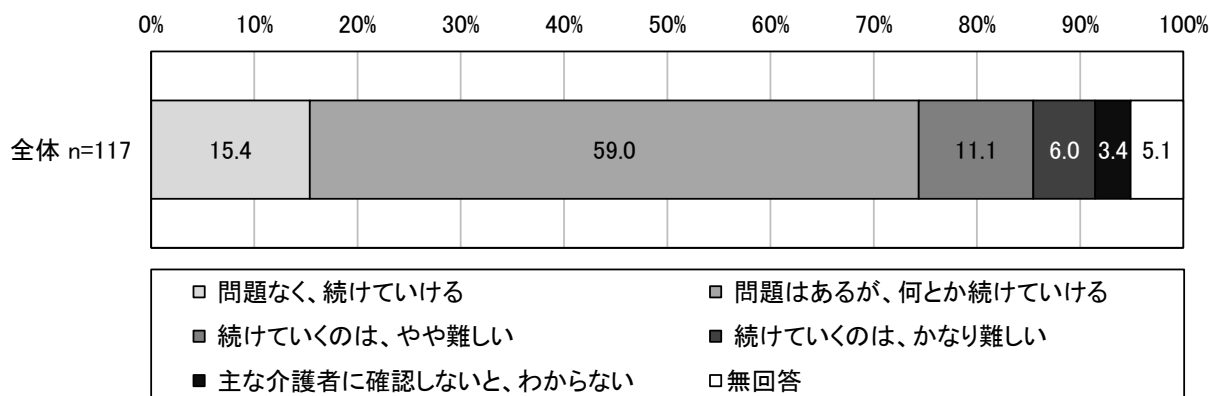
主な介護者の勤務形態別に見ると、「フルタイム」では、「制度を利用しやすい職場づくり」「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が高くなっている。一方、「パートタイム」では、「制度を利用しやすい職場づくり」「介護をしている従業員への経済的な支援」が高くなっている。



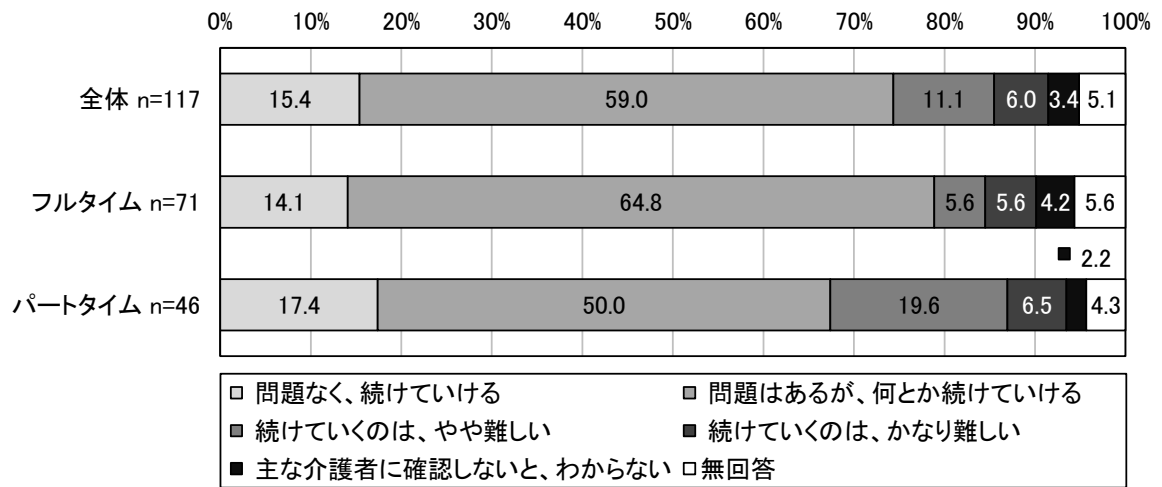
【Q10において「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の方のみ】

Q13. 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つのみ）

「問題はあるが、何とか続けていける」が59.0%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が15.4%、「続けていくのは、やや難しい」が11.1%である。



主な介護者の勤務形態別に見ると、「パートタイム」に比べ、「フルタイム」では、『続けていける』（「問題なく続けていける」＋「問題はあるが、何とか続けていける」）が11.5ポイント高くなっている。



V 資料編 使用した調査票

V 資料編 使用した調査票

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意ただけたものとさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- ◆この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、「生き生き長寿のまちづくり計画」の策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、沼田市で適切に管理いたします。
- ◆ただし、介護保険事業計画策定時および効果評価時、本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

調査票を記入されたのはどなたですか。(1つのみ)

- ☐ 本人(調査対象者)
- ☐ 家族・親族
- ☐ その他()

沼田市「介護予防・日常生活圏域二 zones 調査」 ご協力をお願い

はじめに

日頃より、本市の福祉行政にご理解、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。さて、平成12年4月に介護保険制度が施行されて以来、今年で23年目となりました。この間、本市では、高齢者の保健福祉施策を推進するとともに、介護保険事業の適正な運営に努めてまいりました。

この度、3年に一度の「生き生き長寿のまちづくり計画」(高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画)の見直しをするにあたり、この計画をより良いものにするため、アンケート調査を実施することといたしました。

皆さまからご回答いただきました内容は、統計的に処理するもので、本調査以外に使用したり、ご迷惑をおかけすることは一切ございません。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年6月

沼田市長 星 野 稔

記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、令和5年5月12日現在、65歳以上の方から、2,000名を無作為に抽出しています。
2. ご回答にあたっては、あて名のご本人についてお答えいただけますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒にご回答いただいても構いません。
3. ご回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する答えにシ点(○)をつけてください。また、数字を記入する欄は右詰めにし、空欄に「0」をご記入ください。(例)

0	6	2
---	---	---

 kg)
4. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
令和5年6月19日(月)までに投函(切手不要)してください。

【問い合わせ先】沼田市役所 健康福祉部 介護高齢課 介護保険係
TEL: 0278-23-2111 (内線3145~3148)
FAX: 0278-24-5179

問1	あなたのご家族や生活状況について	
Q1. 世帯構成を教えてください (1つのみ)		
☐ 1人暮らし	☐ 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	
☐ 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	☐ 息子・娘との2世帯	
☐ その他 ()		
Q2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (1つのみ)		
☐ 介護・介助は必要ない		
☐ 何らかの介護・介助は必要だが、現在を受けていない		
☐ 現在、何らかの介護を受けている	(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	
【Q2において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】		
①. 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)		
☐ 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	☐ 心臓病	
☐ がん (悪性新生物)	☐ 呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等)	
☐ 関節の病気 (リウマチ等)	☐ 認知症 (アルツハイマー病等)	
☐ パーキンソン病	☐ 糖尿病	
☐ 腎疾患 (透析)	☐ 視覚・聴覚障害	
☐ 骨折・転倒	☐ 脊椎損傷	
☐ 高齢による衰弱	☐ その他 ()	
☐ 不明		
【Q2において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】		
②. 主にどなたの介護・介助を受けていますか (いくつでも)		
☐ 配偶者 (夫・妻)	☐ 息子	☐ 娘
☐ 子の配偶者	☐ 孫	☐ 兄弟・姉妹
☐ 介護サービスのヘルパー	☐ その他 ()	

あて名のご本人について	
Q1. あなたの年齢を教えてください (1つのみ)	
☐ 65～69歳	☐ 70～74歳 ☐ 75～79歳
☐ 80～84歳	☐ 85～89歳 ☐ 90歳以上
Q2. あなたの性別を教えてください (1つのみ)	
☐ 男性	☐ 女性
Q3. あなたがお住まいの地区を教えてください (1つのみ)	
☐ 沼田中学校区	柳町・高橋堀町・材木町・桜町・上原町・東原新町・西原新町
☐ 沼田南中学校区	東倉内町・西倉内町・上之町・馬喰町・中町・坊新田町・下之町・鍛冶町・戸鹿野町 (鷺石地区除く)・新町 (鷺石地区除く)・沼須町・上沼須町・栄町
☐ 沼田西中学校区	篠名町・清水町・薄根町・戸庭野町 (鷺石地区のみ)・新町 (鷺石地区のみ)・川田地区全域
☐ 沼田東中学校区	下久屋町・上久屋町・久屋原町・横塚町
☐ 池田中学校区	池田地区全域
☐ 薄根中学校区	薄根地区全域
☐ 白沢町	
☐ 利根町	
Q4. あなたの要介護認定等を教えてください (1つのみ)	
☐ 要支援1	☐ 要支援2
☐ 総合事業対象者	☐ 受けていない

Q3. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (1つのみ)			
☐ 大変苦しい	☐ やや苦しい	☐ ふつう	
☐ ややゆとりがある	☐ 大変ゆとりがある		
Q4. 現在のお住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (1つのみ)			
☐ 持家 (一戸建て)	☐ 持家 (集合住宅)		
☐ 公営賃貸住宅	☐ 民間賃貸住宅 (一戸建て)		
☐ 民間賃貸住宅 (集合住宅)	☐ 借家		
☐ その他 ()			
問2 からだを動かすことについて			
Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (1つのみ)			
☐ できるし、している	☐ できるけどしていない	☐ できない	
Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (1つのみ)			
☐ できるし、している	☐ できるけどしていない	☐ できない	
Q3. 15分位続けて歩いていますか (1つのみ)			
☐ できるし、している	☐ できるけどしていない	☐ できない	
Q4. 過去1年間に転んだ経験がありますか (1つのみ)			
☐ 何度もある	☐ 1度ある	☐ ない	
Q5. 転倒に対する不安は大きいですか (1つのみ)			
☐ とても不安である	☐ やや不安である	☐ あまり不安でない	☐ 不安でない
Q6. 週に1回以上は外出していますか (1つのみ)			
☐ ほとんど外出しない	☐ 週1回	☐ 週2~4回	☐ 週5回以上
Q7. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (1つのみ)			
☐ とても減っている	☐ 減っている	☐ あまり減っていない	☐ 減っていない

Q8. 外出を控えていますか (1つのみ)		
☐ はい	☐ いいえ	
【Q8で「はい」(外出を控えている)の方のみ】		
①. 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)		
☐ 病気	☐ 障害 (脳卒中の後遺症など)	
☐ 足腰などの痛み	☐ トイレの心配 (失禁など)	
☐ 耳の障害 (聞こえの問題など)	☐ 日の障害	
☐ 外での楽しみがない	☐ 経済的に出られない	
☐ 交通手段がない	☐ 新型コロナウイルス感染症の影響	
☐ その他 ()		
Q9. 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)		
☐ 徒歩	☐ 自転車	☐ バイク
☐ 自動車 (自分で運転)	☐ 自動車 (人に乗せてもらう)	☐ 電車
☐ 路線バス	☐ 病院や施設のバス	☐ 車いす
☐ 電動市いす (カート)	☐ 歩行器・シルバーカー	☐ タクシー
☐ その他 ()		
問3 食べることにについて		
Q1. 身長・体重を教えてください		
身長 cm	体重 kg	
Q2. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (1つのみ)		
☐ はい	☐ いいえ	
Q3. お茶や汁物等でもせることがありますか (1つのみ)		
☐ はい	☐ いいえ	

Q3. 今日が何日何日かわからないときがありますか (1つのみ)	☐ はい	☐ いいえ
Q4. バスや電車をを使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (1つのみ)	☐ できるし、している	☐ できるけどしていません
Q5. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか (1つのみ)	☐ できるし、している	☐ できるけどしていません
Q6. 自分で食事の用意をしていますか (1つのみ)	☐ できるし、している	☐ できるけどしていません
Q7. 自分で請求書の支払いをしていますか (1つのみ)	☐ できるし、している	☐ できるけどしていません
Q8. 自分で預貯金の出し入れをしていますか (1つのみ)	☐ できるし、している	☐ できるけどしていません
Q9. 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (1つのみ)	☐ はい	☐ いいえ
Q10. 新聞を読んでいますか (1つのみ)	☐ はい	☐ いいえ
Q11. 本や雑誌を読んでいますか (1つのみ)	☐ はい	☐ いいえ
Q12. 健康についての記事や番組に関心がありますか (1つのみ)	☐ はい	☐ いいえ
Q13. 友人の家を訪ねていますか (1つのみ)	☐ はい	☐ いいえ
Q14. 家族や友人の相談にのっていますか (1つのみ)	☐ はい	☐ いいえ

Q4. 口の渇きが頻になりますか (1つのみ)	☐ はい	☐ いいえ
Q5. 歯磨き (人にやってもら場合も含む) を毎日していますか (1つのみ)	☐ はい	☐ いいえ
Q6. 噛み合わせは良いですか (1つのみ)	☐ はい	☐ いいえ
Q7. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です) (1つのみ)		
☐ 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用	☐ 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし	
☐ 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用	☐ 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし	
【Q7で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】		
①. 毎日入れ歯の手入れをしていますか (1つのみ)	☐ はい	☐ いいえ
Q8. 6か月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか (1つのみ)	☐ はい	☐ いいえ
Q9. どなたかと食事をともにする機会はありますか (1つのみ)	☐ 毎 H ある	☐ 週に何度かある
	☐ 年に何度かある	☐ ほとんどない
問4 毎日の生活について		
Q1. 物忘れが多いと感じますか (1つのみ)	☐ はい	☐ いいえ
Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (1つのみ)	☐ はい	☐ いいえ

Q15. 病人を見舞うことができますか (1つのみ)

☐ はい ☐ いいえ

Q16. 若い人に自分から話しかけられることがありますか (1つのみ)

☐ はい ☐ いいえ

Q17. 趣味はありますか (1つのみ)

趣味あり

思いつかない

→ ()

Q18. 生きがいがありますか (1つのみ)

生きがいあり

思いつかない

→ ()

問5 地域での活動について

Q 1. 以下のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか
※①から⑧それぞれに回答してください (それぞれに1つのみ)

	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	☐	☐	☐	☐	☐	☐
② スポーツ関係のグループや クラブ	☐	☐	☐	☐	☐	☐
③ 趣味関係のグループ	☐	☐	☐	☐	☐	☐
④ 学習・教養サークル	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑤ 「短体操 (筋トレ) など」 (介護予防のための通いの場)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑥ 老人クラブ	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑦ 町内会・自治会	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑧ 収入のある仕事	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q 2. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いき
いきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加して
みたいと思いますか (1つのみ)

☐ 是非参加したい ☐ 参加してもよい ☐ 参加したくない ☐ 既に参加している

Q 3. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いき
いきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営 (お世話役)
として参加したいと思いますか (1つのみ)

☐ 是非参加したい ☐ 参加してもよい ☐ 参加したくない ☐ 既に参加している

問 6	たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお答えください	
Q 1. あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）		
☐ 配偶者	☐ 同居の子ども	☐ 別居の子ども
☐ 兄弟姉妹・親戚・親・孫	☐ 近隣	☐ 友人
☐ その他（ ）	☐ そのような人はいない	
Q 2. 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）		
☐ 配偶者	☐ 同居の子ども	☐ 別居の子ども
☐ 兄弟姉妹・親戚・親・孫	☐ 近隣	☐ 友人
☐ その他（ ）	☐ そのような人はいない	
Q 3. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）		
☐ 配偶者	☐ 同居の子ども	☐ 別居の子ども
☐ 兄弟姉妹・親戚・親・孫	☐ 近隣	☐ 友人
☐ その他（ ）	☐ そのような人はいない	
Q 4. 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）		
☐ 配偶者	☐ 同居の子ども	☐ 別居の子ども
☐ 兄弟姉妹・親戚・親・孫	☐ 近隣	☐ 友人
☐ その他（ ）	☐ そのような人はいない	
Q 5. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）		
☐ 自治会・町内会・老人クラブ	☐ 社会福祉協議会・民生委員	
☐ ケアマネジャー	☐ 医師・歯科医師・看護師	
☐ 地域包括支援センター・役所	☐ その他（ ）	
☐ そのような人はいない		
Q 6. 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つのみ）		
☐ 毎日ある	☐ 週に何度かある	☐ 月に何度かある
☐ 年に何度かある	☐ ほとんどない	

Q 7. この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか 同じ人には何度会っても1人と数えることとします (1つのみ)	
☐ 0人 (いない)	☐ 1～2人 ☐ 3～5人
☐ 6～9人	☐ 10人以上
Q 8. よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)	
☐ 近所・同じ地域の人	☐ 幼なじみ
☐ 学生時代の友人	☐ 仕事での同僚・元同僚
☐ 趣味や関心が同じ友人	☐ ボランティア等の活動での友人
☐ その他 ()	☐ いない
Q 9. 生活の困りごとやあると助かる支援等がありますか (いくつでも)	
☐ 口常のごみ出し	☐ 買い物支援
☐ 草むしり	☐ 電球交換等ちよっとしたこと
☐ 家具の移動等	☐ 話し相手
☐ 外出の付き添い	☐ サロン等
☐ 食事提供 (会食・配食)	☐ 安否確認・声かけ
☐ 洗濯	☐ 掃除
☐ 食事作り	☐ 雪かき
☐ 災害時の手助け	☐ その他 ()
Q 10. 手伝いをしてもらう時の支払いについて (1つのみ)	
☐ 支払ってもよい	☐ 支払いたくない
【Q10で「支払ってもよい」の方のみ】	
①. 支払ってもよい場合の金額はどのくらいですか (1つのみ)	
☐ 100円	☐ 200円 ☐ 300円
☐ 400円	☐ 500円 ☐ その他 ()

Q 6. タバコは吸っていますか (1つのみ)	
☐ ほぼ毎日吸っている	☐ 時々吸っている
☐ もともと吸っていない	☐ 吸っていたがやめた
Q 7. 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか (いくつでも)	
☐ ない	☐ 高血圧
☐ 脳卒中 (脳出血・脳梗塞など)	☐ 心臓病
☐ 糖尿病	☐ 高脂血症 (脂質異常)
☐ 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	☐ 胃腸・肝臓・胆のうの病気
☐ 腎臓・前立腺の病気	☐ 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
☐ 外傷 (転倒・骨折など)	☐ がん (悪性新生物)
☐ 血液・免疫の病気	☐ うつ病
☐ 認知症 (アルツハイマー病等)	☐ パーキンソン病
☐ 目の病気	☐ 耳の病気
☐ その他 ()	

問 8 認知症にかかる相談窓口の把握について	
Q 1. 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか (1つのみ)	
☐ はい	☐ いいえ
Q 2. 認知症に関する相談窓口を知っていますか (1つのみ)	
☐ はい	☐ いいえ

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。
 調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
 令和5年6月19日(月)までに投函(切手不要)してください。

Q11. 地域のたすけあいとして自分ができることは何ですか（いくつでも）										
☐	山常のごみ出し	☐	買い物支援							
☐	草むしり	☐	電球交換等ちょっとしたこと							
☐	家具の移動等	☐	話し相手							
☐	外出の付き添い	☐	サロン等							
☐	食事提供（食食・献食）	☐	安否確認・声かけ							
☐	洗濯	☐	掃除							
☐	食事作り	☐	雪かき							
☐	災害時の手助け	☐	その他（ ）							

問7 健康について																					
Q1. 現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つのみ）																					
☐	とてもよい	☐	まあよい	☐	あまりよくない	☐	よくない														
Q2. あなたは、現在のどの程度幸せですか（1つのみ） （「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）																					
とても不幸																					
☐	0点	☐	1点	☐	2点	☐	3点	☐	4点	☐	5点	☐	6点	☐	7点	☐	8点	☐	9点	☐	10点
☐		☐		☐		☐		☐		☐		☐		☐		☐		☐		☐	
Q3. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（1つのみ）																					
☐	はい	☐ いいえ																			
Q4. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（1つのみ）																					
☐	はい	☐ いいえ																			
Q5. お酒は飲みますか（1つのみ）																					
☐	ほぼ毎日飲む	☐	時々飲む	☐ ほとんど飲まない																	
☐	もともと飲まない																				

沼田市「在宅介護実態調査」
ご協力をお願い

はじめに

日頃より、本市の福祉行政にご理解、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。
さて、平成12年4月に介護保険制度が施行されて以来、今年で23年目となりました。
この間、本市では、高齢者の保健福祉施策を推進するとともに、介護保険事業の適
正な運営に努めてまいりました。
この度、3年に一度の「生き生き長寿のまちづくり計画」(高齢者保健福祉計画及び
介護保険事業計画)の見直しをするにあたり、この計画をより良いものにするため、ア
ンケート調査を実施することといたしました。
皆さまからご回答いただきました内容は、統計的に処理するもので、本調査以外に使
用したり、ご迷惑をおかけすることは一切ございません。
ご多用のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいま
すようお願い申し上げます。

令和5年6月

沼田市長 星 野 稔

記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、令和5年5月12日現在、要介護認定を受けている方のうち、
自宅で生活されている方から、600名を無作為に抽出しています。
2. ご回答にあたっては、「A票“ご本人”についてお答えいただく部分」と「B票“主
な介護者の方”にお答えいただく部分」がありますので、ご注意ください。
3. ご回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する答えにシ点(☑)をつ
けてください。
4. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
令和5年6月19日(月)までに投函(切手不要)してください。

【問い合わせ先】沼田市役所 健康福祉部 介護高齢課 介護保険係
TEL: 0278-23-2111 (内線3145~3148)
FAX: 0278-24-5179

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただけた
ものとさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- ◆この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。
本調査で得られた情報につきましては、「生き生き長寿のまちづくり計画」の
策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、
沼田市で適切に管理いたします。
- ◆ただし、介護保険事業計画策定時および効果評価時、本調査で得られたデー
タを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、
必要に応じて集計・分析することがあります。

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします	
Q 1. 本調査の質問に回答したのはどなたですか (いくつでも)	
☐ 本人 (調査対象者)	☐ 主な介護者となつてゐる家族・親族
☐ 主な介護者以外の家族・親族	☐ その他 ()
Q 2. あなた (調査対象者、以下「あなた」) の年齢は何歳ですか (1つのみ)	
☐ 65歳未満	☐ 65～69歳 ☐ 70～74歳 ☐ 75～79歳
☐ 80～84歳	☐ 85～89歳 ☐ 90歳以上
Q 3. あなたの性別はどちらですか (1つのみ)	
☐ 男性	☐ 女性
Q 4. あなたの世帯構成について教えてください (1つのみ)	
☐ 1人暮らし	☐ 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
☐ 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	☐ 息子・娘との2世帯
☐ その他 ()	
Q 5. あなたのお住まいの地区はどちらですか (1つのみ)	
☐ 沼田中学校区	柳町・高橋場町・材木町・桜町・上原町・東原新町・西原新町
☐ 沼田南中学校区	東倉内町・西倉内町・上之町・馬喰町・中町・坊新田町・下之町・ 鍛冶町・戸鹿野町 (鷺石地区除く)・新町 (鷺石地区除く)・ 沼須町・上沼須町・栄町
☐ 沼田西中学校区	榛名町・清水町・薄根町・戸鹿野町 (鷺石地区のみ)・ 新町 (鷺石地区のみ)・川田地区全域
☐ 沼田東中学校区	下久屋町・上久屋町・久屋原町・植塚町
☐ 池田中学校区	池田地区全域
☐ 薄根中学校区	薄根地区全域
☐ 白沢町	
☐ 利根町	

Q 6. 現在のあなたの要介護度について、教えてください (1つのみ)	
☐ 要支援 1	☐ 要支援 2 ☐ 要介護 1 ☐ 要介護 2
☐ 要介護 3	☐ 要介護 4 ☐ 要介護 5 ☐ わからない
Q 7. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、教えてください (1つのみ)	
※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設 (有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。	
☐ 入所・入居は検討していない	☐ 入所・入居を検討している
☐ すでに入所・入居の申し込みをしている	
Q 8. あなたが、現在抱えている病気はありますか (いくつでも)	
☐ 脳血管疾患 (脳卒中)	☐ 心疾患 (心臓病)
☐ 悪性新生物 (がん)	☐ 呼吸器疾患
☐ 腎疾患 (透析)	☐ 筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、骨性骨質劣化等)
☐ 膠原病 (関節リウマチ含む)	☐ 変形性関節疾患
☐ 認知症	☐ パーキンソン病
☐ 糖尿病 (パーキンソン病を除く)	☐ 糖尿病
☐ 眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	☐ その他
☐ なし	☐ わからない
Q 9. 令和5年5月に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用しましたか (1つのみ)	
☐ 利用した ⇒ ☐ Q10へ	☐ 利用していない ⇒ ☐ Q11へ

【Q9で「利用していない」の方のみ】

Q11. 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（いくつでも）

☐ 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない

☐ 本人にサービス利用の希望がない

☐ 家族が介護をするため必要ない

☐ 以前、利用していたサービスに不満があった

☐ 利用料を支払うのが難しい

☐ 利用したいサービスが利用できない、身近にない

☐ 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため

☐ サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない

☐ その他（ ）

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

Q12. 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（いくつでも）

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含まれます。

☐ 配食

☐ 調理

☐ 掃除・洗濯

☐ 買い物（宅配は含まない）

☐ ゴミ出し

☐ 外出同行（通院、買い物など）

☐ 移送サービス（介護・福祉タクシー等）

☐ 見守り、声かけ

☐ サロンなどの定期的な通いの場

☐ その他（ ）

☐ 利用していない

Q13. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要とを感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともを含みます。

☐ 配食

☐ 調理

☐ 掃除・洗濯

☐ 買い物（宅配は含まない）

☐ ゴミ出し

☐ 外出同行（通院、買い物など）

☐ 移送サービス（介護・福祉タクシー等）

☐ 見守り、声かけ

☐ サロンなどの定期的な通いの場

☐ その他（ ）

☐ 特になし

【Q9で「利用した」の方のみ】

Q10. 以下の介護保険サービスについて、令和5年5月の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください（それぞれに1つのみ）

	1週間あたりの利用回数（それぞれに1つのみ）					
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上
(※回答例)●●●サービス	☐	☐	☒	☐	☐	☐
A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
B. 訪問入浴介護	☐	☐	☐	☐	☐	☐
C. 訪問看護	☐	☐	☐	☐	☐	☐
D. 訪問リハビリテーション	☐	☐	☐	☐	☐	☐
E. 通所介護（デイサービス）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
F. 通所リハビリテーション（デイケア）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
G. 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）	☐	☐	☐	☐	☐	☐

	利用の有無（それぞれに1つのみ）	
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	☐ 利用していない	☐ 利用した
I. 小規模多機能型居宅介護	☐ 利用していない	☐ 利用した
J. 看護小規模多機能型居宅介護	☐ 利用していない	☐ 利用した

	1か月あたりの利用日数（1つのみ）			
利用していない	月1～7日程度	月8～14日程度	月15～21日程度	月22日以上
K. ショートステイ	☐	☐	☐	☐

	1か月あたりの利用回数（1つのみ）			
利用していない	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度
L. 居宅療養管理指導	☐	☐	☐	☐

Q14. 住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるまわづくりに必要なことはどのようなことだと思いますか（3つまで） ☐ 支え合いの充実（親戚、ボランティア、ご近所等地域で力を合わせて解決する協力体制） ☐ 生活支援サービスの充実（食事の宅配サービス、通院や外出の支援サービスなど） ☐ 医療機関等の充実 ☐ 在宅医療の充実 ☐ 訪問看護・訪問リハビリなどの充実 ☐ 介護予防事業（健康づくり）の充実 ☐ 介護保険サービスの充実 ☐ その他（ ）	
Q15. 住み慣れた地域で安心して生活が続けられるように、介護、医療、福祉、健康などのさまざまな支援や相談業務（認知症の相談を含む）を行う、「地域包括支援センター」を知っていますか（1つのみ） ☐ 知っている ☐ 知らない	
Q16. 日頃、医療についての知識や情報を何から得ていますか（3つまで） ☐ テレビ ☐ 新聞 ☐ 主治医 ☐ 病院 ☐ インターネット ☐ 専門誌・雑誌 ☐ 市役所 ☐ ラジオ ☐ 講演会 ☐ その他（ ）	
Q17. 「在宅医療」とは、さまざまな病気にかかられた方が、自宅において医師の訪問診療、往診、治療、訪問看護などの医療サービスを受けながら療養生活を送ることとをいいますが、「在宅医療」についてご存じですか（1つのみ） ☐ 知っている ☐ 知らない	
Q18. あなたは、現在、訪問診療を利用していますか（1つのみ） ※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等を含みません。 ☐ 利用している ☐ 利用していない	
Q19. どこで最期を迎えたいと思いますか（1つのみ） ☐ 自宅 ☐ 病院 ☐ 施設 ☐ その他（ ） ☐ わからない	

Q20. 闘病中の後遺症やがんなどで長期の療養が必要となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能だと思いますか（1つのみ） ☐ 希望するし、実現可能だと思う⇒ ☐ Q22へ ☐ 希望するが、実現は難しいと思う⇒ ☐ Q21へ ☐ 希望しない⇒ ☐ Q21へ ☐ 現在、受けている⇒ ☐ Q22へ ☐ わからない⇒ ☐ Q22へ	
【Q20で「希望するが、実現は難しいと思う」、「希望しない」の方のみ】 Q21. 在宅医療を希望しない、または実現が難しいと思う理由は何ですか。（いくつでも） ☐ 家族に負担をかけるから ☐ 介護してくれる家族がいないから ☐ 急に病状が変わったときの対応が不安だから ☐ 経済的に負担が大きすぎるから ☐ 療養できる部屋やトイレなどの住宅環境が整っていないから ☐ 訪問看護や介護の体制が不十分だから ☐ 往診などをしてくれる医師がいないから ☐ 医師や看護師の訪問が精神的負担になるから ☐ その他（ ）	
※ここから再び、全員の方にお伺いします。 Q22. もし入院が必要となったら、入院の継続や在宅療養について、誰に相談しますか（1つのみ） ☐ 家族や親戚 ☐ 医師 ☐ 病院や診療所の看護師などの医療スタッフ ☐ 病院の相談員 ☐ ケアマネジャー ☐ 保健師 ☐ 地域包括支援センター ☐ その他（ ）	

Q23. 「在宅医療」を充実することが必要だと思いますか（1つのみ）

☐ 必要だと思います⇒ Q24へ

☐ どちらかという必要⇒ Q24へ

☐ 必要と思わない⇒ Q25へ

☐ わからない⇒ Q25へ

【Q23で「必要だと思う」、「どちらかという必要」の方のみ】

Q24. どのような体制の整備が一番重要だと思いますか（1つのみ）

☐ 家族の負担軽減のためのサービスの充実

☐ 容態の急変時の入院が可能な体制

☐ 定期的に診察・訪問看護が受けられる体制

☐ 介護サービスによる生活支援の充実

☐ その他（ ）

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

Q25. 在宅医療についてご意見などがありましたら、ご自由にお書きください

Q26. ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つのみ）

☐ ない

☐ 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない

☐ 週に1～2日ある

☐ 週に3～4日ある

☐ ほぼ毎日ある

調査は終了です

B票へ進んでください

7

●A票のQ26で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」、「週に1～2日ある」、「週に3～4日ある」、「ほぼ毎日ある」と回答された場合、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。

●「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様にご回答・ご記入をお願いします。

※ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です。

B票

主な介護者の方について、お伺いします

Q1. ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも）

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

☐ 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）

☐ 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）

☐ 主な介護者が転職した

☐ 主な介護者以外の家族・親族が転職した

☐ 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない

☐ わからない

Q2. 主な介護者の方は、どなたですか（1つのみ）

☐ 配偶者（夫・妻）

☐ 息子

☐ 娘

☐ 子の配偶者

☐ 孫

☐ 兄弟・姉妹

☐ その他（ ）

Q3. 主な介護者の方の性別はどちらですか（1つのみ）

☐ 男性

☐ 女性

Q4. 主な介護者の方の年齢はいくつですか（1つのみ）

☐ 20歳未満

☐ 20代

☐ 30代

☐ 40代

☐ 50代

☐ 60代

☐ 70代

☐ 80歳以上

☐ わからない

8

124

Q 5. 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください (いくつでも)	
〔身体介護〕 ☐ 口巾の排泄 ☐ 夜間の排泄 ☐ 食事の介助 (食べる時) ☐ 入浴・洗身 ☐ 身だしなみ (洗顔・歯磨き等) ☐ 衣服の着脱 ☐ 屋内の移乗・移動 ☐ 外出の付き添い、送迎等 ☐ 服薬 ☐ 認知症状への対応 ☐ 医療面での対応 (経管栄養・ストーマ等)	〔生活援助〕 ☐ 食事の準備 (調理等) ☐ その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) ☐ 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
〔その他〕 ☐ その他 ☐ わからない	
Q 6. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください (現状で行っているか否かは問いません) (3つまで)	
〔身体介護〕 ☐ 口巾の排泄 ☐ 夜間の排泄 ☐ 食事の介助 (食べる時) ☐ 入浴・洗身 ☐ 身だしなみ (洗顔・歯磨き等) ☐ 衣服の着脱 ☐ 屋内の移乗・移動 ☐ 外川の付き添い、送迎等 ☐ 服薬 ☐ 認知症状への対応 ☐ 医療面での対応 (経管栄養・ストーマ等)	〔生活援助〕 ☐ 食事の準備 (調理等) ☐ その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) ☐ 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
〔その他〕 ☐ その他 ☐ 不安に感じていることは、特にない ☐ 主な介護者に確認しないと、わからない	

9

Q 7. 主な介護者の方の家族が脳卒中の後遺症やがんなどで長期の療養が必要となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能だと思いますか（１つのみ）	
☐ 希望するし、実現可能だと思う⇒	☐ Q 9へ
☐ 希望するが、実現は難しいと思う⇒	☐ Q 8へ
☐ 希望しない⇒	☐ Q 8へ
☐ 現在、受けている⇒	☐ Q 9へ
☐ わからない⇒	☐ Q 9へ
【Q 7で「希望するが、実現は難しいと思う」、「希望しない」の方のみ】 Q 8. 在宅医療を希望しない、または実現が難しいと思う理由は何ですか（いくつでも）	
☐ フルタイム・パートタイムで働いているので対応できない ☐ 急に病状が変わったときの対応が不安だから ☐ 経済的に負担が大きいかから ☐ 療養できる部屋やトイレなどの住宅環境が整っていないから ☐ 訪問看護や介護の体制が不十分だから ☐ 訪問診療などをしてくれる医師がいらないから ☐ 医師や看護師の訪問が精神的負担になるから ☐ その他（ ）	
※ここから再び、全員の方にお伺いします。	
Q 9. 主な介護者の方の家族の看取りはどこで迎えたいと思いますか（１つのみ）	
☐ 自宅	☐ 病院 ☐ 施設
☐ その他（ ）	☐ わからない

Q10. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つのみ） ※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。 ※フリーランスとは、企業や団体などと雇用契約がなく、独立して仕事を請け負う人を行います。	
☐ フルタイムで働いている	Q11～Q13へ
☐ パートタイムで働いている	
☐ 働いていない	
☐ 主な介護者に確認しないと、わからない	
【Q10で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の方のみ】 Q11. 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか（いくつでも）	
☐ 特に行っていない	
☐ 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰、中抜け等）」しながら、働いている	
☐ 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	
☐ 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	
☐ 介護のために、それ以外の調整をしながら、働いている	
☐ 主な介護者に確認しないと、わからない	

【Q10で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の方のみ】	
Q12. 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで）	
※フリーランスとは、企業や団体などと雇用契約がなく、独立して仕事を請け負う人をいいます。	
☐ 白営業・フリーランス等のため、勤め先はない ☐ 介護休業・介護休暇等の制度の充実 ☐ 制度を利用しやすい職場づくり ☐ 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など） ☐ 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど） ☐ 仕事と介護の両立に関する情報の提供 ☐ 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 ☐ 介護をしている従業員への経済的な支援 ☐ その他 ☐ 特になし ☐ 主な介護者に確認しないと、わからない	
【Q10で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の方のみ】	
Q13. 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つのみ）	
☐ 問題なく、続けていける ☐ 続けていくのは、やや難しい ☐ 主な介護者に確認しないと、わからない	☐ 問題はあるが、何とか続けていける ☐ 続けていくのは、かなり難しい

沼田市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
在宅介護実態調査
【結果報告書】

令和5年8月発行

発行 沼田市

編集 沼田市 健康福祉部 介護高齢課

〒378-8501

群馬県沼田市下之町 888 番地

TEL：0278-23-2111（代表）